

uCosminexus Service Coordinator Interactive
Workflow 案件運用操作ガイド

3020-3-M82-60

前書き

■ 対象製品

P-2943-CG34 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-10 (適用 OS : Windows Server 2016, Windows Server 2019)

P-2955-CG34 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-10 (適用 OS : Windows Server 2016, Windows Server 2019, Windows 10 x64)

P-9W43-CG31 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-10 (適用 OS : Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 7.1 (64-bit x86_64) 以降, Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 8.1 (64-bit x86_64) 以降)

これらのプログラムプロダクトのほかにもこのマニュアルをご利用になれる場合があります。詳細は「リリースノート」でご確認ください。

本製品では日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリをインストールします。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

HITACHI, Cosminexus, HiRDB, uCosminexus および WorkCoordinator は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。

IBM, AIX は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle および Java は、オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

Red Hat Enterprise Linux is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 特記事項

マイクロソフト製品のスクリーンショットは、マイクロソフトの許可を得て使用しています。

■ 発行

2021 年 8 月 3020-3-M82-60

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2007, 2021, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(3020-3-M82-60) uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-10

| 追加・変更内容 | 変更箇所 |
|---|---|
| <p>アプリケーション呼び出し制御情報、およびアプリケーション呼び出しグループ定義の登録、変更、削除、および運用状況の確認ができるようにした。</p> <p>それに伴い、次の画面を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面• [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面• [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面• [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面 <p>また、次の画面を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [ビジネスプロセス定義一覧] 画面• [振り分けルール定義一覧] 画面 | 1.1, 1.2.1, 1.2.2, 8章, 9章 |
| <p>BPMN 連携機能使用時に、BPMN ビジネスプロセス定義の登録と削除ができるようにした。</p> <p>それに伴い、次の画面を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [ビジネスプロセス定義一覧] 画面• [ビジネスプロセス定義登録] 画面 | 1.2.2, 1.3.3(6), 4.1, 4.2, 9章 |
| <p>BPMN 連携機能使用時に、ビジネスプロセスモニタの表示、プロセスデータ編集、メッセージイベントへのメッセージ送信ができるようにした。</p> <p>それに伴い、次の画面を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [ビジネスプロセスモニタ] 画面• [プロセスデータ編集] 画面• [メッセージ送信] 画面 <p>また、次の画面を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [案件一覧] 画面 | 1.2.3, 1.3.3(6), 5.5, 6.1, 6.1.8, 6.1.9, 9章 |
| <p>ビジネスプロセス定義を活性化または非活性化できるようにした。</p> <p>それに伴い、次の画面を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none">• [ビジネスプロセス定義一覧] 画面 | 4.3, 9章 |
| <p>7章の構成を見直した。</p> | 7章 |

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

OS、ブラウザ、およびデータベースに関して、新しいバージョンの追加、および古いバージョンの削除については記載していません。サポートしているバージョンの詳細については「リリースノート」でご確認ください。

はじめに

このマニュアルは、uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow で使用する案件運用操作の機能および操作方法について説明したものです。

以降、このマニュアルでは、上記のプログラムプロダクトを **CSCIW** と称します。また、CSCIW を使用した業務システム全体の総称を **ワーク管理システム** とします。

BPMN 連携機能使用時の運用方法については、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携機能 使用の手引」を参照してください。

■ 対象読者

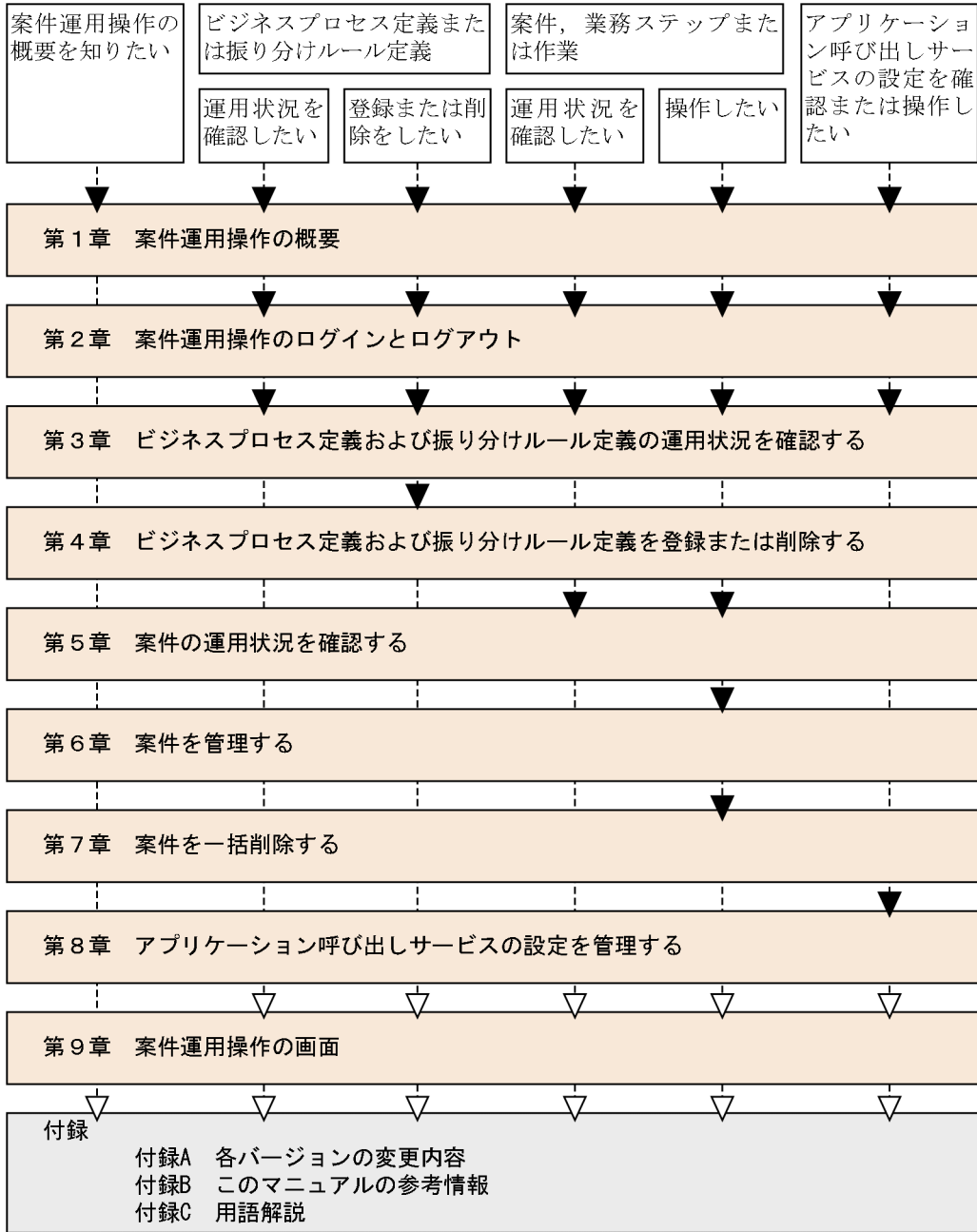
このマニュアルは、CSCIW で使用する案件運用操作の機能を使用して、Web ブラウザからビジネスプロセスの運用状況を監視される方、または案件の状態を操作される方を対象にしています。また、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」の記載内容をご理解いただいていることを前提としています。

また、次の知識をお持ちであることを前提にしています。


- CSCIW に関する知識
- 使用している OS に関する知識や基本操作


■ 読書手順

このマニュアルは、利用目的に合わせて章を選択して読むことができます。利用目的別に次の流れに従ってお読みいただくことをお勧めします。



(凡例)

 : 必ず読む項目

 : 必要に応じて読む項目

■ 図中で使用する記号

このマニュアルの図中で使用する記号を次のように定義します。

●工程, 作業項目の
流れ

●ソースノード



■ このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次のように定義します。

| 記号 | 意味 |
|-----|------------|
| < > | 可変値を意味します。 |

■ コマンドの説明で使用する記号

コマンドの説明で使用する記号を次のように定義します。

| 記号 | 意味 |
|---------|--|
| < > | 可変値を意味します。 |
| (ストローク) | 横に並べられた複数の項目に対し、項目間の区切りを示します。 |
| { } | この記号で囲まれている複数の項目のうちから1つを選択することを意味します。項目が横に並べられ、記号 で区切られている場合は、そのうちの1つを選択します。 例 {A B}は、「Aと指定する」または「Bと指定する」ことを示します。 |
| () | この記号で囲まれている複数の項目のうちから1つ以上を選択することを意味します。項目が横に並べられ、記号 で区切られている場合は、そのうちの1つ以上を選択します。 例 (A B)は、「Aと指定する」、「Bと指定する」または「AおよびBと指定する」ことを示します。 |
| [] | この記号で囲まれている項目は省略してよいことを意味します。 例 [A]は「何も指定しない」か「Aを指定する」ことを示します。 |

■ 操作の説明で使用する記号

操作の説明で使用する記号を次のように定義します。

| 記号 | 意味 |
|-----|---|
| [] | 次のどれかを示します。 <ul style="list-style-type: none">ボタン |

| 記号 | 意味 |
|---------------|---|
| [] | <ul style="list-style-type: none"> • キーボードのキー • 画面またはダイアログの名称 • 画面またはダイアログに表示される項目 |
| [A] + [B] | +の前のキーを押したまま、後ろのキーを押すことを示します。 |
| [AAA] - [BBB] | -の前に示したメニューから、-の後ろのメニューを選択することを示します。 |

■ このマニュアルで使用する注記

このマニュアルで使用する注記を次に示します。

重要

操作を完了させるための重要な情報を示します。

メモ

本文に対して強調したい内容または補足事項を示します。

ヒント

操作する上で効果的な情報、指針、提案を示します。

■ 適用 OS の違いによる機能相違点の表記

このマニュアルで説明する機能は、適用 OS の種類（UNIX または Windows）によって、異なる場合があります。OS によって機能差がある場合、OS 名を明記しています。また、OS によってバージョン、リビジョンが異なる場合があります。バージョン、リビジョンによって操作方法などが異なる場合はそれぞれの説明に OS 名、バージョン、およびリビジョンを明記しています。

なお、UNIX および Windows の共通の説明部分に使用している「ディレクトリ」という用語は、Windows の場合は、特に断りのないかぎり、「フォルダ」に読み替えてください。また、UNIX のパスの区切り文字として使用している「/」は、Windows の場合には、特に断りのないかぎり、「¥」に読み替えてください。

目次

| | |
|------|---|
| 前書き | 2 |
| 変更内容 | 4 |
| はじめに | 5 |

| | | |
|----------|---|-----------|
| 1 | 案件運用操作の概要 | 13 |
| 1.1 | 案件運用操作とは | 14 |
| 1.2 | 案件運用操作でできること | 15 |
| 1.2.1 | 運用状況を確認する | 15 |
| 1.2.2 | 定義を登録または削除する | 15 |
| 1.2.3 | 案件の状態を操作する | 16 |
| 1.3 | 使用上の注意事項 | 17 |
| 1.3.1 | 環境設定 | 17 |
| 1.3.2 | 利用できる Web ブラウザ | 17 |
| 1.3.3 | 操作するときの注意事項 | 17 |
| 2 | 案件運用操作のログインとログアウト | 19 |
| 2.1 | 案件運用操作にログインする | 20 |
| 2.2 | 案件運用操作からログアウトする | 22 |
| 3 | ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の運用状況を確認する | 23 |
| 3.1 | ビジネスプロセス定義の運用状況を確認する | 24 |
| 3.1.1 | ビジネスプロセス定義を表示する | 24 |
| 3.1.2 | ビジネスプロセス定義を検索する | 25 |
| 3.2 | 振り分けルール定義の運用状況を確認する | 27 |
| 3.2.1 | 振り分けルール定義を表示する | 27 |
| 3.2.2 | 振り分けルール定義を検索する | 27 |
| 4 | ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義を登録または削除する | 29 |
| 4.1 | ビジネスプロセス定義を登録する | 30 |
| 4.2 | ビジネスプロセス定義を削除する | 32 |
| 4.3 | ビジネスプロセス定義を活性化または非活性化する | 34 |
| 4.4 | 振り分けルール定義を登録する | 35 |
| 4.5 | 振り分けルール定義を削除する | 37 |
| 5 | 案件の運用状況を確認する | 39 |
| 5.1 | 案件の運用状況を確認する操作の流れ | 40 |

| | | |
|-------|--------------------|----|
| 5.2 | 案件の運用状況を確認する | 41 |
| 5.2.1 | 案件を表示する | 41 |
| 5.2.2 | 案件を検索する | 42 |
| 5.2.3 | 案件一覧の表示項目を編集する | 43 |
| 5.3 | 業務ステップの運用状況を確認する | 44 |
| 5.3.1 | 業務ステップを表示する | 44 |
| 5.3.2 | 業務ステップ一覧の表示項目を編集する | 45 |
| 5.4 | 作業の運用状況を確認する | 46 |
| 5.4.1 | 作業を表示する | 46 |
| 5.4.2 | 作業一覧の表示項目を編集する | 47 |
| 5.5 | ビジネスプロセスモニタを確認する | 49 |
| 5.5.1 | ビジネスプロセスモニタを表示する | 49 |

6 案件を管理する 50

| | | |
|-------|---------------|----|
| 6.1 | 案件を操作する | 51 |
| 6.1.1 | 案件の状態 | 51 |
| 6.1.2 | 案件を投入する | 53 |
| 6.1.3 | 案件を開始する | 54 |
| 6.1.4 | 案件を中断する | 55 |
| 6.1.5 | 案件を再開する | 56 |
| 6.1.6 | 案件を強制終了する | 57 |
| 6.1.7 | 案件を削除する | 58 |
| 6.1.8 | プロセスデータを編集する | 58 |
| 6.1.9 | メッセージを送信する | 59 |
| 6.2 | 業務ステップを操作する | 61 |
| 6.2.1 | 業務ステップの状態 | 61 |
| 6.2.2 | 業務ステップを活性化する | 63 |
| 6.2.3 | 業務ステップを中断する | 64 |
| 6.2.4 | 業務ステップを再開する | 65 |
| 6.2.5 | 業務ステップを完了する | 66 |
| 6.2.6 | 業務ステップを強制終了する | 67 |
| 6.3 | 作業を操作する | 69 |
| 6.3.1 | 作業の状態 | 69 |
| 6.3.2 | 作業を準備済みにする | 72 |
| 6.3.3 | 作業に着手する | 72 |
| 6.3.4 | 作業を中断する | 73 |
| 6.3.5 | 作業を再開する | 74 |
| 6.3.6 | 作業を完了する | 75 |
| 6.3.7 | 作業を返却する | 76 |

- 6.3.8 作業を強制終了する 76
- 6.3.9 作業者の再割り当てをする 77

7 案件を一括削除する 79

- 7.1 案件の一括削除を実行する 80
- 7.2 案件の一括削除の実行結果を表示する 82
- 7.3 案件の一括削除の実行結果を削除する 83

8 アプリケーション呼び出しサービスの設定を管理する 84

- 8.1 アプリケーション呼び出し制御情報を管理する 85
 - 8.1.1 アプリケーション呼び出し制御情報を表示する 85
 - 8.1.2 アプリケーション呼び出し制御情報を検索する 85
 - 8.1.3 アプリケーション呼び出し制御情報を編集する 86
- 8.2 アプリケーション呼び出しグループ定義を管理する 89
 - 8.2.1 アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する 89
 - 8.2.2 アプリケーション呼び出しグループ定義を検索する 89
 - 8.2.3 アプリケーション呼び出しグループ定義を編集する 90

9 案件運用操作の画面 92

- [ログイン] 画面 93
- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面 95
- [ビジネスプロセス定義検索] 画面 103
- [ビジネスプロセス定義登録] 画面 107
- [振り分けルール定義一覧] 画面 110
- [振り分けルール定義検索] 画面 115
- [振り分けルール定義登録] 画面 119
- [案件一覧] 画面 121
- [案件検索] 画面 127
- [案件投入] 画面 132
- [案件一括削除] 画面 137
- [案件一括削除実行結果] 画面 140
- [案件表示オプション設定] 画面 145
- [業務ステップ一覧] 画面 147
- [業務ステップ表示オプション設定] 画面 153
- [作業一覧] 画面 154
- [作業表示オプション設定] 画面 161
- [作業者再割り当て] 画面 163
- [カレンダー] 画面 165
- [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面 167
- [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面 171
- [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面 173
- [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面 176
- [ビジネスプロセスモニタ] 画面 178

[プロセスデータ編集] 画面 179

[メッセージ送信] 画面 181

付録 183

- 付録 A 各バージョンの変更内容 184
- 付録 A.1 03-00 の変更内容 184
- 付録 A.2 02-30 の変更内容 185
- 付録 A.3 01-95 の変更内容 185
- 付録 A.4 01-70 の変更内容 185
- 付録 A.5 01-60 の変更内容 185
- 付録 B このマニュアルの参考情報 186
- 付録 B.1 関連マニュアル 186
- 付録 B.2 このマニュアルでの表記 187
- 付録 B.3 マイクロソフト製品の表記について 188
- 付録 B.4 このマニュアルで使用している略語 188
- 付録 B.5 KB (キロバイト) などの単位表記について 189
- 付録 C 用語解説 190

索引 194

1

案件運用操作の概要

この章では、案件運用操作の概要と主な機能について説明します。

案件運用操作は、CSCIW の J2EE アプリケーションです。ワーク管理システムで運用されているビジネスプロセスについて、GUI を使用して監視および管理できます。

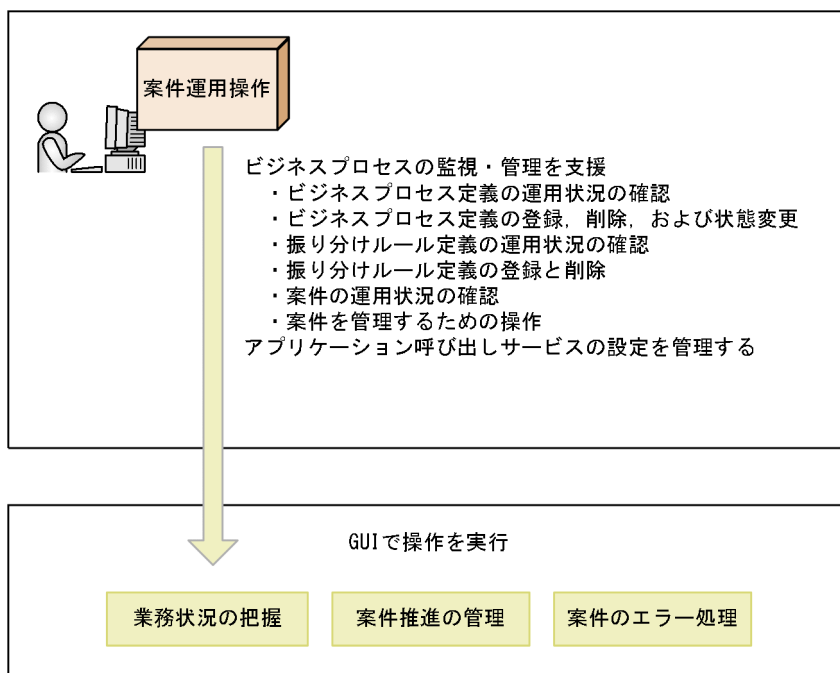
1.1 案件運用操作とは

案件運用操作を使用して、次の操作ができます。

- ワーク管理システムで運用されている、ビジネスプロセス定義や振り分けルール定義の状況を確認できます。
- ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の登録と削除ができます。
- 案件の状態を参照したり、特定の案件で実行される業務ステップおよび作業を参照したりして、業務の状況を把握できます。
- 案件を新たに作成してビジネスプロセスに投入したり、状況に応じて、案件、業務ステップおよび作業に対して中断や再開などの操作をしたりできます。
- アプリケーション呼び出し制御情報、およびアプリケーション呼び出しグループ定義の登録、変更、および削除ができます。

案件運用操作の機能概要を次の図に示します。

図 1-1 案件運用操作の機能概要



なお、案件運用操作の前提となっているワーク管理システムの運用については、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」を参照してください。

1.2 案件運用操作でできること

案件運用操作でできることについて説明します。

1.2.1 運用状況を確認する

案件運用操作では、ワーク管理システムで運用されている次のオブジェクトの運用状況および情報を確認できます。

- ビジネスプロセス定義の運用状況
- ビジネスプロセス定義の案件件数
- 振り分けルール定義の運用状況
- 案件の運用状況
- 案件に含まれる業務ステップの運用状況
- 案件に含まれる作業の運用状況
- アプリケーション呼び出し制御情報の運用状況
- アプリケーション呼び出しグループ定義の運用状況

ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の確認方法については、「[3. ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の運用状況を確認する](#)」を参照してください。

案件や、案件で実行される業務ステップおよび作業の確認方法については、「[5. 案件の運用状況を確認する](#)」を参照してください。

アプリケーション呼び出し制御情報およびアプリケーション呼び出しグループ定義の確認方法については、「[8. アプリケーション呼び出しサービスの設定を管理する](#)」を参照してください。

1.2.2 定義を登録または削除する

案件運用操作では、次の定義の登録または削除ができます。

- ビジネスプロセス定義
- 振り分けルール定義

また、BPMN 連携機能使用時は、BPMN ビジネスプロセス定義の登録または削除もできます。

ビジネスプロセス定義、振り分けルール定義、および BPMN ビジネスプロセス定義の登録と削除の方法については、「[4. ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義を登録または削除する](#)」を参照してください。

案件運用操作では、次の定義の登録、変更、または削除ができます。

- アプリケーション呼び出し制御情報
- アプリケーション呼び出しグループ定義

アプリケーション呼び出し制御情報およびアプリケーション呼び出しグループ定義の登録、変更、および削除の方法については、「[8. アプリケーション呼び出しサービスの設定を管理する](#)」を参照してください。

1.2.3 案件の状態を操作する

案件運用操作では、各オブジェクトに対して次の操作が実行できます。

表 1-1 案件運用操作で実行できる操作

| オブジェクト | 操作 |
|--------|---|
| 案件 | 作成 開始 中断 再開 強制終了 削除 一括削除 一括削除の実行結果表示 プロセスデータの確認と更新※ メッセージ送信※ |
| 業務ステップ | 活性化 中断 再開 完了 強制終了 |
| 作業 | 中断 再開 完了 返却または準備済み 強制終了 作業再割り当て |

注※ BPMN 連携機能使用時

各操作については、「[6. 案件を管理する](#)」を参照してください。なお、案件の一括削除および案件の一括削除の実行結果表示については、「[7. 案件を一括削除する](#)」を参照してください。

1.3 使用上の注意事項

案件運用操作を操作する前に行う環境設定や、操作するときの注意事項について説明します。

1.3.1 環境設定

案件運用操作にログインするユーザには、あらかじめアプリケーションサーバのセキュリティロールで「csciwadmin」を割り当ててください。詳細は、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」を参照してください。

1.3.2 利用できる Web ブラウザ

案件運用操作で利用できる Web ブラウザは Internet Explorer, Firefox, および Google Chrome です。そのほかの Web ブラウザは使用しないでください。

1.3.3 操作するときの注意事項

案件運用操作を操作するときの注意事項を次に示します。

(1) Web ブラウザの操作について

案件運用操作を操作するときは、次に示す Web ブラウザの機能を使用した操作を実行しないでください。操作を実行した場合の動作は保証できません。

- 戻る（[←戻る] ボタン, [バックスペース] キー, 右クリックの [前に戻る]）
- 進む（[→] ボタン, 右クリックの [次へ進む]）
- 最新の情報に更新
（[更新] アイコン, [F5] キー, 右クリックの [最新の情報に更新]）
- [Shift] キーを押しながらのアンカーのクリック

なお、[Tab] キーおよび [Enter] キーについては、Web ブラウザの仕様に従って動作します。

(2) 案件運用操作のログインについて

同一のマシンで、複数の案件運用操作にログインしないでください。複数にログインして処理を実行した場合、動作は保証されません。

(3) 案件運用操作のログアウトについて

案件運用操作からログアウトすると、開いている案件運用操作の画面はすべて閉じます。

(4) 画面の動作について

案件運用操作では、操作している画面から別ウィンドウに画面を表示させることがあります。このとき、元の画面を親画面、別ウィンドウに表示された画面を子画面と呼びます。

子画面を開いている状態で、親画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、子画面が警告なしに閉じます。

ただし、ダイアログボックス（確認ダイアログなど）が表示されている子画面は閉じません。

(5) セッションタイムアウトについて

セッションタイムアウトが発生した場合は、アプリケーションサーバのセッションタイムアウトの動作に従います。

タイムアウトが発生した画面に [ログイン] 画面が表示され、[ログイン] 画面から再ログインすることで、操作を続行できます。

ただし、複数の画面でセッションタイムアウトが発生し、画面ごとにログイン画面が表示された場合は、[ログイン] 画面から再ログインしたときに、意図しない画面が表示されることがあります。これは、最後にタイムアウトが発生した画面をログイン後の画面に表示するためです。

意図しない画面が表示された場合は、いったんログアウトしたあと、再ログインしてください。

(6) BPMN 連携機能使用時の動作について

BPMN 連携機能使用時、次の操作は案件運用操作の画面から実行できます。

- BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの登録・削除
- ビジネスプロセスモニタの表示
- プロセスデータの編集
- メッセージイベントへのメッセージの送信

BPMN 連携機能使用時、案件運用操作で次に示す操作をする場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の [表示▼] - [ビジネスプロセスオペレータ] で表示される、[ビジネスプロセスオペレータ] 画面で操作してください。

- 作業の操作

2

案件運用操作のログインとログアウト

この章では、案件運用操作のログインおよびログアウトの操作手順について説明します。

2.1 案件運用操作にログインする

案件運用操作にログインする方法を説明します。

案件運用操作にログインする場合は、Web ブラウザ上で [ログイン] 画面を呼び出してください。

[ログイン] 画面を呼び出す URL の形式を次に示します。

```
http://<ホスト名>:<ポート番号>/CSCIWAdminServlet/
```

<ホスト名>および<ポート番号>には、案件運用操作を構築した環境を指定してください。<ホスト名>および<ポート番号>の例を次に示します。

例：http://TestServer:80/CSCIWAdminServlet/

ログイン方法を次に示します。

1. Web ブラウザ上で [ログイン] 画面を呼び出す URL を指定します。

[ログイン] 画面が表示されます。

2. ユーザ ID とパスワードを指定します。

3. [ログイン] ボタンをクリックします。

ユーザ ID およびパスワードの認証が行われ、案件運用操作にログインします。

ログインすると、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が表示されます。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面は、案件運用操作のメイン画面です。

❗ 重要

- 案件運用操作を使用してビジネスプロセスの運用状況を確認したり、案件を操作したりする場合は、必ず [ログイン] 画面からログインしてください。ログインしていない状態で、案件運用操作の各操作画面の URL を Web ブラウザ上で直接指定してもエラーになります。
- 誤ったユーザ ID またはパスワードを指定して認証に失敗した場合は、[ログイン] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、正しいユーザ ID またはパスワードを再指定してください。
- IE の場合、[ログイン] 画面の URL をお気に入りに追加するときは、必ず [ログイン] 画面の [お気に入りに追加] アンカーを使用してください。Web ブラウザ機能の [お気に入りに追加] を使用した場合は、異なった URL で追加されるため、[ログイン] 画面を呼び出すことはできません。

📖 メモ

[お気に入りに追加] アンカーをクリックした場合

- IE のとき

IE の [お気に入りの追加画面] が開きます。[追加] ボタンをクリックすると、次の URL が追加されます。

< BPMN 連携機能を使用していない場合 >

`http://<ホスト名>:<ポート番号>/CSCIWAdminServlet/index.jsp`

< BPMN 連携機能を使用している場合 >

`http://<ホスト名>:<ポート番号>/CSCIWAdminServletBPMN/index.jsp`

- Firefox または Google Chrome のとき

ブラウザのブックマーク機能の使用を促す次のメッセージが表示されます。

ブラウザ付属のブックマーク機能をご利用ください。URLは `http://<ホスト名>:<ポート番号>/CSCIWAdminServlet/` を指定してください。

- 画面の参照箇所

- [ログイン] 画面
- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面

2.2 案件運用操作からログアウトする

案件運用操作からログアウトする方法を説明します。

案件運用操作からログアウトする場合は、必ず [ビジネスプロセス定義一覧] 画面または [振り分けルール定義一覧] 画面の [ログアウト] から操作してください。

ログアウト方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面または [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。
2. [ログアウト] を選択します。
画面が遷移し、ログアウトを示す画面が表示されます。

重要

案件運用操作からログアウトすると、開いている案件運用操作の画面はすべて閉じます。

- 画面の参照箇所
 - [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)
 - [\[振り分けルール定義一覧\] 画面](#)

3

ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の運用状況を確認する

この章では、案件運用操作を使用して、ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の運用状況を確認する一連の操作方法について説明します。

3.1 ビジネスプロセス定義の運用状況を確認する

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面に次の情報を表示させて、ビジネスプロセス定義の運用状況を確認できます。

- CSCIW に登録されているビジネスプロセス定義
- ビジネスプロセス定義の案件件数情報
- 特定の条件で検索したビジネスプロセス定義

以降の項で、操作方法について説明します。

3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する

CSCIW に登録されているビジネスプロセス定義、および案件件数情報を一覧に表示できます。

ビジネスプロセス定義、およびその案件件数情報の表示方法を次に示します。

1. 案件運用操作にログインします。

案件運用操作のログイン方法については、「[2.1 案件運用操作にログインする](#)」を参照してください。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が表示されます。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面は、案件運用操作のメイン画面です。

登録されているすべてのビジネスプロセス定義が表示され、ビジネスプロセス定義の状態などを確認できます。

2. 案件件数情報を表示したいビジネスプロセス定義のチェックボックスをチェックします。

ビジネスプロセス定義は複数選択できます。

3. [表示▼] - [案件件数の表示] を選択します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面に案件件数情報が表示されます。

選択したビジネスプロセス定義で運用されているすべての案件の案件件数情報が表示され、案件の状態などを確認できます。

案件件数情報の表示領域については、「[図 9-3 \[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面 \(案件件数情報を表示している場合\)](#)」を参照してください。

❗ 重要

案件件数情報に表示される案件の総件数と状態ごとの件数の和が一致しないことがあります。原因を次に示します。

- 異常終了した案件が存在するなど、案件件数情報の表示項目にない状態の案件が存在する場合

- 案件件数情報を取得中に、案件の状態が遷移した場合

メモ

ビジネスプロセス定義を選択していない場合は、案件件数情報は表示できません。

- 画面の参照箇所
 - [\[ログイン\] 画面](#)
 - [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)

3.1.2 ビジネスプロセス定義を検索する

CSCIW に登録されているビジネスプロセス定義を特定の条件で検索できます。

ビジネスプロセス定義の検索方法を次に示します。

1. [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)を表示します。

[\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)の表示方法については、「[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する](#)」を参照してください。

2. [\[アクション▼\]](#) - [\[ビジネスプロセス定義検索\]](#) を選択します。

[\[ビジネスプロセス定義検索\]](#) 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [\[ビジネスプロセス定義検索\]](#) 画面で検索条件を指定します。

検索条件は、次に示す項目を複数組み合わせで指定できます。
複数の項目を指定した場合、検索は AND で実行されます。

- 最新バージョン
- 案件投入可能期間内
- 状態
- 定義名
- 管理者
- 作成者
- 作成日
- 案件投入可能期間

検索条件については、「[\[ビジネスプロセス定義検索\] 画面](#)」を参照してください。

4. [\[検索\]](#) ボタンをクリックします。

検索結果が [\[ビジネスプロセス定義一覧\]](#) 画面に表示されます。

❗ 重要

- ビジネスプロセス定義の検索は、親画面が [ビジネスプロセス定義一覧] 画面の場合に実行してください。ほかの画面が親画面の場合に検索を実行すると、警告ダイアログが表示されます。このときは、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示し、検索を再実行してください。
- ビジネスプロセス定義の検索でエラーが発生した場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
- [ビジネスプロセス定義検索] 画面

3.2 振り分けルール定義の運用状況を確認する

[振り分けルール定義] 画面に次の情報を表示させて、振り分けルール定義の運用状況を確認できます。

- CSCIW に登録されている振り分けルール定義
- 特定の条件で検索した振り分けルール定義

以降の項で、操作方法について説明します。

3.2.1 振り分けルール定義を表示する

CSCIW に登録されている振り分けルール定義を一覧に表示できます。

振り分けルール定義の表示方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する](#)」を参照してください。

2. [表示▼] - [振り分けルール定義一覧] を選択します。

[振り分けルール定義一覧] 画面が表示されます。

登録されているすべての振り分けルール定義が表示され、振り分けルール定義の状態などを確認できます。

- 画面の参照箇所

- [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)
- [\[振り分けルール定義一覧\] 画面](#)

3.2.2 振り分けルール定義を検索する

CSCIW に登録されている振り分けルール定義を特定の条件で検索できます。

振り分けルール定義の検索方法を次に示します。

1. [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。

[振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.2.1 振り分けルール定義を表示する](#)」を参照してください。

2. [アクション▼] - [振り分けルール定義検索] を選択します。

[振り分けルール定義検索] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [振り分けルール定義検索] 画面で検索条件を指定します。

検索条件は、次に示す項目を複数組み合わせることで指定できます。
複数の項目を指定した場合、検索は AND で実行されます。

- 最新バージョン
- 有効期間内
- 状態
- 定義名
- 管理者
- 作成者
- 作成日
- 有効期間

検索条件については、「[\[振り分けルール定義検索\] 画面](#)」を参照してください。

4. **[検索]** ボタンをクリックします。

検索結果が [\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面に表示されます。

! 重要

- 振り分けルール定義の検索は、親画面が [\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面の場合に実行してください。ほかの画面が親画面の場合に検索を実行すると、警告ダイアログが表示されます。このときは、[\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面を表示し、検索を再実行してください。
- 振り分けルール定義の検索でエラーが発生した場合は、[\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面
- [\[振り分けルール定義検索\]](#) 画面

4

ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義を登録または削除する

この章では、案件運用操作を使用して、ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の登録、または削除をする操作方法について説明します。

4.1 ビジネスプロセス定義を登録する

ビジネスプロセス定義 (hbx ファイル) を CSCIW に登録できます。

BPMN 連携機能使用時は、ビジネスプロセス定義の登録に併せて BPMN ビジネスプロセス定義 (bpmn ファイル) を登録できます。登録した BPMN ビジネスプロセス定義は、[ビジネスプロセスモニタ] 画面で BPMN プロセス図と案件のステータス情報を表示するときに使用されます。

ビジネスプロセス定義の登録方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する] を参照してください。

2. [アクション▼] - [ビジネスプロセス定義登録] を選択します。

[ビジネスプロセス定義登録] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [ビジネスプロセス定義登録] 画面で、登録するビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

< BPMN 連携機能を使用していない場合 >

[ビジネスプロセス定義ファイル] テキストボックスに、ファイル拡張子が「hbx」のビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

CSCIW-Definer でチェックし、エラーがないことを確認したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

< BPMN 連携機能を使用している場合 >

[ビジネスプロセス定義ファイル] テキストボックスに、ファイル拡張子が「hbx」のビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

[BPMN ビジネスプロセス定義ファイル] テキストボックスに、ファイル拡張子が「bpmn」の BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

BPMN エディタ、または ciwtransbpmn コマンドを使用して変換したビジネスプロセス定義ファイルおよび BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

4. [登録] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

5. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

指定したビジネスプロセス定義ファイルが登録され、「活性」状態になります。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。

[ビジネスプロセス定義登録] 画面が閉じます。

ビジネスプロセス定義登録でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [ビジネスプロセス定義登録] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、初期状態の [ビジネスプロセス定義登録] 画面に戻ります。

❗ 重要

ビジネスプロセス定義を登録した場合は、次に示すプログラムを再起動してビジネスプロセス定義の登録を反映してください。

- CSCIWManagementServer*
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

登録を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

• 画面の参照箇所

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
- [ビジネスプロセス定義登録] 画面

4.2 ビジネスプロセス定義を削除する

ビジネスプロセス定義を CSCIW から削除できます。ビジネスプロセス定義は、使用していないことを確認してから削除してください。

ビジネスプロセス定義の削除方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除するビジネスプロセス定義のチェックボックスをチェックします。

ビジネスプロセス定義は複数選択できます。

案件があるビジネスプロセス定義は削除できません。

3. [アクション▼] - [ビジネスプロセス定義削除] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択したビジネスプロセス定義が削除されます。ビジネスプロセス定義が「活性」状態の場合は、「非活性」状態に変更され削除されます。

選択したすべてのビジネスプロセス定義が削除された場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [ビジネスプロセス定義一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

BPMN 連携機能使用時は、ビジネスプロセス定義の削除に併せて BPMN ビジネスプロセス定義が削除されます。削除対象となる BPMN ビジネスプロセス定義は、ユーザが指定したビジネスプロセス定義と、次の内容が同一の BPMN ビジネスプロセス定義です。

- ビジネスプロセス定義名
- ビジネスプロセス定義バージョン

❗ 重要

複数のビジネスプロセス定義の同時削除時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException :
処理が続行され、処理終了後に [ビジネスプロセス定義一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException :
処理が中断され、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面にエラーが表示されます。

ビジネスプロセス定義を削除した場合は、次に示すプログラムを再起動してビジネスプロセス定義の削除を反映してください。

- CSCIWManagementServer※
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

削除を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

- **画面の参照箇所**

- [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)

4.3 ビジネスプロセス定義を活性化または非活性化する

ビジネスプロセス定義の状態を「非活性」から「活性」に、または「活性」から「非活性」に変更できます。

ビジネスプロセス定義の状態を「活性」または「非活性」に変更する方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する] を参照してください。

2. 状態を変更したいビジネスプロセス定義のチェックボックスを1つチェックします。

ビジネスプロセス定義を複数選択した場合は変更できません。

3. [アクション▼] – [ビジネスプロセス定義活性化], または [アクション▼] – [ビジネスプロセス定義非活性化] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択したビジネスプロセス定義が「活性」または「非活性」状態に変更され、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

• 画面の参照箇所

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面

4.4 振り分けルール定義を登録する

振り分けルール定義（hcx ファイル）を CSCIW に登録できます。

振り分けルール定義の登録方法を次に示します。

1. [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。

[振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.2.1 振り分けルール定義を表示する](#)」を参照してください。

2. [アクション▼] - [振り分けルール定義登録] を選択します。

[振り分けルール定義登録] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [振り分けルール定義登録] 画面で、登録する振り分けルール定義ファイルを指定します。

ファイル拡張子が「hcx」の振り分けルール定義ファイルを指定します。

CSCIW-Definer でチェックし、エラーがないことを確認した振り分けルール定義ファイルを指定してください。

4. [登録] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

5. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

指定した振り分けルール定義ファイルが登録され、「活性」状態になります。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。

[振り分けルール定義登録] 画面が閉じます。

振り分けルール定義登録でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [振り分けルール定義登録] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、初期状態の [振り分けルール定義登録] 画面に戻ります。

❗ 重要

振り分けルール定義を登録した場合は、次に示すプログラムを再起動して振り分けルール定義の登録を反映してください。

- CSCIWManagementServer[※]
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

登録を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

• 画面の参照箇所

- [振り分けルール定義一覧] 画面
- [振り分けルール定義登録] 画面

4.5 振り分けルール定義を削除する

振り分けルール定義を CSCIW から削除できます。振り分けルール定義は、使用していないことを確認してから削除してください。

振り分けルール定義の削除方法を次に示します。

1. [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。

[振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.2.1 振り分けルール定義を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除する振り分けルール定義のチェックボックスをチェックします。

振り分けルール定義は複数選択できます。

ビジネスプロセス定義で使用中の振り分けルール定義は削除できません。

3. [アクション▼] - [振り分けルール定義削除] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した振り分けルール定義が削除されます。振り分けルール定義が「活性」状態の場合は、「非活性」状態に変更され削除されます。

選択したすべての振り分けルール定義が削除された場合は、[振り分けルール定義一覧] 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [振り分けルール定義一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の振り分けルール定義の同時削除時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException :
処理が続行され、処理終了後に [振り分けルール定義一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException :
処理が中断され、[振り分けルール定義一覧] 画面にエラーが表示されます。

振り分けルール定義を削除した場合は、次に示すプログラムを再起動して振り分けルール定義の削除を反映してください。

- CSCIWManagementServer*
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

削除を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

- 画面の参照箇所
 - [\[振り分けルール定義一覧\] 画面](#)

5

案件の運用状況を確認する

この章では、案件運用操作を使用して、案件、業務ステップおよび作業の運用状況を確認する一連の操作方法について説明します。

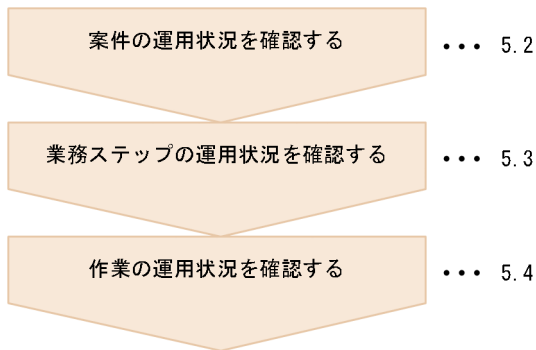
5.1 案件の運用状況を確認する操作の流れ

ここでは、案件の運用状況を確認する操作の流れを説明します。

特定のビジネスプロセス定義の案件と、その案件の推進に伴って実行される業務ステップおよび作業の運用状況を確認する操作の流れを次の図に示します。

なお、図中の数字は、対応する内容を説明している節の番号を表しています。

図 5-1 案件の運用状況確認の流れ



5.2 案件の運用状況を確認する

[案件一覧] 画面に次の情報を表示させて、案件の運用状況を確認できます。

- 選択したビジネスプロセス定義に登録されている案件
- 特定の条件で検索した案件

なお、[案件一覧] 画面の表示項目を編集することもできます。

以降の項で、操作方法について説明します。

また、案件の状態や操作方法については、「[6.1 案件を操作する](#)」を参照してください。

5.2.1 案件を表示する

選択したビジネスプロセス定義に登録されている案件を一覧に表示できます。

案件の表示方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する](#)」を参照してください。

2. 案件一覧を表示したいビジネスプロセス定義のチェックボックスを1つチェックします。

ビジネスプロセス定義を複数選択した場合は [案件一覧] 画面を表示できません。

3. [アクション▼] - [案件一覧] を選択します。

[案件一覧] 画面が表示されます。

選択したビジネスプロセス定義に登録されているすべての案件が表示され、案件の状態などを確認できます。

❗ 重要

- [案件一覧] 画面から、[案件表示オプション設定] 画面などの子画面を表示している場合は、[案件一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、表示している子画面が警告なしに閉じます。
- 案件の件数が多い場合は、一覧の後方を表示するときに時間が掛かることがあります。

• 画面の参照箇所

- [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)
- [\[案件一覧\] 画面](#)
- [\[案件表示オプション設定\] 画面](#)

5.2.2 案件を検索する

選択したビジネスプロセス定義に登録されている案件を特定の条件で検索できます。

案件の検索方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. [アクション▼] - [案件検索] を選択します。

[案件検索] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [案件検索] 画面で検索条件を指定します。

検索条件は、次に示す項目を複数組み合わせで指定できます。

複数の項目を指定した場合、検索は AND で実行されます。

- 状態
- 案件名・ID
- 優先度
- 投入者
- 開始日時
- 終了日時
- 処理期限

検索条件については、「[\[案件検索\] 画面](#)」を参照してください。

4. [検索] ボタンをクリックします。

検索結果が [案件一覧] 画面に表示されます。

重要

- [案件検索] 画面を表示している場合は、親画面の [案件一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、[案件検索] 画面が警告なしに閉じます。
- 案件を検索する場合、指定条件によっては案件の件数が多くなり、検索に時間が掛かることがあります。
- 案件の検索でエラーが発生した場合は、[案件一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)
- [\[案件検索\] 画面](#)

5. 案件の運用状況を確認する

5.2.3 案件一覧の表示項目を編集する

[案件一覧] 画面に表示される項目の、表示または非表示を切り替えられます。

表示項目の切り替え方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. [オプション] を選択します。

[案件表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示されます。

[表示列オプション] には、現在の設定内容が表示されます。

3. [案件表示オプション設定] 画面で表示、非表示を切り替えたい項目のチェックボックスを操作します。

チェックボックスをチェックすると表示、チェックを外すと非表示の設定になります。

次に示す項目が切り替えられます。

- 案件名
- 優先度
- 投入者
- 開始日時
- 終了日時
- 処理期限

4. [設定] ボタンをクリックします。

親画面の [案件一覧] 画面に設定が反映され、一覧が再表示されます。親画面以外の [案件一覧] 画面は、一覧を更新すると設定が反映されます。

重要

[案件表示オプション設定] 画面を表示している場合は、親画面の [案件一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、[案件表示オプション設定] 画面が警告なしに閉じます。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)
- [\[案件表示オプション設定\] 画面](#)

5.3 業務ステップの運用状況を確認する

[業務ステップ一覧] 画面に次の情報を表示させて、業務ステップの運用状況を確認できます。

- 選択した案件に含まれる業務ステップ

なお、[業務ステップ一覧] 画面の表示項目を編集することもできます。

以降の項で、操作方法について説明します。

また、業務ステップの状態や操作方法については、「6.2 業務ステップを操作する」を参照してください。

5.3.1 業務ステップを表示する

選択した案件に含まれる業務ステップを一覧に表示できます。

業務ステップの表示方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「5.2.1 案件を表示する」を参照してください。

2. 業務ステップを表示したい案件のチェックボックスを1つチェックします。

案件を複数選択した場合は [業務ステップ一覧] 画面を表示できません。

3. [表示▼] - [業務ステップ一覧] を選択します。

[業務ステップ一覧] 画面が表示されます。

選択した案件全体の業務ステップが表示され、業務ステップの状態などを確認できます。

❗ 重要

- [業務ステップ一覧] 画面から、[業務ステップ表示オプション設定] 画面などの子画面を表示している場合は、[業務ステップ一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、表示している子画面が警告なしに閉じます。
- 業務ステップの件数が多い場合は、一覧の後方を表示するときに時間が掛かることがあります。

- 画面の参照箇所

- [案件一覧] 画面
- [業務ステップ一覧] 画面
- [業務ステップ表示オプション設定] 画面

5.3.2 業務ステップ一覧の表示項目を編集する

[業務ステップ一覧] 画面に表示される項目の、表示または非表示を切り替えられます。

表示項目の切り替え方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、「5.3.1 業務ステップを表示する」を参照してください。

2. [オプション] を選択します。

[業務ステップ表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示されます。

[表示列オプション] には、現在の設定内容が表示されます。

3. [業務ステップ表示オプション設定] 画面で表示、非表示を切り替えたい項目のチェックボックスを操作します。

チェックボックスをチェックすると表示、チェックを外すと非表示の設定になります。

次に示す項目が切り替えられます。

- 業務ステップ名
- 優先度
- 開始日時
- 終了日時
- 処理期限

4. [設定] ボタンをクリックします。

親画面の [業務ステップ一覧] 画面に設定が反映され、一覧が再表示されます。親画面以外の [業務ステップ一覧] 画面は、一覧を更新すると設定が反映されます。

重要

[業務ステップ表示オプション設定] 画面を表示している場合は、親画面の [業務ステップ一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、[業務ステップ表示オプション設定] 画面が警告なしに閉じます。

• 画面の参照箇所

- [\[業務ステップ一覧\] 画面](#)
- [\[業務ステップ表示オプション設定\] 画面](#)

5.4 作業の運用状況を確認する

[作業一覧] 画面に次の情報を表示させて、作業の運用状況を確認できます。

- 選択した案件全体の業務ステップに含まれるすべての作業
- 選択した業務ステップに含まれるすべての作業

なお、[作業一覧] 画面の表示項目を編集することもできます。

以降の項で、操作方法について説明します。

また、作業の状態や操作方法については、「[6.3 作業を操作する](#)」を参照してください。

5.4.1 作業を表示する

選択した案件や業務ステップに含まれる作業を一覧に表示できます。

作業の表示方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面または [業務ステップ一覧] 画面を表示します。
各画面の表示方法については、次に示す個所を参照してください。

- [案件一覧] 画面
[[5.2.1 案件を表示する](#)]
- [業務ステップ一覧] 画面
[[5.3.1 業務ステップを表示する](#)]

2. 作業を表示したい案件または業務ステップのチェックボックスを1つチェックします。
案件または業務ステップを複数選択した場合は [作業一覧] 画面を表示できません。

3. [表示▼] - [作業一覧] を選択します。

[作業一覧] 画面が表示されます。

[作業一覧] 画面に表示される作業を次に示します。

- 案件を選択した場合
選択した案件全体の業務ステップに含まれるすべての作業
- 業務ステップを選択した場合
選択した業務ステップに含まれるすべての作業

[作業一覧] 画面で、作業の状態などを確認できます。

❗ 重要

- [作業一覧] 画面から、[作業表示設定オプション] 画面などの子画面を表示している場合は、[作業一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、表示している子画面が警告なしに閉じます。
- 作業の件数が多い場合は、一覧の後方を表示するときに時間が掛かることがあります。

• 画面の参照箇所

- [案件一覧] 画面
- [業務ステップ一覧] 画面
- [作業一覧] 画面
- [作業表示オプション設定] 画面

5.4.2 作業一覧の表示項目を編集する

[作業一覧] 画面に表示される項目の、表示または非表示に切り替えられます。

表示項目の切り替え方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. [オプション] を選択します。

[作業表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示されます。

[表示列オプション] には、現在の設定内容が表示されます。

3. [作業表示オプション設定] 画面で表示、非表示を切り替えたい項目のチェックボックスを操作します。

チェックボックスをチェックすると表示、チェックを外すと非表示の設定になります。

次に示す項目が切り替えられます。

- 作業名
- 優先度
- 作業者
- 発生日時
- 開始日時
- 終了日時
- 処理期限

4. [設定] ボタンをクリックします。

5. 案件の運用状況を確認する

親画面の作業一覧に作業表示オプション設定が反映され、一覧が再表示されます。親画面以外の [作業一覧] 画面は、一覧を更新すると設定が反映されます。

❗ 重要

[作業表示オプション設定] 画面を表示している場合は、親画面の [作業一覧] 画面を閉じたり、ほかの画面へ遷移させたりしないでください。実行した場合は、[作業表示オプション設定] 画面が警告なしで閉じます。

• 画面の参照箇所

- [作業一覧] 画面
- [作業表示オプション設定] 画面

5.5 ビジネスプロセスモニタを確認する

[ビジネスプロセスモニタ] 画面に、ビジネスプロセス定義から生成した BPMN プロセス図と案件のステータス情報を表示させて確認できます。なお、ビジネスプロセスモニタは、BPMN 連携機能使用時にだけ表示できます。

以降の項で、操作方法について説明します。

5.5.1 ビジネスプロセスモニタを表示する

ビジネスプロセスモニタの表示方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. ビジネスプロセスモニタで表示を確認したい案件のチェックボックスを 1 つチェックします。

案件を複数選択した場合は [ビジネスプロセスモニタ] 画面を表示できません。

3. [表示▼] - [ビジネスプロセスモニタ] を選択します。

[ビジネスプロセスモニタ] 画面が別ウィンドウに表示されます。

ビジネスプロセスモニタが表示され、選択した案件の BPMN プロセス図と、案件のステータス情報が確認できます。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)
- [\[ビジネスプロセスモニタ\] 画面](#)

6

案件を管理する

この章では、案件運用操作を使用して、案件、業務ステップおよび作業の状態などを管理する一連の操作方法について説明しています。

6.1 案件を操作する

案件運用操作では、案件に対して次に示す操作ができます。

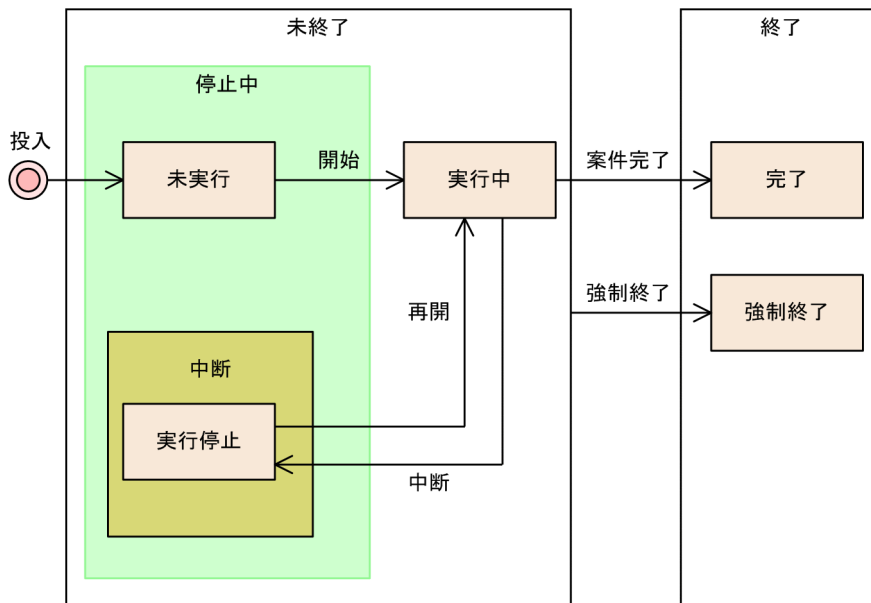
- 案件の投入
案件を作成し、開始できます。
- 案件の開始
「未実行」状態の案件を開始できます。
- 案件の中断
「実行中」状態の案件を中断できます。
- 案件の再開
「実行停止」状態の案件を再開できます。
- 案件の強制終了
案件を強制的に終了できます。
- 案件の削除
案件を削除できます。
- プロセスデータの編集
BPMN 連携機能使用時に、案件のプロセスデータを編集できます。
- メッセージの送信
BPMN 連携機能使用時に、メッセージイベントにメッセージを送信できます。
- 案件の一括削除
案件を一括で削除できます。
- 案件の一括削除の実行結果表示
案件の一括削除の実行結果を確認できます。

以降の項で、案件の状態、および案件の操作方法について説明します。なお、案件の一括削除および案件の一括削除の実行結果表示については、「[7. 案件を一括削除する](#)」を参照してください。

6.1.1 案件の状態

案件の状態と遷移を次の図に示します。

図 6-1 案件の状態と遷移



(凡例)

: 案件の状態を示します。

: 案件の遷移を示します。

注

大きい枠で示す状態は、小さい枠で示す状態を含んでいます。
 例えば、「中断」状態は「実行停止」状態を含んでおり、また、「中断」状態は「停止中」状態に含まれています。「未終了」状態は、「未実行」状態、「実行中」状態、「実行停止」状態、「停止中」状態および「中断」状態を含んでいます。

案件の状態を次に示します。

未実行

案件が生成されたときの初期の状態です。

実行中

案件が実行されている状態です。

「実行中」状態の場合だけ、案件に含まれる業務ステップを「実行中」状態にできます。

実行停止

案件の実行が中断された一時停止の状態です。

「実行停止」状態の案件に含まれる業務ステップは開始できません。

案件が「実行停止」状態になると、業務ステップは「実行開始不可」状態へ遷移します。ただし、すでに実行されている業務ステップはそのまま実行されます。このとき、業務ステップが完了しても、案件は「完了」状態には遷移しないで、「実行停止」状態のままです。

完了

案件が完了した状態です。

「完了」状態の案件に含まれているすべての業務ステップは、「完了」状態または「強制終了」状態です。

強制終了

案件が強制的に終了された状態です。

「強制終了」状態の案件に含まれているすべての業務ステップは、「完了」状態または「強制終了」状態です。

6.1.2 案件を投入する

ビジネスプロセス定義に対する案件を作成し、開始します。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、開始イベントの種類を選択とプロセスデータの指定ができます。

案件の投入方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、「3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する」を参照してください。

2. 案件を投入したいビジネスプロセス定義のチェックボックスを 1 つチェックします。

ビジネスプロセス定義は複数選択できません。

3. [アクション▼] - [案件投入] を選択します。

[案件投入] 画面が別ウィンドウに表示されます。

4. [案件投入] 画面で、必要な項目を指定します。

次に示す項目が指定できます。

- 案件名
- 優先度
- 処理期限

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、次に示す項目も指定できます。

- 開始イベントの種類
- 開始（メッセージ）イベントの ref 識別子
- 開始（タイマー）イベントの作業定義名
- プロセスデータキー名
- プロセスデータ値

5. [作成] ボタンまたは [作成および開始] ボタンをクリックします。

BPMN 連携機能使用時は、[作成および開始] ボタンだけが表示されます。

- [作成] ボタンをクリックした場合
確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、「未実行」状態の案件が作成されます。

- [作成および開始] ボタンをクリックした場合

確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、案件が作成され、そのあと自動的に「実行中」状態に遷移します。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。

[案件投入] 画面が閉じます。

案件が作成または開始されているかどうかを確認するには、作成または開始した案件を検索し、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新してください。

案件投入でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件投入] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、直前の [案件投入] 画面に戻ります。

❗ 重要

案件投入時に使用するビジネスプロセス定義に最新の情報が反映されていない場合があります。

これは、CSCIWManagementServer を停止しないで、ciwmngbp (ビジネスプロセス定義の管理) コマンド、または ciweditbp (ビジネスプロセス定義の変更) コマンドを実行した場合、CSCIWManagementServer を再起動するまでは最新の情報が反映されないためです。この場合は、コマンド実行前の情報で案件が投入されますので、注意してください。

• 画面の参照箇所

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
- [案件一覧] 画面
- [案件投入] 画面
- [カレンダー] 画面

6.1.3 案件を開始する

「未実行」状態の案件を開始し、「実行中」状態にします。

案件の開始方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. 開始したい案件のチェックボックスをチェックします。

案件は複数選択できます。「未実行」状態の案件を選択してください。

3. [案件操作▼] - [開始] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件が開始され、「実行中」状態になります。

選択したすべての案件が開始された場合は、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の案件の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [案件一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)

6.1.4 案件を中断する

「実行中」状態の案件を中断し、「実行停止」状態にします。

案件の中断方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. 中断したい案件のチェックボックスをチェックします。

案件は複数選択できます。「実行中」状態の案件を選択してください。

3. [案件操作▼] - [中断] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件が中断され、「実行停止」状態になります。

選択したすべての案件が中断された場合は、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の案件の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [案件一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)

6.1.5 案件を再開する

「実行停止」状態の案件を再開し、「実行中」状態にします。

案件の再開方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. 再開したい案件のチェックボックスをチェックします。

案件は複数選択できます。「実行停止」状態の案件を選択してください。

3. [案件操作▼] - [再開] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件が再開され、「実行中」状態になります。

選択したすべての案件が再開された場合は、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の案件の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException : 処理が中断され、[案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所
 - [案件一覧] 画面

6.1.6 案件を強制終了する

案件を強制的に終了し、「強制終了」状態にします。

案件の強制終了方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. 強制終了したい案件のチェックボックスをチェックします。

案件は複数選択できます。「未実行」状態、「実行中」状態または「実行停止」状態の案件を選択してください。

3. [案件操作▼] - [強制終了] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件が強制終了され、「強制終了」状態になります。

選択したすべての案件が強制終了された場合は、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の案件の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException : 処理が続行され、処理終了後に [案件一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException : 処理が中断され、[案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所
 - [案件一覧] 画面

6.1.7 案件を削除する

案件を削除します。

案件の削除方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除したい案件のチェックボックスをチェックします。

案件は複数選択できます。「完了」状態または「強制終了」状態の案件を選択してください。

3. [案件操作▼] - [削除] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件が削除されます。

選択したすべての案件が削除された場合は、[案件一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の案件の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [案件一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[案件一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一覧\] 画面](#)

6.1.8 プロセスデータを編集する

BPMN 連携機能使用時に、案件のプロセスデータを編集します。

案件のプロセスデータの編集方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. プロセスデータを編集したい案件のチェックボックスを 1 つチェックします。

案件は複数選択できません。

3. [案件操作▼] - [プロセスデータ編集] を選択します。

[プロセスデータ編集] 画面が表示され、選択した案件のプロセスデータを確認できます。

4. [編集] ボタンをクリックします。

[プロセスデータ] 入力欄が編集できるようになります。ただし、登録済みのプロセスデータの「キー」欄は、編集できません。

5. プロセスデータを指定します。

[キー] にはプロセスデータキー名を指定します。

[値] にはプロセスデータ値を指定します。

プロセスデータ入力欄に行を追加する場合は [追加] ボタンをクリックします。

6. [更新] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

7. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

[プロセスデータ編集] 画面が閉じて、[案件一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [プロセスデータ編集] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [案件一覧] 画面
- [プロセスデータ編集] 画面

6.1.9 メッセージを送信する

BPMN 連携機能使用時に、メッセージイベントにメッセージを送信します。

メッセージイベントにメッセージを送信する方法を次に示します。

1. [案件一覧] 画面を表示します。

[案件一覧] 画面の表示方法については、「[5.2.1 案件を表示する](#)」を参照してください。

2. メッセージイベントにメッセージを送信したい案件のチェックボックスを 1 つチェックします。

3. [案件操作▼] - [メッセージ送信] を選択します。

[メッセージ送信] 画面が表示されます。

4. [編集] ボタンをクリックします。

[ref 識別子]、および [プロセスデータ] 入力欄が編集できるようになります。

5. プロセスデータを入力します。

[ref 識別子] には ref 識別子を指定します。

[キー] にはプロセスデータキー名を指定します。

[値] にはプロセスデータ値を指定します。

プロセスデータ入力欄に行を追加する場合は [追加] ボタンをクリックします。

6. [メッセージ送信] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

7. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

[メッセージ送信] 画面が閉じて、[案件一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [メッセージ送信] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [案件一覧] 画面
- [メッセージ送信] 画面

6.2 業務ステップを操作する

案件運用操作では、業務ステップに対して次に示す操作ができます。

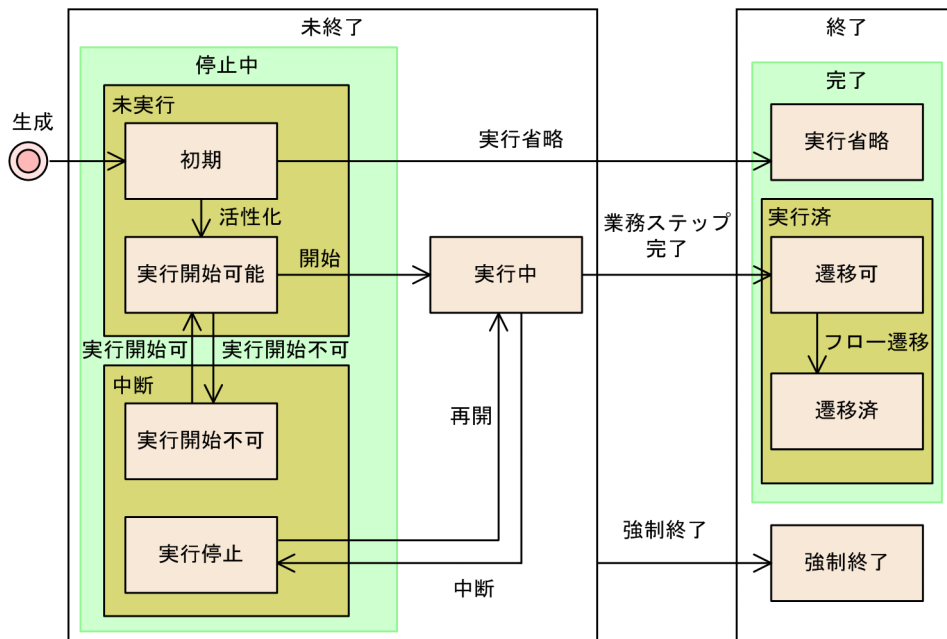
- 業務ステップの活性化
「初期」状態の業務ステップを活性化し、開始できます。
- 業務ステップの中断
「実行中」状態の業務ステップを中断できます。
- 業務ステップの再開
「実行停止」状態の業務ステップを再開できます。
- 業務ステップの完了
「実行中」状態の業務ステップを完了できます。
- 業務ステップの強制終了
業務ステップを強制的に終了できます。

以降の項で、業務ステップの状態、および業務ステップの操作方法について説明します。

6.2.1 業務ステップの状態

業務ステップの状態と遷移を次の図に示します。

図 6-2 業務ステップの状態と遷移



(凡例)

□ : 業務ステップの状態を示します。

→ : 業務ステップの遷移を示します。

注

大きい枠で示す状態は、小さい枠で示す状態を含んでいます。
 例えば、「中断」状態は「実行開始不可」状態および「実行停止」状態を含んでおり、また、「中断」状態は「停止中」状態に含まれています。「未終了」状態は、「未実行」状態、「実行中」状態、「実行停止」状態、「停止中」状態、「中断」状態などを含んでいます。

業務ステップの状態を次に示します。

初期

業務ステップが生成されたときの初期の状態です。

実行開始可能

業務ステップとして実行できる状態ですが、まだ実行開始されていない一時的な状態です。

実行中

業務ステップが実行されている状態です。

「実行中」状態の場合だけ、業務ステップに含まれる作業を「実行中」状態にできます。

また、「実行中」状態の場合だけ、業務ステップの評価が行われます。

実行開始不可

案件が「実行停止」状態のため、業務ステップを実行できない状態です。

案件が「実行停止」状態から再開されたときに、業務ステップも「実行開始可能」状態になります。

実行停止

業務ステップの実行が中断された一時停止の状態です。

「実行停止」状態の場合、業務ステップは完了できません。

また、「実行停止」状態の業務ステップに含まれる作業は開始できません。ただし、すでに実行されている作業はそのまま実行されます。

なお、「実行停止」状態の場合、業務ステップの評価は行われません。

実行省略

業務ステップが何も実行されないで完了した状態です。

案件が遷移していく過程で、業務ステップを通らないで案件が完了した場合に、この業務ステップは「実行省略」状態になります。

遷移可

業務ステップが完了し、次の業務ステップへ遷移できる状態です。

業務ステップが「遷移可」状態へ遷移した場合は、対象となる業務ステップに含まれているすべての作業は「終了」状態です。

遷移済

業務ステップが次の業務ステップへフロー遷移した状態です。

強制終了

業務ステップが強制的に終了された状態です。

業務ステップが「強制終了」状態へ遷移した場合は、対象となる業務ステップに含まれているすべての作業は「完了」状態または「強制終了」状態です。

なお、強制終了された業務ステップは、次の業務ステップへ遷移されません。

このとき、ほかに「実行中」状態の業務ステップが存在しない場合は、案件を強制終了する以外の操作ができなくなるため、注意してください。

また、実行中の業務ステップが存在している場合でも、待合ノードに続く業務ステップを強制終了すると、案件は待合ノードから遷移されなくなるため、注意してください。

6.2.2 業務ステップを活性化する

「初期」状態の業務ステップを活性化し、「実行中」状態にします。

このとき、業務ステップが含まれる案件が「実行中」状態の場合は、業務ステップは開始され「実行中」状態になります。また、案件が「実行中」状態でない場合は、業務ステップは「実行開始不可」状態になります。

業務ステップを活性化する方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、「[5.3.1 業務ステップを表示する](#)」を参照してください。

2. 活性化したい業務ステップのチェックボックスをチェックします。

業務ステップは複数選択できます。「初期」状態の業務ステップを選択してください。

3. [業務ステップ操作▼] - [活性化] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した業務ステップが活性化され、「実行開始可能」状態になります。

続いて、業務ステップが含まれる案件が「実行中」状態の場合は、業務ステップは開始され「実行中」状態になります。また、案件が「実行中」状態でない場合は、業務ステップは「実行開始不可」状態になります。

選択したすべての業務ステップが活性化された場合は、[業務ステップ一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の業務ステップの同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[業務ステップ一覧\] 画面](#)

6.2.3 業務ステップを中断する

「実行中」状態の業務ステップを中断し、「実行停止」状態にします。

業務ステップの中断方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、[5.3.1 業務ステップを表示する] を参照してください。

2. 中断したい業務ステップのチェックボックスをチェックします。

業務ステップは複数選択できます。「実行中」状態の業務ステップを選択してください。

3. [業務ステップ操作▼] - [中断] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した業務ステップが中断され、「実行停止」状態になります。

選択したすべての業務ステップが中断された場合は、[業務ステップ一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の業務ステップの同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[業務ステップ一覧\] 画面](#)

6.2.4 業務ステップを再開する

「実行停止」状態の業務ステップを再開し、「実行中」状態にします。

業務ステップの再開方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、「[5.3.1 業務ステップを表示する](#)」を参照してください。

2. 再開したい業務ステップのチェックボックスをチェックします。

業務ステップは複数選択できます。「実行停止」状態の業務ステップを選択してください。

3. [業務ステップ操作▼] - [再開] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した業務ステップが再開され、「実行中」状態になります。

選択したすべての業務ステップが再開された場合は、[業務ステップ一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の業務ステップの同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [業務ステップ一覧] 画面

6.2.5 業務ステップを完了する

「実行中」状態の業務ステップを完了し、「遷移済」状態または「遷移可」状態にします。

業務ステップの完了方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、「5.3.1 業務ステップを表示する」を参照してください。

2. 完了したい業務ステップのチェックボックスをチェックします。

業務ステップは複数選択できます。「実行中」状態の業務ステップを選択してください。

3. [業務ステップ操作▼] - [完了] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した業務ステップが完了され、「遷移済」状態または「遷移可」状態になります。

選択したすべての業務ステップが完了された場合は、[業務ステップ一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の業務ステップの同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [業務ステップ一覧] 画面

6.2.6 業務ステップを強制終了する

業務ステップを強制的に終了し、「強制終了」状態にします。

業務ステップの強制終了方法を次に示します。

1. [業務ステップ一覧] 画面を表示します。

[業務ステップ一覧] 画面の表示方法については、「5.3.1 業務ステップを表示する」を参照してください。

2. 強制終了したい業務ステップのチェックボックスをチェックします。

業務ステップは複数選択できます。「完了」状態または「強制終了」状態以外の業務ステップを選択してください。

3. [業務ステップ操作▼] - [強制終了] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した業務ステップが強制終了され、「強制終了」状態になります。

選択したすべての業務ステップが強制終了された場合は、[業務ステップ一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

- 複数の業務ステップの同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- ・ CIWStateException または CIWEntityNotExistException : 処理が続行され、処理終了後に [業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- ・ CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException : 処理が中断され、[業務ステップ一覧] 画面にエラーが表示されます。
- 強制終了された業務ステップは、次の業務ステップへ遷移されません。
このとき、ほかに「実行中」状態の業務ステップが存在しない場合、案件を強制終了する以外の操作ができなくなるため、注意してください。
また、実行中の業務ステップが存在している場合でも、待合ノードに続く業務ステップを強制終了すると、案件は待合ノードから遷移されなくなるため、注意してください。

- 画面の参照箇所

- [業務ステップ一覧] 画面

6.3 作業を操作する

案件運用操作では、作業に対して次に示す操作ができます。

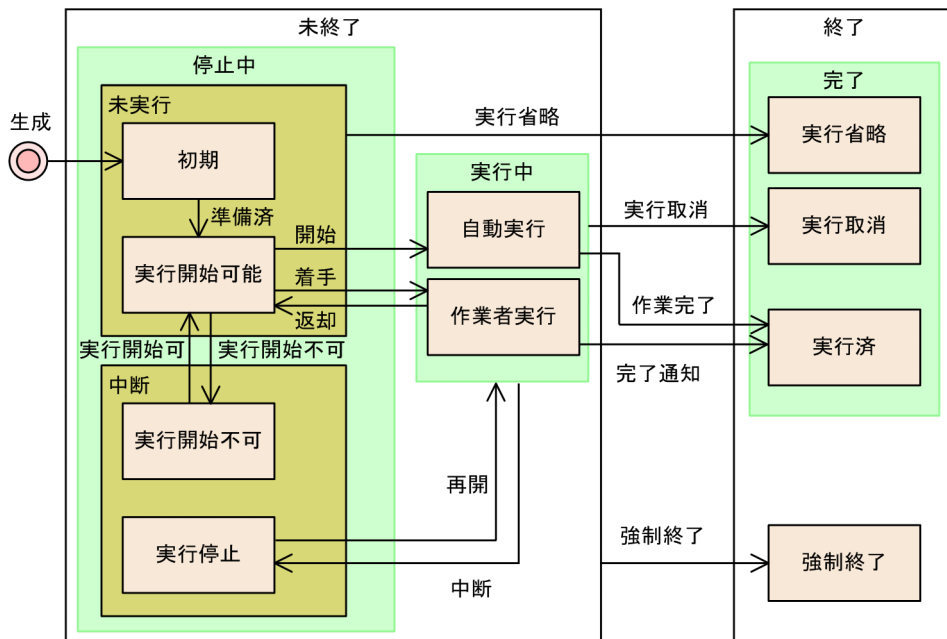
- 作業の準備済
「初期」状態の作業を準備済みにできます。
- 作業の着手
「実行開始可能」状態の作業に着手し、実行できます。
- 作業の中断
「実行中」状態の作業を中断できます。
- 作業の再開
「実行停止」状態の作業を再開できます。
- 作業の完了
「実行中」状態の作業を完了できます。
- 作業の返却
「作業者実行」状態の作業を返却できます。
- 作業の強制終了
作業を強制的に終了できます。
- 作業の作業者再割り当て
作業に割り当てられている作業者を変更できます。

以降の項で、作業の状態、および作業の操作方法について説明します。

6.3.1 作業の状態

作業の状態と遷移を次に示します。

図 6-3 作業の状態と遷移



(凡例)

□ : 作業の状態を示します。

→ : 作業の遷移を示します。

注

大きい枠で示す状態は、小さい枠で示す状態を含んでいます。
 例えば、「中断」状態は「実行開始不可」状態および「実行停止」状態を含んでおり、また、「中断」状態は「停止中」状態に含まれています。「未終了」状態は、「未実行」状態、「実行中」状態、「実行停止」状態、「停止中」状態、「中断」状態などを含んでいます。

作業の状態を次に示します。

初期

作業が生成されたときの初期の状態です。

実行開始可能

作業が実行できる状態です。

作業が「実行開始可能」状態へ遷移した時点で、作業への割り当て（リソースセレクション）は実行済みです。このため、作業からは実行開始可能な作業として見えます。

なお、「実行開始可能」状態の場合、作業の評価および作業振り分けルールの再評価ができます。

実行中

作業が実行されている状態です。

「実行中」状態とは、「自動実行」状態および「作業者実行」状態を指します。

自動実行

作業が自動的に実行されている状態です。

組み込み作業など、ワーク管理システムが制御する作業が実行されていることを示します。

なお、「自動実行」状態の場合、作業の評価ができます。

作業者実行

作業者が作業を実行している状態です。

人的リソースによる作業の実行など、ワーク管理システムの外部リソースによって作業が実行されていることを示します。作業者が「実行開始可能」状態の作業に着手すると、作業は「作業者実行」状態へ遷移します。

なお、「作業者実行」状態の場合、作業の評価および作業者振り分けルールの再評価ができます。

実行開始不可

業務ステップが「実行停止」状態のため、作業を開始または着手できない状態です。業務ステップが「実行停止」状態へ遷移した場合に、業務ステップに含まれるすべての「未実行」状態の作業は「実行開始不可」状態へ遷移します。

なお、作業が「実行開始不可」状態の場合は、作業者振り分けルールの再評価ができます。

実行停止

作業の実行が中断された一時停止の状態です。

作業実行の一時停止を、その作業の作業者へ要求する場合に、APIによって、「実行停止」状態への遷移要求を出します。

なお、作業が「実行停止」状態の場合、作業者振り分けルールの再評価ができます。

実行省略

作業が何も実行されないで完了した状態です。

「未実行」状態の作業を含む業務ステップが「完了」状態になった場合、この作業は「実行省略」状態になります。

また、発生と同時に作業の完了条件が満たされた場合、作業は「実行省略」状態になります。

実行取消

作業の実行が取り消された状態です。

「実行中」状態の作業を含む業務ステップが「完了」状態になった場合、この作業は「実行取消」状態になります。

実行済

ワーク管理システムまたは作業者によって、作業が実行され、完了した状態です。

「自動実行」状態の作業の場合、作業の完了条件が満たされると「実行済」状態になります。

また、「作業者実行」状態の作業の場合、作業者（外部リソース）によって作業が完了されたときに「実行済」状態になります。

強制終了

作業が強制的に終了された状態です。

APIによって強制終了が要求された場合、作業は「強制終了」状態になります。

また、作業を含む業務ステップが「強制終了」状態になった場合、この作業は「強制終了」状態になります。

なお、強制終了された作業が含まれる業務ステップは、完了条件が評価されません。この場合は、業務ステップを直接完了させるか、または `CIWActivityInstance#evaluate()` を使用して業務ステップの完

了条件を評価し、業務ステップの完了または作業の再作成をしてください。作業を再作成する場合は、作業の発生条件および完了条件を適切に定義してください。

6.3.2 作業を準備済みにする

「初期」状態の作業を「実行開始可能」状態にします。

作業を準備済みにする方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 準備済みにしたい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「初期」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [返却または準備済み] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が開始され、「実行開始可能」状態になります。

選択したすべての作業が開始された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所

- [\[作業一覧\] 画面](#)

6.3.3 作業に着手する

「実行開始可能」状態の作業に着手し、「作業者実行」状態にします。

作業に着手する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 着手したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「実行開始可能」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [着手] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が着手され、「作業実行」状態になります。

選択したすべての作業が着手された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [\[作業一覧\] 画面](#)

6.3.4 作業を中断する

「実行中」状態の作業を中断し、「実行停止」状態にします。

作業を中断する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 中断したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「実行中」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [中断] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が中断され、「実行停止」状態になります。

選択したすべての作業が中断された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

• 画面の参照箇所

- [作業一覧] 画面

6.3.5 作業を再開する

「実行停止」状態の作業を再開し、「実行中」状態にします。

作業を再開する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 再開したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「実行停止」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [再開] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が再開され、「実行中」状態になります。

選択したすべての作業が再開された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所
 - [作業一覧] 画面

6.3.6 作業を完了する

「実行中」状態の作業を完了し、「完了」状態にします。

作業を完了する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 完了したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「実行中」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [完了] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が完了され、「完了」状態になります。

選択したすべての作業が完了された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所
 - [作業一覧] 画面

6.3.7 作業を返却する

「作業実行」状態の作業を返却し、「実行開始可能」状態にします。

作業を返却する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「5.4.1 作業を表示する」を参照してください。

2. 返却したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「作業実行」状態の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [返却または準備済み] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が返却され、「実行開始可能」状態になります。

選択したすべての作業が返却された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。

- CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。

- 画面の参照箇所
 - [作業一覧] 画面

6.3.8 作業を強制終了する

作業を強制的に終了し、「強制終了」状態にします。

作業を強制終了する方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 強制終了したい作業のチェックボックスをチェックします。

作業は複数選択できます。「完了」状態または「強制終了」状態以外の作業を選択してください。

3. [作業操作▼] - [強制終了] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した作業が強制終了され、「強制終了」状態になります。

選択したすべての作業が強制終了された場合は、[作業一覧] 画面を最新の情報に更新します。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

- 複数の作業の同時処理時に CSCIW のエラーが発生した場合は、次に示す処理が実行されます。
 - ・ CIWStateException または CIWEntityNotExistException：処理が続行され、処理終了後に [作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
 - ・ CIWStateException または CIWEntityNotExistException を除く CIWException：処理が中断され、[作業一覧] 画面にエラーが表示されます。
- 強制終了された作業が含まれる業務ステップは、完了条件が評価されません。この場合は、業務ステップを直接完了させるか、または CIWActivityInstance#evaluate() を使用して業務ステップの完了条件を評価し、業務ステップの完了または作業の再作成をしてください。作業を再作成する場合は、作業の発生条件および完了条件を適切に定義してください。

• 画面の参照箇所

- [作業一覧] 画面

6.3.9 作業者の再割り当てをする

作業に割り当てられている作業者を変更できます。

作業者の再割り当て方法を次に示します。

1. [作業一覧] 画面を表示します。

[作業一覧] 画面の表示方法については、「[5.4.1 作業を表示する](#)」を参照してください。

2. 作業者の再割り当てをしたい作業のチェックボックスを 1 つチェックします。

作業は複数選択できません。

3. [作業一覧] 画面の [作業操作▼] - [作業者再割り当て] を選択します。

[作業者再割り当て] 画面が別ウィンドウに表示されます。

4. [作業者再割り当て] 画面で [変更後の作業者] のテキストボックスに再割り当てする作業者名を指定します。

テキストボックスの入力は省略できます。省略した場合の変更後作業者は null になります。

5. [再割り当て] ボタンをクリックします。

確認ダイアログが表示されます。

6. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

再割り当て作業者が [作業一覧] 画面に反映されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業者再割り当て] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

- 画面の参照箇所

- [作業一覧] 画面
- [作業者再割り当て] 画面

7

案件を一括削除する

この章では、案件運用操作を使用して、案件を一括削除する方法を説明します。

7.1 案件の一括削除を実行する

選択したビジネスプロセス定義の「完了」状態、または「強制終了」状態の案件を一括で削除できます。案件一括削除はジョブとして投入され、非同期で実行されます。

案件の一括削除方法を次に示します。

1. **[ビジネスプロセス定義一覧] 画面を表示します。**

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面の表示方法については、「[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する](#)」を参照してください。

2. **案件を一括削除するビジネスプロセス定義のチェックボックスをチェックします。**

ビジネスプロセス定義は1つだけ選択するか、または1つも選択しないでください。ビジネスプロセス定義を選択していない場合は、すべてのビジネスプロセス定義が対象になります。

3. **[アクション▼] - [案件一括削除] を選択します。**

[案件一括削除] 画面が別ウィンドウに表示されます。

4. **[案件一括削除] 画面で削除条件を指定します。**

削除条件には、次の項目を指定できます。

- 案件終了後経過日数
- 案件名

削除条件については、「[\[案件一括削除\] 画面](#)」を参照してください。

5. **[削除] ボタンをクリックします。**

確認ダイアログが表示されます。

6. **確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。**

案件一括削除がジョブとして投入されます。

7. **[閉じる] ボタンをクリックします。**

[案件一括削除] 画面が閉じます。

案件一括削除のジョブの投入でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一括削除] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、直前の [案件一括削除] 画面に戻ります。

メモ

案件一括削除のジョブの実行結果は、[\[案件一括削除実行結果\] 画面](#)で確認してください。

• **画面の参照箇所**

- [\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)

- [案件一括削除] 画面
- [案件一括削除実行結果] 画面

7.2 案件の一括削除の実行結果を表示する

案件一括削除の実行結果（ジョブレコード）を一覧に表示できます。

案件一括削除の実行結果の表示方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面, または [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面または [振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については, 「3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する」または「3.2.1 振り分けルール定義を表示する」を参照してください。

2. [表示▼] - [案件一括削除実行結果] を選択します。

[案件一括削除実行結果] 画面が別ウィンドウに表示されます。

投入した案件一括削除のジョブの状態などを確認できます。

メモ

案件一括削除の実行結果の件数が多い場合は, 一覧を表示するときに時間が掛かることがあります。

• 画面の参照箇所

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
- [振り分けルール定義一覧] 画面
- [案件一括削除実行結果] 画面

7.3 案件の一括削除の実行結果を削除する

終了済みの案件一括削除の実行結果（ジョブレコード）を削除できます。

案件一括削除の実行結果の削除方法を次に示します。

1. [案件一括削除実行結果] を表示します。

[案件一括削除実行結果] 画面の表示方法については、「[7.2 案件の一括削除の実行結果を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除する案件一括削除の実行結果を選択します。

終了している案件一括削除の実行結果を選択してください。案件一括削除の実行結果は複数選択できます。

3. [アクション▼] - [削除] を選択します。

確認ダイアログが表示されます。

4. 確認ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。

選択した案件一括削除の実行結果が削除されます。

選択したすべての案件一括削除の実行結果が削除された場合は、[案件一括削除実行結果] 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一括削除実行結果] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [\[案件一括削除実行結果\] 画面](#)

8

アプリケーション呼び出しサービスの設定を管理する

この章では、アプリケーション呼び出し制御情報、およびアプリケーション呼び出しグループ定義を管理する一連の操作方法について説明しています。

8.1 アプリケーション呼び出し制御情報を管理する

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に次の情報を表示させて確認できます。

- アプリケーション呼び出し制御情報の設定内容（ref 識別子またはグループ単位の、実行間隔、リトライ間隔、リトライ回数など）
- 特定の条件で検索したアプリケーション呼び出し制御情報の設定内容

なお、[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を編集して、アプリケーション呼び出し制御情報を登録、更新、または削除できます。

以降の項で、操作方法について説明します。

8.1.1 アプリケーション呼び出し制御情報を表示する

アプリケーション呼び出し制御情報を一覧に表示できます。

アプリケーション呼び出し制御情報の表示方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面、または [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。
[ビジネスプロセス定義一覧] 画面、または [振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については、
[3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する]、または [3.2.1 振り分けルール定義を表示する] を参照してください。
2. [表示▼] - [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] を選択します。
[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に、アプリケーション呼び出し制御情報の設定内容が表示されます。
 - 画面の参照箇所
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
 - [振り分けルール定義一覧] 画面
 - [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面

8.1.2 アプリケーション呼び出し制御情報を検索する

アプリケーション呼び出し制御情報を特定の条件で検索できます。

アプリケーション呼び出し制御情報の検索方法を次に示します。

1. [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を表示します。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面の表示方法については、「[8.1.1 アプリケーション呼び出し制御情報を表示する](#)」を参照してください。

2. [アクション▼] - [アプリケーション呼び出し制御情報検索] を選択します。

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面で検索条件を指定します。

検索条件は、次に示す項目を複数組み合わせで指定できます。

複数の項目を指定した場合、検索は AND で実行されます。

- 種別
- ref 識別子・グループ名

検索条件については、「[\[アプリケーション呼び出し制御情報検索\] 画面](#)」を参照してください。

4. [検索] ボタンをクリックします。

検索結果が [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に表示されます。

アプリケーション呼び出し制御情報の検索でエラーが発生した場合は、[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [\[アプリケーション呼び出し制御情報一覧\] 画面](#)
- [\[アプリケーション呼び出し制御情報検索\] 画面](#)

8.1.3 アプリケーション呼び出し制御情報を編集する

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を編集して、アプリケーション呼び出し制御情報を登録、更新、および削除できます。

アプリケーション呼び出し制御情報の登録、および更新方法を次に示します。

1. [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を表示します。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面の表示方法については、「[8.1.1 アプリケーション呼び出し制御情報を表示する](#)」を参照してください。

2. アプリケーション呼び出し制御情報を編集します。

登録する場合は、[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面で [登録行追加] ボタンをクリックして、アプリケーション呼び出し制御情報一覧に行を追加してください。アプリケーション呼び出し制御情報一覧のいちばん下に、背景がオレンジ色の行が追加されますので、次に示す項目を登録します。

- 種別
- ref 識別子・グループ名

- 実行間隔（秒）
- リトライ間隔（秒）
- リトライ回数（回）
- 最大作業件数（件）
- 障害復旧間隔（秒）

更新する場合は、アプリケーション呼び出し制御情報一覧に表示された情報の、次に示す項目を編集します。

- 実行間隔（秒）
- リトライ間隔（秒）
- リトライ回数（回）
- 最大作業件数（件）
- 障害復旧間隔（秒）

指定方法については、「[\[アプリケーション呼び出し制御情報一覧\] 画面](#)」を参照してください。

3. [アクション▼] - [アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存] を選択します。

すべてのアプリケーション呼び出し制御情報が登録、および更新された場合は、[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

アプリケーション呼び出し制御情報の削除方法を次に示します。

1. [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を表示します。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面の表示方法については、「[8.1.1 アプリケーション呼び出し制御情報を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除したいアプリケーション呼び出し制御情報のチェックボックスをチェックします。

アプリケーション呼び出し制御情報は複数選択できます。

ただし、「ref 識別子・グループ名」の項目が「共通設定」の場合は削除できません。

3. [アクション▼] - [アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存] を選択します。

選択したすべてのアプリケーション呼び出し制御情報が削除された場合は、[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

❗ 重要

- ref 識別子共通設定※は、アプリケーション呼び出し制御情報の更新はできますが、登録、および削除はできません。

注※ ref 識別子共通設定とは、アプリケーション呼び出し制御情報、およびアプリケーション呼び出しグループ定義のどちらにも登録しない ref 識別子に対して有効となる設定のことです。

次の種別ごとにそれぞれ ref 識別子共通設定があります。

- エラー (エラーイベント (err))
- メッセージ (メッセージイベント (msg))
- オペレーション (サービスタスクまたはビジネスルールタスク (ope))
- 「タイマーイベント (tim)」には共通設定しかないため、登録、および削除はできません。ref 識別子ごとにアプリケーション呼び出し制御情報を登録できないため、登録情報の「種別」のセレクトボックスでは「タイマー」は指定できません。

• 画面の参照箇所

- [\[アプリケーション呼び出し制御情報一覧\] 画面](#)

8.2 アプリケーション呼び出しグループ定義を管理する

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面に次の情報を表示させて確認できます。

- アプリケーション呼び出しグループ定義の情報（グループ名，種別，ref 識別子）
- 特定の条件で検索したアプリケーション呼び出しグループ定義の内容

なお，[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面を編集して，アプリケーション呼び出しグループ定義を登録，更新，または削除できます。

以降の項で，操作方法について説明します。

8.2.1 アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する

アプリケーション呼び出しグループ定義を一覧に表示できます。

アプリケーション呼び出しグループ定義の表示方法を次に示します。

1. [ビジネスプロセス定義一覧] 画面，または [振り分けルール定義一覧] 画面を表示します。
[ビジネスプロセス定義一覧] 画面，または [振り分けルール定義一覧] 画面の表示方法については，「3.1.1 ビジネスプロセス定義を表示する」，または「3.2.1 振り分けルール定義を表示する」を参照してください。
 2. [表示▼] - [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] を選択します。
[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面に，アプリケーション呼び出しグループ定義の内容の一覧が表示されます。
- 画面の参照箇所
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
 - [振り分けルール定義一覧] 画面
 - [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面

8.2.2 アプリケーション呼び出しグループ定義を検索する

アプリケーション呼び出しグループ定義を特定の条件で検索できます。

アプリケーション呼び出しグループ定義の検索方法を次に示します。

1. [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面を表示します。
[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面の表示方法については，「8.2.1 アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する」を参照してください。

2. [アクション▼] - [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] を選択します。

[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面が別ウィンドウに表示されます。

3. [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面で検索条件を指定します。

検索条件は、次に示す項目を複数組み合わせで指定できます。

複数の項目を指定した場合、検索は AND で実行されます。

- グループ名または ref 識別子
- 種別

検索条件については、「[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面」を参照してください。

4. [検索] ボタンをクリックします。

検索結果が [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面に表示されます。

アプリケーション呼び出しグループ定義の検索でエラーが発生した場合は、[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面
- [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面

8.2.3 アプリケーション呼び出しグループ定義を編集する

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面を編集して、アプリケーション呼び出しグループ定義を登録、更新、および削除できます。

アプリケーション呼び出しグループ定義の登録、および更新方法を次に示します。

1. [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面を表示します。

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面の表示方法については、「[8.2.1 アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する](#)」を参照してください。

2. アプリケーション呼び出しグループ定義を編集します。

登録する場合は、[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面で [登録行追加] ボタンをクリックして、アプリケーション呼び出しグループ定義一覧に行を追加してください。アプリケーション呼び出しグループ定義一覧のいちばん下に、背景がオレンジ色の行が追加されますので、次に示す項目を登録します。

- グループ名
- 種別
- ref 識別子

更新する場合は、アプリケーション呼び出しグループ定義一覧に表示された情報の、次に示す項目を編集します。

- グループ名

指定方法については、「[\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\] 画面](#)」を参照してください。

3. [\[アクション▼\]](#) - [\[アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存\]](#) を選択します。

すべてのアプリケーション呼び出しグループ定義が登録、および更新された場合は、[\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

アプリケーション呼び出しグループ定義の削除方法を次に示します。

1. [\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面を表示します。

[\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面の表示方法については、「[8.2.1 アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する](#)」を参照してください。

2. 削除したいアプリケーション呼び出しグループ定義のチェックボックスをチェックします。

アプリケーション呼び出しグループ定義は複数選択できます。

3. [\[アクション▼\]](#) - [\[アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存\]](#) を選択します。

選択したすべてのアプリケーション呼び出しグループ定義が削除された場合は、[\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面は最新の情報に更新されます。

エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\]](#) 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

• 画面の参照箇所

- [\[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧\] 画面](#)

9

案件運用操作の画面

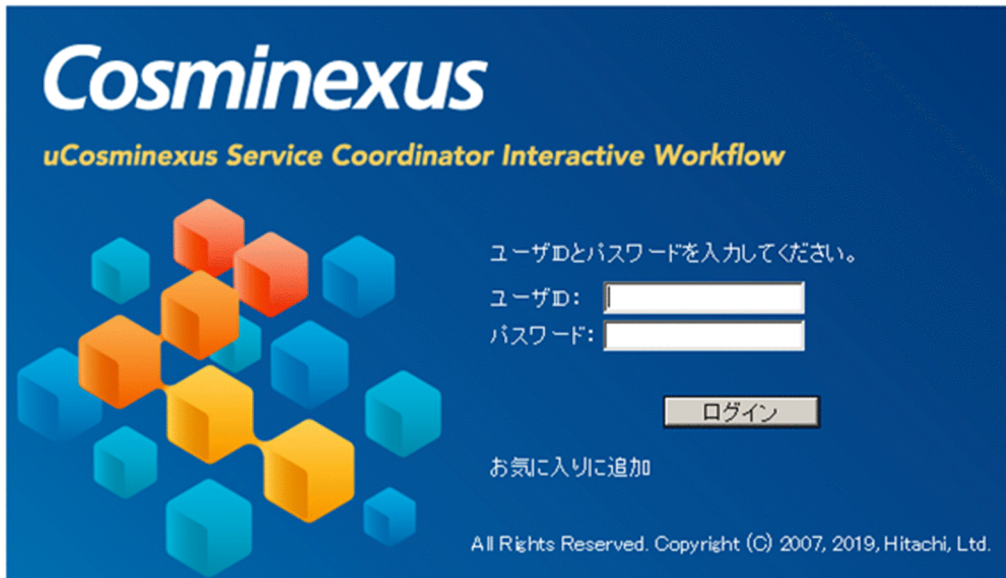
この章では、案件運用操作で使用する画面について説明します。

[ログイン] 画面

[ログイン] 画面では、ユーザ ID およびパスワードで認証します。

[ログイン] 画面を次に示します。

図 9-1 [ログイン] 画面



画面の各項目について次に説明します。

[ユーザ ID]

ユーザ ID を指定します。

[パスワード]

パスワードを指定します。

[ログイン] ボタン

ユーザ ID およびパスワードの認証が行われます。

ログインすると、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が表示されます。

[お気に入りに追加]

IE の [お気に入りに追加] ダイアログが表示され、[ログイン] 画面をお気に入りに追加できます。IE 以外のブラウザの場合、ブラウザの機能の使用を促すメッセージが表示されます。

デフォルトでは、ダイアログに「案件運用操作」と表示されます。

なお、IE の場合、[ログイン] 画面の URL をお気に入りに追加する場合は、必ず、この [お気に入りに追加] アンカーを使用してください。Web ブラウザ機能の [お気に入りに追加] は使用しないでください。Web ブラウザ機能を使用してお気に入りに追加した場合は、異なった URL で追加されます。ブラウザごとの動作を次に示します。

- IE の場合

IE の [お気に入りの追加] 画面が開きます。[追加] ボタンをクリックすると、URL が追加されます。

- Firefox または Google Chrome の場合
ブラウザのブックマーク機能の使用を促すメッセージが表示されます。

! **重要**

誤ったユーザ ID またはパスワードを指定したため認証に失敗した場合は、[ログイン] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、正しいユーザ ID またはパスワードを再指定してください。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面は、案件運用操作のメイン画面です。

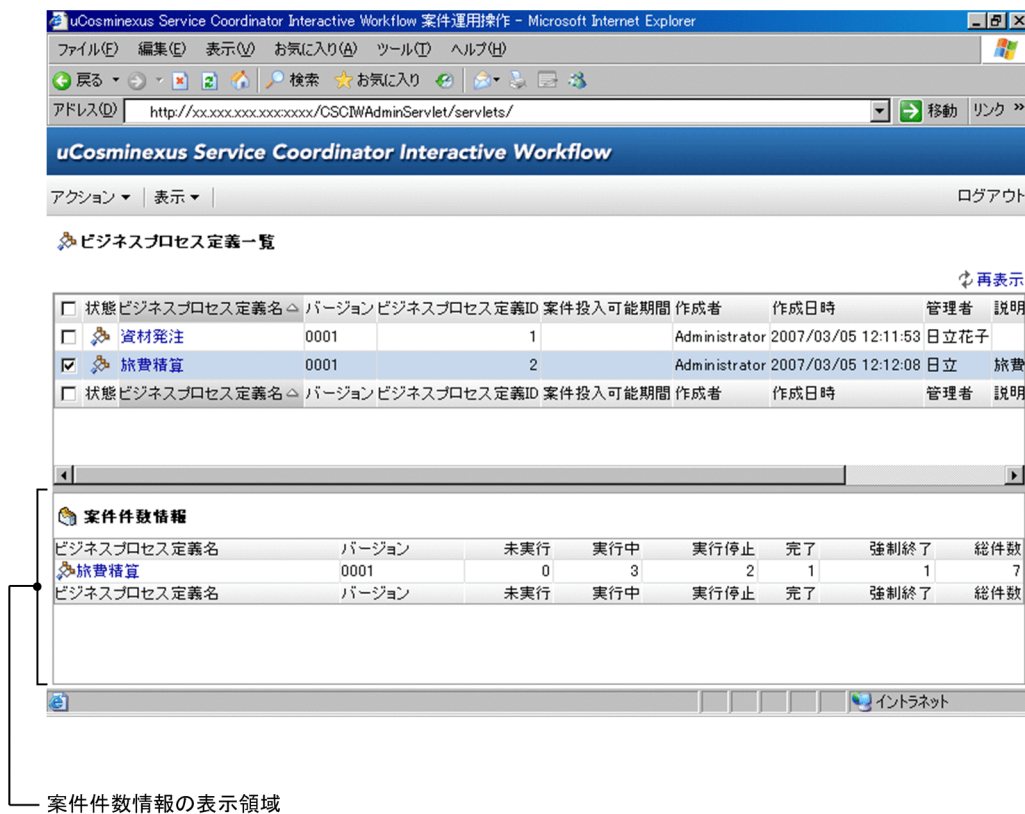
[ビジネスプロセス定義一覧] 画面には、ビジネスプロセス定義一覧と案件件数情報が表示されます。また、この画面ではビジネスプロセス定義の削除ができます。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面を次に示します。

図 9-2 [ビジネスプロセス定義一覧] 画面 (ビジネスプロセス定義一覧だけを表示している場合)

| 状態 | ビジネスプロセス定義名 | バージョン | ビジネスプロセス定義ID | 案件投入可能期間 | 作成者 | 作成日時 | 管理者 | 説明 |
|--------------------------|-------------|-------|--------------|----------|---------------|---------------------|------|----|
| <input type="checkbox"/> | 資料発注 | 0001 | | 1 | Administrator | 2007/03/05 12:11:53 | 日立花子 | |
| <input type="checkbox"/> | 旅費精算 | 0001 | | 2 | Administrator | 2007/03/05 12:12:08 | 日立 | 旅費 |

図 9-3 [ビジネスプロセス定義一覧] 画面 (案件件数情報を表示している場合)



画面のメニューおよび項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [ビジネスプロセス定義検索]

[ビジネスプロセス定義検索] 画面が別ウィンドウに表示され、特定の条件でビジネスプロセス定義を検索できます。

[ビジネスプロセス定義検索] 画面については、「[ビジネスプロセス定義検索] 画面」を参照してください。
- [ビジネスプロセス定義登録]

[ビジネスプロセス定義登録] 画面が別ウィンドウに表示され、ビジネスプロセス定義を登録できます。

[ビジネスプロセス定義登録] 画面については、「[ビジネスプロセス定義登録] 画面」を参照してください。
- [ビジネスプロセス定義活性化]

選択した1つのビジネスプロセス定義を活性化します。

ビジネスプロセス定義を選択していない場合、または複数のビジネスプロセス定義を選択している場合、このサブメニューは非活性です。ビジネスプロセス定義の活性化に成功した場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

- **[ビジネスプロセス定義非活性化]**

選択した1つのビジネスプロセス定義を非活性化します。

ビジネスプロセス定義を選択していない場合、または複数のビジネスプロセス定義を選択している場合、このサブメニューは非活性です。ビジネスプロセス定義の非活性化に成功した場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

- **[ビジネスプロセス定義削除]**

選択した1つまたは複数のビジネスプロセス定義を削除します。案件があるビジネスプロセス定義は削除できません。

ビジネスプロセス定義を選択していない場合、このサブメニューは非活性です。

選択したすべてのビジネスプロセス定義の削除が成功した場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。なお、エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [ビジネスプロセス定義一覧] 画面に表示されます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、ビジネスプロセス定義の削除に併せて BPMN ビジネスプロセス定義が削除されます。ユーザが指定したビジネスプロセス定義と、同一のビジネスプロセス定義名、およびビジネスプロセス定義バージョンの BPMN ビジネスプロセス定義が削除されます。

! **重要**

ビジネスプロセス定義は、使用していないことを確認してから削除してください。

ビジネスプロセス定義を削除した場合は、次に示すプログラムを再起動してビジネスプロセス定義の削除を反映してください。

- CSCIWManagementServer*
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

削除を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

- **[振り分けルール定義検索]**

この画面では常に非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。

- **[振り分けルール定義登録]**

この画面では常に非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。

- **[振り分けルール定義削除]**

この画面では常に非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。

- **[案件一覧]**

[案件一覧] 画面が別ウィンドウに表示され、選択したビジネスプロセス定義の案件を確認できます。ビジネスプロセス定義を1つだけ選択している場合に実行できます。

[案件一覧] 画面については、「[[案件一覧](#) 画面]」を参照してください。

- **[案件投入]**

[案件投入] 画面が別ウィンドウに表示され、選択したビジネスプロセス定義に案件を投入できます。ビジネスプロセス定義を1つだけ選択している場合に実行できます。

[案件投入] 画面については、「[[案件投入](#) 画面]」を参照してください。

- **[案件一括削除]**

[案件一括削除] 画面が別ウィンドウに表示され、選択したビジネスプロセス定義の案件を一括で削除できます。

ビジネスプロセス定義を1つだけ選択しているか、1つも選択していない場合に実行できます。ビジネスプロセス定義を選択していない場合は、すべてのビジネスプロセス定義が対象になります。

[案件一括削除] 画面については、「[[案件一括削除](#) 画面]」を参照してください。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- **[ビジネスプロセス定義一覧]**

この画面では常に非活性です。

- **[振り分けルール定義一覧]**

[振り分けルール定義一覧] 画面が表示されます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。

[振り分けルール定義一覧] 画面については、「[[振り分けルール定義一覧](#) 画面]」を参照してください。

- **[案件一括削除実行結果]**

[案件一括削除実行結果] 画面が別ウィンドウに表示され、案件一括削除の実行結果を確認できます。

[案件一括削除実行結果] 画面については、「[[案件一括削除実行結果](#) 画面]」を参照してください。

- **[ビジネスプロセスオペレータ]**

[ビジネスプロセスオペレータ] 画面が別ウィンドウに表示されます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけ表示されます。

- **[アプリケーション呼び出し制御情報一覧]**

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面が別ウィンドウに表示されます。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面については、「[[アプリケーション呼び出し制御情報一覧](#) 画面]」を参照してください。

- **[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧]**

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面が別ウィンドウに表示されます。

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面については、「[[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧](#) 画面]」を参照してください。

- **[案件件数の表示]**

案件件数情報の表示領域に、案件件数の情報が表示されます。
ビジネスプロセス定義を1つ以上選択している場合に実行できます。

- **[最新情報の表示]**

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。
更新後の画面の表示を次に示します。

- ・ 検索条件はこの画面に保存している検索条件で表示されます。
- ・ ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- ・ 更新前に案件件数情報を表示している場合でも、更新後はビジネスプロセス定義一覧だけが表示されます。
- ・ 選択は解除されます。

[ログアウト]

ログアウトを示す画面が表示され、案件運用操作からログアウトします。
ログアウトすると、開いている案件運用操作の画面はすべて閉じます。

[再表示]

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。
更新後の画面の表示については、**[表示▼]** – **[最新情報の表示]** を参照してください。

項目

ビジネスプロセス定義一覧

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。



(チェックボックス)

ビジネスプロセス定義を選択するか、または選択を解除します。
チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。
なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべてのビジネスプロセス定義を一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

[状態]

ビジネスプロセス定義の状態を示すアイコンが表示されます。
「活性」状態または「非活性」状態を示すアイコンのどちらかが表示されます。
ビジネスプロセス定義の状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-1 ビジネスプロセス定義の状態を示すアイコン

| アイコン | 状態 |
|---|---------|
|  | 「活性」状態 |
|  | 「非活性」状態 |

[ビジネスプロセス定義名]

ビジネスプロセス定義名が表示されます。
 クリックすると [案件一覧] 画面が表示されます。

[バージョン]

ビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。
 バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[ビジネスプロセス定義 ID]

ビジネスプロセス定義 ID が表示されます。

[案件投入可能期間]

ビジネスプロセス定義に案件を投入できる期間が表示されます。
 表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD-YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY-MM/DD/YYYY
- 無限過去の場合
ORIGIN
- 無限未来の場合
BEYOND
- 期間が「ORIGIN～BEYOND」の場合
空欄

なお、ヘッダまたはフッタの [案件投入可能期間] アンカーをクリックした場合のソートの順序は次のとおりです。

- 昇順
空欄のデータ→期間開始が古いデータ→期間終了が古いデータ
- 降順
期間開始が新しいデータ→期間終了が新しいデータ→空欄のデータ

[作成者]

ビジネスプロセス定義の作成者が表示されます。

[作成日時]

ビジネスプロセス定義の作成日時が表示されます。
表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[管理者]

ビジネスプロセス定義の管理者が表示されます。

[説明]

- BPMN 連携機能を使用していない場合
ビジネスプロセス定義の説明が表示されます。
- BPMN 連携機能を使用している場合
空白、または CSCIW の製品内部で使用する情報が表示されます。

案件件数情報

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義の状態を示すアイコン、およびビジネスプロセス定義名が表示されます。状態を示すアイコンについては「表 9-1 ビジネスプロセス定義の状態を示すアイコン」を参照してください。

また、ビジネスプロセス定義名をクリックすると「案件一覧」画面が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。
バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[未実行]

「未実行」状態の案件の件数が表示されます。

[実行中]

「実行中」状態の案件の件数が表示されます。

[実行停止]

「実行停止」状態の案件の件数が表示されます。

[完了]

「完了」状態の案件の件数が表示されます。

[強制終了]

「強制終了」状態の案件の件数が表示されます。

[総件数]

案件の総件数が表示されます。

メモ

- [ビジネスプロセス定義一覧] 画面には、取得したビジネスプロセス定義がすべて一画面に表示されます。表示されるビジネスプロセス定義の最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmBpCrDispMaxCount」で設定した値です。
- 各項目をソートして表示される順序は、CSCIW の API (getProcessDefinitionsList) にソート条件（属性と昇順または降順）を指定して取得した順序と同じです。また、空文字 (null) のデータの表示順も API で取得した順序になります。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - ・ YYYY：西暦を示します。
 - ・ MM：月を示します。
 - ・ DD：日を示します。
 - ・ hh：時を示します。
 - ・ mm：分を示します。
 - ・ ss：秒を示します。
- CSCIW 02-30 以降では、案件件数情報の表示領域は上下に移動できません。

[ビジネスプロセス定義検索] 画面

[ビジネスプロセス定義検索] 画面では、ビジネスプロセス定義を特定の条件で検索できます。

なお、検索条件は複数の項目を組み合わせて指定できます。

[ビジネスプロセス定義検索] 画面を次に示します。

図 9-4 [ビジネスプロセス定義検索] 画面

画面の各項目について次に説明します。

[一般]

• [最新バージョン]

各ビジネスプロセス定義の最新バージョン（いちばん大きいバージョン番号）を検索条件に設定する場合に選択します。

• [案件投入可能期間内]

案件投入可能期間内のビジネスプロセス定義を検索条件に設定する場合に選択します。

• [状態]

ビジネスプロセス定義の状態を検索条件に設定する場合に選択します。

次のどちらかのラジオボタンを選択します。

[活性]

「活性」状態のビジネスプロセス定義を検索条件に設定する場合に選択します。

[非活性]

「非活性」状態のビジネスプロセス定義を検索条件に設定する場合に選択します。

[定義名]

ビジネスプロセス定義名を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスにビジネスプロセス定義名を指定します。定義名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、定義名が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。

【管理者】

ビジネスプロセス定義の管理者を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに管理者を指定します。管理者には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、管理者が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。

【作成者】

ビジネスプロセス定義の作成者を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに作成者名を指定します。作成者名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、作成者が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。

【作成日】

ビジネスプロセス定義の作成日を検索条件に設定する場合に選択します。


- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックス)
作成日の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。
時間は「00:00:00」で設定されます。
- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックス)
作成日の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。
時間は「23:59:59」で設定されます。

期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、作成日が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

【案件投入可能期間】

ビジネスプロセス定義の案件投入可能期間を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックス)
案件投入可能期間の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。

時間は「00:00:00」で設定されます。

- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックス)

案件投入可能期間の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。

時間は「23:59:59」で設定されます。

- **[該当条件]**

案件投入可能期間の期間開始 (from) または期間終了 (to) の範囲を指定します。

次に示すどちらかのラジオボタンを選択します。

[範囲内]

案件投入可能期間を完全に指定範囲内に設定する場合に選択します。

[範囲を含む]

案件投入可能期間の一部を指定範囲内に設定する場合に選択します。

期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、案件投入可能期間が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合

YYYY/MM/DD

- 日本語表示以外の場合

MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

[検索] ボタン

検索が実行され、検索結果が [ビジネスプロセス定義一覧] 画面に表示されます。

なお、検索の実行後は、[ビジネスプロセス定義検索] 画面は閉じます。

[キャンセル] ボタン

検索は実行されずに、[ビジネスプロセス定義検索] 画面が閉じます。

重要

- ビジネスプロセス定義の検索でエラーが発生した場合は、[ビジネスプロセス定義一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

- [作成日] または [案件投入可能期間] で、期間が設定されていないデータを検索条件に指定する場合は、期間開始 (from) および期間終了 (to) の両方または片方のチェックボックスをチェックし、テキストボックスには何も入力しないでください。

両方のチェックボックスをチェックし、一方を入力、一方に何も入力しなかった場合は、ヒットするデータはありません。

- ワイルドカードとして「*」が指定できる項目に、文字列の「*」を指定する場合は、「*」の前に「¥」をエスケープ文字として指定してください。

また、文字列の「¥*」を指定する場合は、「¥」および「*」の前に、それぞれ「¥」をエスケープ文字として指定してください。

なお、「*」を文字列として指定していない場合は、「¥」は単独の文字列として認識されます。指定例を次に示します。

| 指定したい文字列 | テキストボックスに 入力する文字※ |
|--------------------------------|----------------------|
| ABC*/**をすべて文字列として指定する場合 | ABC¥*/¥**¥* |
| AB¥*Cをすべて文字列として指定する場合 | AB¥¥¥*C |
| **/*を先頭の「*」だけをワイルドカードとして指定する場合 | *¥*/¥* |
| ABC¥ABCをすべて文字列として指定する場合 | ABC¥ABC |

注※

下線部分は、エスケープ文字として指定している「¥」です。

メモ

日時を表す「YYYY/MM/DD」などの表記について、英字の意味を次に示します。

- YYYY：西暦を示します。
- MM：月を示します。
- DD：日を示します。

[ビジネスプロセス定義登録] 画面

[ビジネスプロセス定義登録] 画面では、ビジネスプロセス定義 (hbx ファイル) を登録できます。CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、BPMN ビジネスプロセス定義 (bpmn ファイル) も併せて登録できます。登録した BPMN ビジネスプロセス定義は、[ビジネスプロセスモニタ] 画面で BPMN プロセス図と案件のステータス情報を表示するときに使用されます。

[ビジネスプロセス定義登録] 画面の初期状態の画面と、ビジネスプロセス定義登録後の画面を次に示します。なお、BPMN 連携機能を使用しているかどうかで、初期状態の画面は異なります。

図 9-5 [ビジネスプロセス定義登録] 画面 (BPMN 連携機能を使用していない場合)

The screenshot shows the 'uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow' interface. The title bar is blue with white text. Below the title bar, there is a section header 'ビジネスプロセス定義登録' with a small icon. Underneath, there is a label 'ビジネスプロセス定義ファイル' followed by a text input field containing 'ファイルを選択してください' and a '参照' button. At the bottom, there are two buttons: '登録' and 'キャンセル'.

図 9-6 [ビジネスプロセス定義登録] 画面 (BPMN 連携機能を使用している場合)

The screenshot shows the 'uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow' interface. The title bar is blue with white text. Below the title bar, there is a section header 'ビジネスプロセス定義登録' with a small icon. Underneath, there are two rows of input fields. The first row has a label 'ビジネスプロセス定義ファイル', a text input field containing 'ファイルを選択してください', and a '参照' button. The second row has a label 'BPMNビジネスプロセス定義ファイル', a text input field containing 'ファイルを選択してください', and a '参照' button. At the bottom, there are two buttons: '登録' and 'キャンセル'.

図 9-7 ビジネスプロセス定義登録後の画面



画面の各項目について次に説明します。

[ビジネスプロセス定義ファイル]

登録するビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

[参照] ボタンで表示されるファイルを選択するダイアログボックスから、ファイル拡張子が「hbx」のビジネスプロセス定義ファイルを選択して指定してください。テキストボックスには、直接ファイル名を入力できません。

❗ 重要

- CSCIW-Definer でチェックし、エラーがないことを確認したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、BPMN エディタ、またはciwtransbpmn コマンドを使用して変換したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

• [参照] ボタン

ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

[BPMN ビジネスプロセス定義ファイル]

登録する BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを指定します。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけ表示されます。

[参照] ボタンで表示されるファイルを選択するダイアログボックスから、ファイル拡張子が「bpmn」の BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを選択して指定してください。テキストボックスには、直接ファイル名を入力できません。

❗ 重要

- BPMN エディタ、またはciwtransbpmn コマンドを使用して変換した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- ファイルサイズが 4 メガバイト (4,194,304 バイト) を超える BPMN ビジネスプロセス定義ファイルは登録できません。

- [参照] ボタン

ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

[登録] ボタン

ビジネスプロセス定義, および BPMN ビジネスプロセス定義が登録され, 「活性」状態になります。

[キャンセル] ボタン

登録は実行されず, [ビジネスプロセス定義登録] 画面が閉じます。

[閉じる] ボタン

[ビジネスプロセス定義登録] 画面が閉じます。

なお, [閉じる] ボタンは, ビジネスプロセス定義登録後に表示されます。

! 重要

ビジネスプロセス定義を登録した場合は, 次に示すプログラムを再起動してビジネスプロセス定義の登録を反映してください。

- CSCIWManagementServer*
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

登録を実行した案件運用操作稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は, 再起動不要です。

📄 メモ

ビジネスプロセス定義登録でエラーが発生した場合は, エラーメッセージが [ビジネスプロセス定義登録] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また, エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は, 初期状態の [ビジネスプロセス定義登録] 画面に戻ります。

[振り分けルール定義一覧] 画面

[振り分けルール定義一覧] 画面には、振り分けルール定義一覧が表示されます。また、この画面では振り分けルール定義の削除ができます。

なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、この画面は表示されません。

[振り分けルール定義一覧] 画面を次に示します。

図 9-8 [振り分けルール定義一覧] 画面

| 状態 | 振り分けルール定義名 | バージョン | 有効期間 | 作成者 | 作成日時 | 管理者 | 説明 |
|--------------------------|-------------|-------|-----------------------|-------|---------------------|-------|-----|
| <input type="checkbox"/> | CAST | 0002 | 2019/12/05-2019/12/31 | admin | 2019/12/11 10:54:25 | admin | |
| <input type="checkbox"/> | CR_test3 | 0001 | ORIGIN-2019/12/27 | admin | 2019/12/11 10:50:53 | csciw | ルール |
| <input type="checkbox"/> | 新規振り分けルール定義 | 0001 | | admin | 2019/12/11 10:49:37 | admin | aa |
| <input type="checkbox"/> | 非活性 | 0001 | 2019/12/11-BEYOND | admin | 2019/12/11 10:52:45 | csciw | |

画面のメニューおよび項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [ビジネスプロセス定義検索]
この画面では常に非活性です。
- [ビジネスプロセス定義登録]
この画面では常に非活性です。
- [ビジネスプロセス定義削除]
この画面では常に非活性です。
- [振り分けルール定義検索]
[振り分けルール定義検索] 画面が別ウィンドウに表示され、特定の条件で振り分けルール定義を検索できます。
[振り分けルール定義検索] 画面については、「[振り分けルール定義検索] 画面」を参照してください。

- **[振り分けルール定義登録]**

[振り分けルール定義登録] 画面が別ウィンドウに表示され、振り分けルール定義を登録できます。
[振り分けルール定義登録] 画面については、「[\[振り分けルール定義登録\] 画面](#)」を参照してください。

- **[振り分けルール定義削除]**

選択した1つまたは複数の振り分けルール定義を削除します。ビジネスプロセス定義で使用中の振り分けルール定義は削除できません。

振り分けルール定義を選択していない場合は非活性です。

選択したすべての振り分けルール定義の削除が成功した場合は、[\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面が最新の情報に更新されます。なお、エラーが発生した場合は、エラーメッセージが[\[振り分けルール定義一覧\]](#) 画面に表示されます。

! **重要**

振り分けルール定義は、使用していないことを確認してから削除してください。

振り分けルール定義を削除した場合は、次に示すプログラムを再起動して振り分けルール定義の削除を反映してください。

- CSCIWManagementServer[※]
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注[※]

削除を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

- **[案件一覧]**

この画面では常に非活性です。

- **[案件投入]**

この画面では常に非活性です。

- **[案件一括削除]**

この画面では常に非活性です。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- **[ビジネスプロセス定義一覧]**

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面が表示されます。

[ビジネスプロセス定義一覧] 画面については、「[\[ビジネスプロセス定義一覧\] 画面](#)」を参照してください。

- **[振り分けルール定義一覧]**

この画面では常に非活性です。

- **[案件一括削除実行結果]**

[案件一括削除実行結果] 画面が別ウィンドウに表示され、案件一括削除の実行結果を確認できます。

[案件一括削除実行結果] 画面については、「[案件一括削除実行結果] 画面」を参照してください。

- **[アプリケーション呼び出し制御情報一覧]**

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面が別ウィンドウに表示され、アプリケーション呼び出し制御情報の内容を確認できます。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面については、「[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面」を参照してください。

- **[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧]**

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面が別ウィンドウに表示され、アプリケーション呼び出しグループ定義の内容を確認できます。

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面については、「[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面」を参照してください。

- **[案件件数の表示]**

この画面では常に非活性です。

- **[最新情報の表示]**

[振り分けルール定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示を次に示します。

- ・ 検索条件はこの画面に保存している検索条件で表示されます。
- ・ ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- ・ 選択は解除されます。

[ログアウト]

ログアウトを示す画面が表示され、案件運用操作からログアウトします。

ログアウトすると、開いている案件運用操作の画面はすべて閉じます。

[再表示]

[振り分けルール定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示については、「最新情報の表示」を参照してください。

項目

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。

(チェックボックス)

振り分けルール定義を選択するか、または選択を解除します。

チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。

なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべての振り分けルール定義を一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

[状態]

振り分けルール定義の状態を示すアイコンが表示されます。

「活性」状態または「非活性」状態を示すアイコンのどちらかが表示されます。

振り分けルール定義の状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-2 振り分けルール定義の状態を示すアイコン

| アイコン | 状態 |
|---|---------|
|  | 「活性」状態 |
|  | 「非活性」状態 |

[振り分けルール定義名]

振り分けルール定義名が表示されます。

[バージョン]

振り分けルール定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[有効期間]

振り分けルール定義の有効期間が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD-YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY-MM/DD/YYYY
- 無限過去の場合
ORIGIN
- 無限未来の場合
BEYOND
- 期間が「ORIGIN～BEYOND」の場合
空欄

なお、ヘッダまたはフッタの [有効期間] アンカーをクリックした場合のソートの順序は次のとおりです。

- 昇順
空欄のデータ→期間開始が古いデータ→期間終了が古いデータ
- 降順

期間開始が新しいデータ→期間終了が新しいデータ→空欄のデータ

【作成者】

振り分けルール定義の作成者が表示されます。

【作成日時】

振り分けルール定義の作成日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

【管理者】

振り分けルール定義の管理者が表示されます。

【説明】

振り分けルール定義の説明が表示されます。

メモ

- [振り分けルール定義一覧] 画面には、取得した振り分けルール定義がすべて一画面に表示されます。表示される振り分けルール定義の最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmBpCrDispMaxCount」で設定した値です。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - YYYY：西暦を示します。
 - MM：月を示します。
 - DD：日を示します。
 - hh：時を示します。
 - mm：分を示します。
 - ss：秒を示します。

[振り分けルール定義検索] 画面

[振り分けルール定義検索] 画面では、振り分けルール定義を特定の条件で検索できます。

なお、検索条件は複数の項目を組み合わせて指定できます。

[振り分けルール定義検索] 画面を次に示します。

図 9-9 [振り分けルール定義検索] 画面

画面の各項目について次に説明します。

[一般]

• [最新バージョン]

各振り分けルール定義の最新バージョン（いちばん大きいバージョン番号）を検索条件に設定する場合に選択します。

• [有効期間内]

有効期間内にある振り分けルール定義を検索条件に設定する場合に選択します。

• [状態]

振り分けルール定義の状態を検索条件に設定する場合に選択します。

次のどちらかのラジオボタンを選択します。

[活性]

「活性」状態の振り分けルール定義を検索条件に設定する場合に選択します。

[非活性]

「非活性」状態の振り分けルール定義を検索条件に設定する場合に選択します。

[定義名]

振り分けルール定義名を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに振り分けルール定義名を指定します。定義名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、定義名が設定されていない振り分けルール定義が検索条件に指定されます。

【管理者】

振り分けルール定義の管理者を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに管理者を指定します。管理者には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、管理者が設定されていない振り分けルール定義が検索条件に指定されます。

【作成者】

振り分けルール定義の作成者を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに作成者を指定します。作成者には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、作成者が設定されていない振り分けルール定義が検索条件に指定されます。

【作成日】

振り分けルール定義の作成日を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックス)
作成日の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。
時間は「00:00:00」で設定されます。
- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックス)
作成日の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。
時間は「23:59:59」で設定されます。


期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。

テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、作成日が設定されていない振り分けルール定義が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

【有効期間】

振り分けルール定義の有効期間を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックス)
有効期間の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。

時間は「00:00:00」で設定されます。

- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックス)

有効期間の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。

時間は「23:59:59」で設定されます。

- **[該当条件]**

有効期間の期間開始 (from) または期間終了 (to) の範囲を指定します。

次に示すどちらかのラジオボタンを選択します。

[範囲内]

有効期間を完全に指定範囲内に設定する場合に選択します。

[範囲を含む]

有効期間の一部を指定範囲内に設定する場合に選択します。

期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらかを選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、有効期間が設定されていないビジネスプロセス定義が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。


テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合

YYYY/MM/DD

- 日本語表示以外の場合

MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

[検索] ボタン

検索が実行され、検索結果が [振り分けルール定義一覧] 画面に表示されます。

なお、検索の実行後は、[振り分けルール定義検索] 画面は閉じます。

[キャンセル] ボタン

検索は実行されずに、[振り分けルール定義検索] 画面が閉じます。

重要

- 振り分けルール定義の検索でエラーが発生した場合は、[振り分けルール定義一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

- [作成日] または [有効期間] で、期間が設定されていないデータを検索条件に指定する場合は、期間開始 (from) および期間終了 (to) の両方または片方のチェックボックスをチェックし、テキストボックスには何も入力しないでください。

両方のチェックボックスをチェックし、一方を入力、一方に何も入力しなかった場合は、ヒットするデータはありません。

- ワイルドカードとして「*」が指定できる項目に、文字列の「*」を指定する場合は、「*」の前に「¥」をエスケープ文字として指定してください。

また、文字列の「¥*」を指定する場合は、「¥」および「*」の前に、それぞれ「¥」をエスケープ文字として指定してください。

なお、「*」を文字列として指定していない場合は、「¥」は単独の文字列として認識されます。指定例を次に示します。

| 指定したい文字列 | テキストボックスに入力する文字※ |
|--------------------------------|------------------|
| ABC**/*をすべて文字列として指定する場合 | ABC¥*/¥*¥* |
| AB¥*Cをすべて文字列として指定する場合 | AB¥¥¥*C |
| **/*を先頭の「*」だけをワイルドカードとして指定する場合 | *¥*/¥* |
| ABC¥ABCをすべて文字列として指定する場合 | ABC¥ABC |

注※

下線部分は、エスケープ文字として指定している「¥」です。

メモ

日時を表す「YYYY/MM/DD」などの表記について、英字の意味を次に示します。

- YYYY：西暦を示します。
- MM：月を示します。
- DD：日を示します。

[振り分けルール定義登録] 画面

[振り分けルール定義登録] 画面では、振り分けルール定義（hcx ファイル）を登録できます。

[振り分けルール定義登録] 画面の初期状態の画面と、振り分けルール定義登録後の画面を次に示します。

図 9-10 [振り分けルール定義登録] 画面



図 9-11 振り分けルール定義登録後の画面



画面の各項目について次に説明します。

[振り分けルール定義ファイル]

登録する振り分けルール定義ファイルを指定します。

[参照] ボタンで表示されるファイルを選択するダイアログボックスから、ファイル拡張子が「hcx」の振り分けルール定義ファイルを選択して指定してください。テキストボックスには、直接ファイル名を入力できません。

! 重要

CSCIW-Definer でチェックし、エラーがないことを確認した振り分けルール定義ファイルを指定してください。

• [参照] ボタン

ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

[登録] ボタン

振り分けルール定義が登録され、「活性」状態になります。

[キャンセル] ボタン

登録は実行されないで、[振り分けルール定義登録] 画面が閉じます。

[閉じる] ボタン

[振り分けルール定義登録] 画面が閉じます。

なお、[閉じる] ボタンは、振り分けルール定義登録後に表示されます。

重要

振り分けルール定義を登録した場合は、次に示すプログラムを再起動して振り分けルール定義の登録を反映してください。

- CSCIWManagementServer※
- CSCIW を使用している Java アプリケーション

注※

登録を実行した案件運用操作が稼働しているアプリケーションサーバの CSCIWManagementServer は、再起動不要です。

メモ

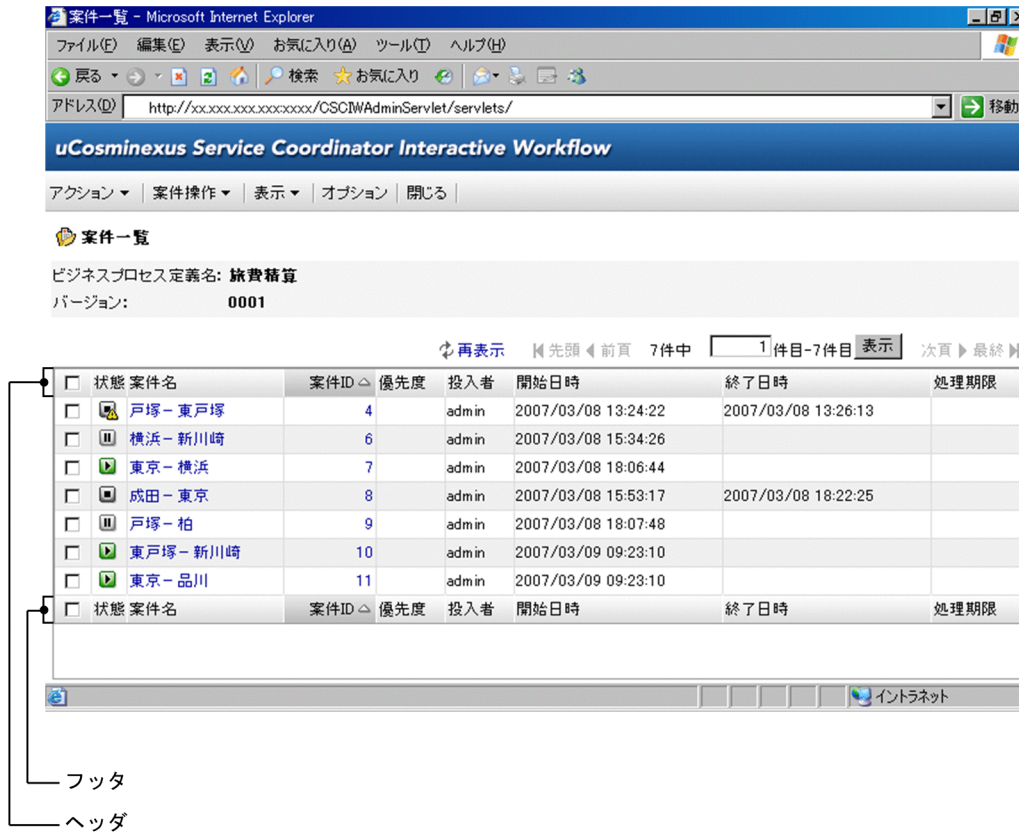
振り分けルール定義の登録でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [振り分けルール定義登録] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、初期状態の [振り分けルール定義登録] 画面に戻ります。

[案件一覧] 画面

[案件一覧] 画面には、案件一覧が表示されます。

[案件一覧] 画面を次に示します。

図 9-12 [案件一覧] 画面



画面のメニュー、情報および項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [案件検索]

「案件検索」画面が別ウィンドウに表示され、特定の条件で案件を検索できます。

「案件検索」画面については、「[案件検索] 画面」を参照してください。

[案件操作▼]

案件操作のサブメニューが表示されます。

なお、案件の各操作については、「6.1 案件を操作する」を参照してください。

- [開始]

案件一覧で選択した案件を開始します。

案件を選択していない場合は非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。
[開始] を選択すると、選択した案件に対して CIWProcessInstance#start()API が発行されます。

- **[中断]**

案件一覧で選択した案件を中断します。

案件を選択していない場合は非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。
[中断] を選択すると、選択した案件に対して
CIWProcessInstance#changeState(CIWProcessInstance.State.INTERMITTED)API が発行
されます。

- **[再開]**

案件一覧で選択した案件を再開します。

案件を選択していない場合は非活性です。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。
[再開] を選択すると、選択した案件に対して
CIWProcessInstance#changeState(CIWProcessInstance.State.RUNNING)API が発行されま
す。

- **[強制終了]**

案件一覧で選択した案件を強制的に終了します。

案件を選択していない場合は非活性です。

[強制終了] を選択すると、選択した案件に対して CIWProcessInstance#terminate()API が発行
されます。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は CIWBPMNLib#terminatePI()API が発行
されます。

- **[削除]**

案件一覧で選択した案件を削除します。

案件を選択していない場合は非活性です。

[削除] を選択すると、選択した案件に対して CIWProcessInstance#delete()API が発行されま
す。なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時は CIWBPMNLib#deletePI()API が発行されます。

- **[プロセスデータ編集]**

[プロセスデータ編集] 画面が別ウィンドウに表示されます。

案件を選択していない場合、または複数選択している場合は非活性です。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこのサブメニューが表示されます。

[プロセスデータ編集] 画面については、「[\[プロセスデータ編集\] 画面](#)」を参照してください。

- **[メッセージ送信]**

[メッセージ送信] 画面が別ウィンドウに表示されます。

案件を選択していない場合、または複数選択している場合は非活性です。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこのサブメニューが表示されます。

[メッセージ送信] 画面については、「[\[メッセージ送信\] 画面](#)」を参照してください。

選択したすべての案件の操作が成功した場合は、[案件一覧] 画面が最新の情報に更新されます。なお、
エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件一覧] 画面に表示されます。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- **[業務ステップ一覧]**

案件一覧で選択した案件に含まれる業務ステップが、[業務ステップ一覧] 画面に表示されます。案件を選択していない場合、または複数の案件を選択している場合は非活性です。[業務ステップ一覧] 画面については、「[\[業務ステップ一覧\] 画面](#)」を参照してください。

- **[作業一覧]**

案件一覧で選択した案件に含まれる作業が、[作業一覧] 画面に表示されます。案件を選択していない場合、または複数の案件を選択している場合は非活性です。[作業一覧] 画面については、「[\[作業一覧\] 画面](#)」を参照してください。

- **[ビジネスプロセスモニタ]**

[ビジネスプロセスモニタ] 画面が別ウィンドウに表示されます。CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこのサブメニューが表示されます。案件を選択していない場合、または複数の案件を選択している場合は非活性です。[ビジネスプロセスモニタ] 画面については、「[\[ビジネスプロセスモニタ\] 画面](#)」を参照してください。

- **[最新情報の表示]**

[案件一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示を次に示します。

- 検索条件はこの画面に保存している検索条件で表示されます。
- ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- 表示列は [案件表示オプション設定] 画面で設定した項目で表示されます。
- 選択は解除されます。
- 画面には最初のページが表示されます。

[オプション]

[案件表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示され、[案件一覧] 画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[案件表示オプション設定] 画面については、「[\[案件表示オプション設定\] 画面](#)」を参照してください。

[閉じる]

[案件一覧] 画面が閉じます。なお、この画面から開いたすべての子画面も閉じます。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが4けた未満の場合は、前に0が補完されて表示されます。

[再表示]

[案件一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示については、[表示▼] - [最新情報の表示] を参照してください。

[先頭]

案件一覧の先頭ページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[前頁]

表示されている案件一覧の1つ前のページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[n件中 [l] 件目 - m 件目]

表示内容を次に示します。

- n
全体の件数が表示されます。
- [l]
表示ページの先頭の案件が何件目かが表示されます。
また、表示させたい件数を直接指定できます。指定できる値は、1 ~ 2147483647 の整数値です。
- m
表示ページの最後の案件が何件目かが表示されます。

[表示]

[l] で指定した件数をオフセットとし、案件一覧が再表示されます。

[l] に全体件数より大きな値を指定した場合は、m に「x」が表示されます。

[次頁]

表示されている案件一覧の次のページが表示されます。

最終ページが表示されている場合は非活性です。

[最終]

案件一覧の最終ページが表示されます。

最終ページが表示されている場合は非活性です。

項目

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。

[] (チェックボックス)

案件を選択するか、または選択を解除します。

チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。

なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべての案件を一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

【状態】

案件の状態を示すアイコンが表示されます。

案件の状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-3 案件の状態を示すアイコン

| アイコン | 状態 |
|---|----------|
|  | 「未実行」状態 |
|  | 「実行中」状態 |
|  | 「実行停止」状態 |
|  | 「完了」状態 |
|  | 「強制終了」状態 |

【案件名】

案件名が表示されます。

クリックすると【業務ステップ一覧】画面が表示されます。ただし、案件名が省略されている場合はアンカーも表示されません。

【案件 ID】

案件 ID が表示されます。

クリックすると【業務ステップ一覧】画面が表示されます。

【優先度】

優先度が表示されます。

【投入者】

案件の投入者が表示されます。

【開始日時】

案件の開始日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

【終了日時】

案件の終了日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[処理期限]

案件の処理期限が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

メモ

- [案件一覧] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmPIDispMaxCount」で設定した値です。
- [前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンの制御は、案件取得 API (CIWServer#getProcessInstancesList) のオフセットと最大取得件数を使用します。[前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンをクリックするたびに該当する API を発行します。また、全件数表示には件数取得 API (CIWServer#getListCount) を使用します。したがって、タイミングによっては表示情報の重複や漏れなどのずれが生じる場合があります。
- 各項目をソートして表示される順序は、CSCIW の API (getProcessInstancesList) にソート条件 (属性と昇順または降順) を指定して取得した順序と同じです。また、空文字 (null) のデータの表示順も API で取得した順序になります。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - YYYY：西暦を示します。
 - MM：月を示します。
 - DD：日を示します。
 - hh：時を示します。
 - mm：分を示します。
 - ss：秒を示します。

[案件検索] 画面

[案件検索] 画面では、案件を特定の条件で検索できます。

なお、検索条件は複数の項目を組み合わせ指定できます。

[案件検索] 画面を次に示します。

図 9-13 [案件検索] 画面

案件検索 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow

案件検索

ビジネスプロセス定義名: **旅費精算**

バージョン: **0001**

状態 未実行 実行中 実行停止 完了 強制終了

案件名・ID 指定なし
 案件名 (ワイルドカード(*)可)
 案件ID (完全一致)

優先度 -

投入者 (ワイルドカード(*)可)

開始日時 2007/04/05 00 : 00 : 00 - 2007/04/05 23 : 59 : 59

終了日時 2007/04/05 00 : 00 : 00 - 2007/04/05 23 : 59 : 59

処理期限 2007/04/05 00 : 00 : 00 - 2007/04/05 23 : 59 : 59

検索 キャンセル

ページが表示されました イン트라ネット

画面の情報および項目について次に説明します。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

項目

[状態]

案件の状態を検索条件に設定できます。

- [未実行]

「未実行」状態の案件を検索条件に設定する場合に選択します。

- **[実行中]**
「実行中」状態の案件を検索条件に設定する場合に選択します。
- **[実行停止]**
「実行停止」状態の案件を検索条件に設定する場合に選択します。
- **[完了]**
「完了」状態の案件を検索条件に設定する場合に選択します。
- **[強制終了]**
「強制終了」状態の案件を検索条件に設定する場合に選択します。

[案件名・ID]

案件名または ID を検索条件に設定できます。

デフォルトでは、[指定なし] が選択されています。

- **[指定なし]**
案件名または案件 ID を検索条件に設定しない場合に選択します。
- **[案件名]**
案件名を検索条件に設定する場合に選択します。
テキストボックスに案件名を指定します。案件名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。
指定しなかった場合、案件名が設定されていない案件が検索条件に指定されます。
- **[案件 ID]**
案件 ID を検索条件に設定する場合に選択します。
テキストボックスに案件 ID を指定します。入力できる文字数は、最大で 11 文字です。
なお、入力しなかった場合、案件 ID が設定されていない案件が検索条件に指定されます。

[優先度]

案件の優先度を検索条件に設定する場合に選択します。

- **下限**（左側のテキストボックス）
優先度の下限を検索条件に設定する場合に指定します。指定しなかった場合、下限が設定されていない優先度が検索条件に指定されます。
- **上限**（右側のテキストボックス）
優先度の上限を検索条件に設定する場合に指定します。指定しなかった場合、上限が設定されていない優先度が検索条件に指定されます。

下限または上限のどちらか一方を指定することもできます。

テキストボックスに入力できる文字数は、最大で数字 11 文字です。なお、下限および上限を指定しなかった場合、優先度が設定されていない案件が検索条件に指定されます。

[投入者]

案件の投入者を検索条件に設定する場合に選択します。

テキストボックスに投入者を指定します。投入者には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

指定しなかった場合、投入者が設定されていない案件が検索条件に指定されます。

[開始日時]

案件の開始日時を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の開始日時の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。
- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の開始日時の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。


期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。また、時間はリストボックスから選択できます。

テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、開始日時が設定されていない案件が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

[終了日時]

案件の終了日時を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の終了日時の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。
- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の終了日時の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。

期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、[カレンダー] 画面から選択できます。また、時間はリストボックスから選択できます。


テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、終了日時が設定されていない案件が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD

- 日本語表示以外の場合

MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

[処理期限]

案件の処理期限を検索条件に設定する場合に選択します。

- **期間開始 (from)** (左側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の処理期限の期間開始 (from) を検索条件に設定する場合に指定します。
- **期間終了 (to)** (右側のテキストボックスおよびリストボックス)
案件の処理期限の期間終了 (to) を検索条件に設定する場合に指定します。

期間開始 (from) または期間終了 (to) のどちらか一方を選択することもできます。

日付はテキストボックスに直接入力するか、または [カレンダー] 画面から選択できます。また、時間はリストボックスから選択できます。

テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。入力しなかった場合、処理期限が設定されていない案件が検索条件に指定されます。検索項目に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。

テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY

また、[カレンダー] 画面は、[カレンダー] アイコン () をクリックすると表示されます。

[カレンダー] 画面については、「[\[カレンダー\] 画面](#)」を参照してください。

[検索] ボタン

検索が実行され、検索結果が [案件一覧] 画面に表示されます。

なお、検索の実行後、[案件検索] 画面は閉じます。

[キャンセル] ボタン

検索は実行されないで、[案件検索] 画面が閉じます。

❗ 重要

- 案件の検索でエラーが発生した場合は、[案件一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。
- [開始日時]、[終了日時] または [処理期限] で、期間が設定されていないデータを検索条件に指定する場合は、期間開始 (from) および期間終了 (to) の両方または片方のチェックボックスをチェックし、テキストボックスには何も入力しないでください。

両方のチェックボックスをチェックし、一方を入力、一方に何も入力しなかった場合は、ヒットするデータはありません。

- ワイルドカードとして「*」が指定できる項目に、文字列の「*」を指定する場合は、「*」の前に「¥」をエスケープ文字として指定してください。

また、文字列の「¥*」を指定する場合は、「¥」および「*」の前に、それぞれ「¥」をエスケープ文字として指定してください。

なお、「*」を文字列として指定していない場合は、「¥」は単独の文字列として認識されます。指定例を次に示します。

| 指定したい文字列 | テキストボックスに入力する文字※ |
|--------------------------------|------------------|
| ABC**/**をすべて文字列として指定する場合 | ABC¥*/¥*¥* |
| AB¥*C をすべて文字列として指定する場合 | AB¥¥¥*C |
| **/*を先頭の「*」だけをワイルドカードとして指定する場合 | *¥*/¥* |
| ABC¥ABC をすべて文字列として指定する場合 | ABC¥ABC |

注※

下線部分は、エスケープ文字として指定している「¥」です。

メモ

日時を表す「YYYY/MM/DD」などの表記について、英字の意味を次に示します。

- YYYY：西暦を示します。
- MM：月を示します。
- DD：日を示します。

[案件投入] 画面

[案件投入] 画面では、選択したビジネスプロセス定義に案件を投入できます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、開始イベントの種類を選択とプロセスデータの指定ができます。

[案件投入] 画面を次に示します。

図 9-14 [案件投入] 画面 (BPMN 連携機能を使用していない場合)

The screenshot shows a web browser window titled "案件投入 - Microsoft Internet Explorer". The page header is "uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow". The main content area is titled "案件投入". It displays the following information:

- ビジネスプロセス定義名: 旅費精算
- バージョン: 0001
- 案件名: [Text Input Field]
- 優先度: [Text Input Field]
- 処理期限:
 - 指定なし
 - BEYOND(無限遠)
 - 2007/04/05 [Calendar Icon] 00 [Dropdown] : 00 [Dropdown] : 00 [Dropdown]

At the bottom, there are three buttons: "作成", "作成および開始", and "キャンセル". The status bar at the bottom indicates "ページが表示されました" and "イントラネット".

図 9-15 [案件投入] 画面 (BPMN 連携機能を使用している場合)

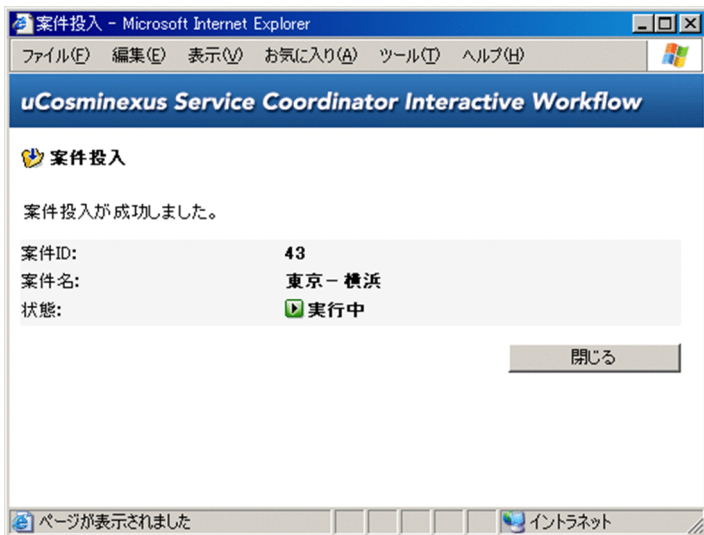
The screenshot shows a web browser window titled "案件投入 - Microsoft Internet Explorer". The page header is "uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow". The main content area is titled "案件投入". It displays the following information:

- ビジネスプロセス定義名: manual_sample
- バージョン: 0001
- 開始イベント:
 - タイプなし
 - メッセージ ref識別子 [Text Input Field]
 - タイマー 作業定義名 [Text Input Field]
- 案件名: [Text Input Field]
- 優先度: [Text Input Field]
- 処理期限:
 - 指定なし
 - BEYOND(無限遠)
 - 2019/10/25 [Calendar Icon] 00 [Dropdown] : 00 [Dropdown] : 00 [Dropdown]
- プロセスデータ:

| キー | 値 |
|--------------------|--------------------|
| [Text Input Field] | [Text Input Field] |
| [Text Input Field] | [Text Input Field] |
| [Text Input Field] | [Text Input Field] |

At the bottom, there are two buttons: "作成および開始" and "キャンセル".

図 9-16 案件投入後の画面



画面の情報および項目について次に説明します。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義の定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

項目

[開始イベント]

開始イベントの種類を指定します。

デフォルトでは、[タイプなし] が選択されています。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけ表示されます。

- [タイプなし]

開始 (タイプなし) イベントを実行する場合に選択します。

- [メッセージ]

開始 (メッセージ) イベントを実行する場合に選択します。

- [ref 識別子]

開始する開始 (メッセージ) イベントの ref 識別子を、テキストボックスに指定します。

[メッセージ] を選択している場合だけ入力できます。

- [タイマー]

開始 (タイマー) イベントを実行する場合に選択します。

- **【作業定義名】**

開始する開始（タイマー）イベントの作業定義名「<BPMN 要素名>_<BPMN 要素 ID>」を、テキストボックスに指定します。

【タイマー】を選択している場合だけ入力できます。

【案件名】

案件名をテキストボックスに指定します。

案件名を設定しない場合は空欄にします。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時、【開始イベント】で【タイマー】を選択している場合は非活性です。

【優先度】

優先度をテキストボックスに指定します。

優先度を設定しない場合は空欄にします。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時、【開始イベント】で【タイマー】を選択している場合は非活性です。

【処理期限】

案件の処理期限を設定できます。

デフォルトでは、【指定なし】が選択されています。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時、【開始イベント】で【タイマー】を選択している場合は非活性です。

- **【指定なし】**

案件の処理期限を設定しない場合に選択します。

- **【BEYOND（無限遠）】**

案件の処理期限を無限遠に設定する場合に選択します。

- **日時のテキストボックスおよびリストボックス**

案件の処理期限の日時を設定する場合に選択します。

日付はテキストボックスに直接入力するか、【カレンダー】画面から選択できます。また、時間はリストボックスから選択できます。

テキストボックスに入力できる文字数は、最大で 15 文字です。処理期限に指定する日時は、サーバが動作するタイムゾーンの値を入力してください。


テキストボックスの入力形式を次に示します。

- 日本語表示の場合

YYYY/MM/DD

- 日本語表示以外の場合

MM/DD/YYYY

また、【カレンダー】画面は、【カレンダー】アイコン（）をクリックすると表示されます。

【カレンダー】画面については、[【カレンダー】画面](#)を参照してください。

【プロセスデータ】

プロセスデータを指定します。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけ表示されます。なお、[開始イベント] で [タイマー] を選択している場合は非活性です。

- **[キー]**

プロセスデータのキー名をテキストボックスに指定します。

リスト型プロセスデータを登録する場合は、キー名の最後に「{ }」を指定してください。指定した各値は上から順にリスト化されます。また、リスト型プロセスデータのリスト内識別子を指定する場合は、キー名の最後に「{<リスト内識別子> }」を指定してください。

指定したキー名の前後に空白がある場合は、空白を削除して案件が作成されます。

キー名を設定しない場合は空欄にします。

- **[値]**

プロセスデータ値をテキストボックスに指定します。

指定したプロセスデータ値の前後に空白がある場合は、空白を削除して案件が作成されます。

null を登録する場合は空欄にします。

- **[追加] ボタン**

[キー] と [値] を指定する行を、末尾に 1 行追加します。

デフォルトでは、3 行表示されています。

ヒント

プロセスデータについては、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携機能 使用の手引」を参照してください。

[作成] ボタン

案件が作成されます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非表示です。

[作成および開始] ボタン

案件が作成され、開始されます。

[キャンセル] ボタン

案件の作成または開始は実行されないで、[案件投入] 画面が閉じます。

[閉じる] ボタン

[案件投入] 画面が閉じます。

なお、[閉じる] ボタンは、案件投入後に表示されます。

重要

案件の投入でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [案件投入] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、直前の [案件投入] 画面に戻ります。

メモ

日時を表す「YYYY/MM/DD」などの表記について、英字の意味を次に示します。

- ・YYYY：西暦を示します。
- ・MM：月を示します。
- ・DD：日を示します。

[案件一括削除] 画面

[案件一括削除] 画面では、選択したビジネスプロセス定義の「完了」状態または「強制終了」状態の案件を一括で削除できます。

なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時に、コールアクティビティの呼び出しで投入された親子関係にある案件の削除は、次に示すルールに従います。

- ルート案件を指定した場合、ルート案件とその子案件（子案件の子案件を含む）がすべて削除される。
- ルート案件以外の案件を指定した場合、指定した案件は削除されない。

案件の一括削除はジョブとして投入され、[案件一括削除] 画面の操作とは非同期で実行されます。

案件一括削除の実行結果は、[案件一括削除実行結果] 画面で確認できます。[案件一括削除実行結果] 画面については、「[案件一括削除実行結果] 画面」を参照してください。

[案件一括削除] 画面の初期状態の画面と、案件一括削除後の画面を次に示します。

図 9-17 [案件一括削除] 画面

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow

案件一括削除

ビジネスプロセス定義名: manual_sample
バージョン: 0001

案件終了後経過日数:

案件名: 指定なし
 案件名 (ワイルドカード(*)可)

削除 キャンセル

図 9-18 案件一括削除実行後の画面

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow

案件一括削除

案件一括削除のジョブ投入に成功しました。

ジョブID: 1234567890
ジョブ開始日時: 2019/10/16 10:27:33

閉じる

画面の情報および項目について次に説明します。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義の定義名が表示されます。

ビジネスプロセス定義を選択していない場合は、「<未選択>」が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

ビジネスプロセス定義を選択していない場合は、「<未選択>」が表示されます。

項目

[案件終了後経過日数]

案件の終了日時から経過した日数を、テキストボックスに指定します。

指定した日数×24 時間以上経過した、「完了」状態または「強制終了」状態の案件が削除されます。

案件終了後の経過日数は、1970/01/02 00:00:00 GMT から現在の日時までの経過した日数以内で指定してください。指定できる値は、0~2147483647 の整数です。

[案件名]

案件名を削除条件として指定できます。

デフォルトでは、[指定なし] が選択されています。

- [指定なし]

案件名を削除条件に指定しない場合に選択します。

- [案件名]

案件名を削除条件に指定する場合に選択します。

テキストボックスに案件名を入力します。案件名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

入力しなかった場合、案件名が null の案件が削除条件に指定されます。

❗ 重要

「*」または「¥」を含む案件名を指定する場合は、「*」または「¥」の前にエスケープ文字「¥」を指定してください。なお、「¥*」および「¥¥」以外で指定した「¥」は、単独の文字として認識されます。

指定例を次に示します。

| 指定したい文字列 | テキストボックスに入力する文字※1 |
|-------------------------|-------------------|
| ABC*/**をすべて文字列として指定する場合 | ABC¥*/¥** |
| AB¥*C をすべて文字列として指定する場合 | AB¥¥*C |

| 指定したい文字列 | テキストボックスに入力する文字※1 |
|--------------------------------|-------------------|
| **/*を先頭の「*」だけをワイルドカードとして指定する場合 | *¥*/¥* |
| ABC¥ABC をすべて文字列として指定する場合※2 | ABC¥ABC |

注※1

下線部分は、エスケープ文字として指定している「¥」です。

注※2

この例のように、「¥」のうしろに「¥」または「*」以外の任意の文字を指定した場合、「案件一括削除実行結果」画面の案件名列には「ABC¥¥ABC」と表示されます。なお、この「ABC¥¥ABC」は「ABC ¥ABC」と同一と解釈されるため、案件一括削除を再実行する場合に指定しても、問題ありません。

[削除] ボタン

案件一括削除がジョブとして投入されます。

[キャンセル] ボタン

案件一括削除のジョブは投入されないで、「案件一括削除」画面が閉じます。

[閉じる] ボタン

「案件一括削除」画面が閉じます。

なお、「閉じる」ボタンは、案件一括削除のジョブ投入後に表示されます。

❗ 重要

案件一括削除のジョブの投入でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが「案件一括削除」画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で「戻る」ボタンをクリックした場合は、直前の「案件一括削除」画面に戻ります。

📄 メモ

- 削除の処理単位は、セットアッププロパティファイルの「AdmDelPIUnit」で設定できます。デフォルト値は「100」です。
- 経過日数の区切りを「00（時）：00（分）：00（秒）」にする場合は、セットアッププロパティファイルの「AdmDelPIUseTimeOffset」で設定できます。デフォルトでは、経過日数の区切りは設定されていません。
- 「完了」状態または「強制終了」状態以外の状態の案件を一括で削除する場合は、ciwdelpi コマンドまたは運用管理 REST サービスを使用して削除してください。

ciwdelpi コマンドについては、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド」を参照してください。また、運用管理 REST サービスについては、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」の「REST API による運用管理の操作」の説明を参照してください。

[案件一括削除実行結果] 画面

[案件一括削除実行結果] 画面には、次に示すジョブの実行結果（ジョブレコード）が一覧に表示されます。

- [案件一括削除] 画面を使用して投入した案件一括削除のジョブ
- 運用管理 REST サービスを使用して投入した案件一括削除のジョブ

また、この画面では、案件一括削除の実行結果の削除ができます。

[案件一括削除] 画面については、「[案件一括削除] 画面」を参照してください。また、運用管理 REST サービスについては、マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」の「REST API による運用管理の操作」の説明を参照してください。

[案件一括削除実行結果] 画面を次に示します。

図 9-19 [案件一括削除実行結果] 画面

| 状態 | ジョブID | 案件削除件数 | 開始日時 | 終了日時 | ジョブ投入者 | ビジネスプロセス定義名 | バージョン | 案件名 | 案件終了後経過日数 |
|-------------------------------------|---------------|----------|---------------------|---------------------|------------|---------------|-------|-----|-----------|
| <input type="checkbox"/> | 1583739276379 | | 2020/03/09 16:34:36 | | admin | manual_sample | 0001 | | 100 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1581576849002 | | 2020/02/13 15:54:10 | | AdminUser1 | 旅費精算 | 0001 | | 1 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1581576849100 | 10 | 2020/02/13 15:37:30 | 2020/02/13 15:37:35 | AdminUser2 | | | | 1 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1581576849200 | 10 | 2020/02/13 15:20:50 | 2020/02/13 15:20:55 | AdminUser2 | 旅費精算 | 0001 | A案件 | 1 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1581566849200 | 10000 | 2020/02/13 12:34:10 | 2020/02/13 12:34:15 | AdminUser1 | BP定義1 | 0001 | B案件 | 1 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1581566848765 | 11112222 | 2020/02/01 22:47:30 | 2020/02/01 22:47:35 | AdminUser2 | BP定義2 | 0002 | C案件 | 100 |
| 状態 | ジョブID | 案件削除件数 | 開始日時 | 終了日時 | ジョブ投入者 | ビジネスプロセス定義名 | バージョン | 案件名 | 案件終了後経過日数 |

画面のメニュー、情報および項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [削除]
選択した1つまたは複数の案件一括削除の実行結果を削除します。
案件一括削除の実行結果を選択していない場合は非活性です。

重要

- 状態が「実行中」の実行結果は、表示されているジョブの開始日時から1日以上経過しているなど、ジョブの状態を変更できずにジョブが異常終了していることが明らかの場合だけ削除してください。

異常終了していることが明らかではない、実行中のジョブの実行結果を削除してもジョブは停止しません。また、実行中のジョブの実行結果を削除した場合の動作は保証されません。

- 実行結果の削除でエラーが発生した場合、エラーメッセージが [案件一括削除実行結果] 画面に表示されます。なお、選択した実行結果が削除済みの場合は処理が続行され、エラーメッセージは表示されません。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- [最新情報の表示]

[案件一括削除実行結果] 画面が最新の情報で更新されます。

更新後の画面の表示を次に示します。

- ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- 選択は解除されます。
- 画面には最初のページが表示されます。

[閉じる]

[案件一括削除実行結果] 画面が閉じます。

情報

[再表示]

[案件一括削除実行結果] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示については、[表示▼] - [最新情報の表示] を参照してください。

[先頭]

案件一括削除の実行結果一覧の先頭ページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[前頁]

表示されている案件一括削除の実行結果一覧の 1 つ前のページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[n 件中 [l] 件目 - m 件目]

表示内容を次に示します。

- n
全体の件数が表示されます。
- [l]
表示ページの先頭の案件一括削除の実行結果が何件目かが表示されます。
また、表示させたい件数を直接指定できます。指定できる値は、1 ~ 2147483647 の整数値です。
- m

表示ページの最後の案件一括削除の実行結果が何件目かが表示されます。

[表示]

[l] で指定した件数をオフセットとし、案件一括削除の実行結果一覧が再表示されます。

[l] に全体件数より大きな値を指定した場合は、m に「x」が表示されます。

[次頁]

表示されている案件一括削除の実行結果一覧の次のページが表示されます。

最終ページが表示されている場合は非活性です。

[最終]

案件一括削除の実行結果一覧の最終ページが表示されます。

最終ページが表示されている場合は非活性です。

項目

ヘッダまたはフッタの [開始日時] のアンカーをクリックすると、一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。[開始日時] 以外の項目ではソートできません。

[] (チェックボックス)

案件一括削除の実行結果を選択するか、または選択を解除します。

チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。




なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべての案件一括削除の実行結果を一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

[状態]

案件一括削除のジョブの状態を示すアイコンが表示されます。

案件一括削除のジョブの状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-4 案件一括削除のジョブの状態を示すアイコン

| アイコン | ジョブの状態 | 説明 |
|---|--------|---|
|  | 実行中 | ジョブが実行されている状態を示します。 なお、ジョブの実行中に障害が発生し、ジョブの状態を変更できずにジョブが異常終了する場合があります。このときもジョブの状態が「実行中」になります。 |
|  | 完了 | ジョブが終了した状態を示します。 |
|  | 異常終了 | ジョブの実行中に予期しないエラーが発生し、異常終了した状態を示します。 |

[ジョブ ID]

案件一括削除のジョブの ID が表示されます。

[案件削除件数]

案件一括削除のジョブが「完了」状態の場合に、削除された案件の件数が表示されます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は、削除されたルート案件の件数が表示されます。子案件の件数は表示されません。

[開始日時]

案件一括削除のジョブの開始日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[終了日時]

案件一括削除のジョブの終了日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[ジョブ投入者]

案件一括削除のジョブの投入者が表示されます。

- [案件一括削除] 画面を使用してジョブを投入した場合
案件運用操作にログインしていたユーザ名が表示されます。
- 運用管理 REST サービスを使用してジョブを投入した場合
ジョブの投入時に指定したユーザ記述子が表示されます。

[ビジネスプロセス定義名]

案件一括削除のジョブの投入時に指定したビジネスプロセス定義の定義名が表示されます。

ビジネスプロセス定義を指定していない場合は、空白が表示されます。

[バージョン]

案件一括削除のジョブの投入時に指定したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

ビジネスプロセス定義を指定していない場合は、空白が表示されます。

[案件名]

案件一括削除のジョブの投入時に指定した案件名が表示されます。

案件名を指定していない場合は、空白が表示されます。

[案件終了後経過日数]

案件一括削除のジョブの投入時に指定した案件終了後経過日数が表示されます。

運用管理 REST サービスを使用して投入された案件一括削除のジョブの場合は、空白が表示されます。

メモ

- [案件一括削除実行結果] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmDelPIResultsDispMaxCount」で設定した値です。
- [前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンをクリックするたびに該当するジョブテーブルを検索します。また、全件数表示には SQL の COUNT 関数を使用します。したがって、タイミングによっては表示情報の重複や漏れなどのずれが生じる場合があります。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - ・ YYYY：西暦を示します。
 - ・ MM：月を示します。
 - ・ DD：日を示します。
 - ・ hh：時を示します。
 - ・ mm：分を示します。
 - ・ ss：秒を示します。

重要

運用管理 REST サービスを使用して投入した案件一括削除のジョブを、この画面に表示されている情報を基に、[案件一括削除] 画面から再投入しないでください。

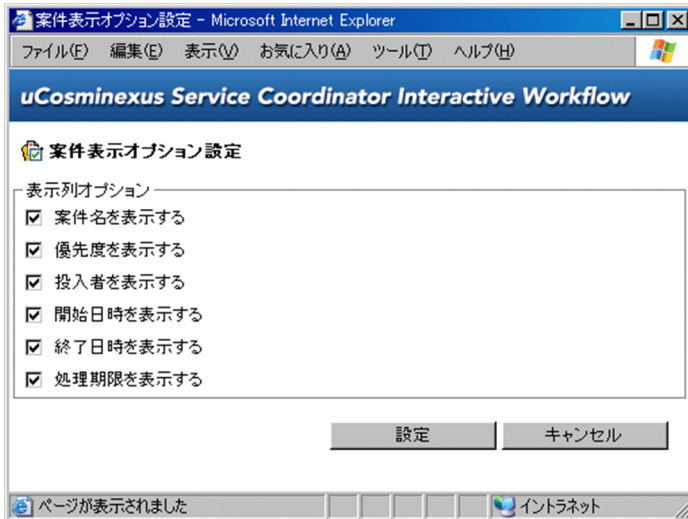
- 運用管理 REST サービスを使用した案件一括削除のジョブの投入は、[案件一括削除] 画面より指定できる条件が多く、この画面に表示されない条件を指定している場合があるため。
- 案件名に表示される文字列が、運用管理 REST サービスで指定した文字列と異なる場合があるため。

[案件表示オプション設定] 画面

[案件表示オプション設定] 画面では、[案件一覧] 画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[案件表示オプション設定] 画面を次に示します。

図 9-20 [案件表示オプション設定] 画面



画面の各項目について次に説明します。

[表示列オプション]

デフォルトでは、すべての項目が選択されています。

- [案件名を表示する]
[案件一覧] 画面に [案件名] を表示する場合に選択します。
- [優先度を表示する]
[案件一覧] 画面に [優先度] を表示する場合に選択します。
- [投入者を表示する]
[案件一覧] 画面に [投入者] を表示する場合に選択します。
- [開始日時を表示する]
[案件一覧] 画面に [開始日時] を表示する場合に選択します。
- [終了日時を表示する]
[案件一覧] 画面に [終了日時] を表示する場合に選択します。
- [処理期限を表示する]
[案件一覧] 画面に [処理期限] を表示する場合に選択します。

【設定】 ボタン

【表示列オプション】 の設定が 【案件一覧】 画面に反映され、【案件表示オプション設定】 画面が閉じます。

【キャンセル】 ボタン

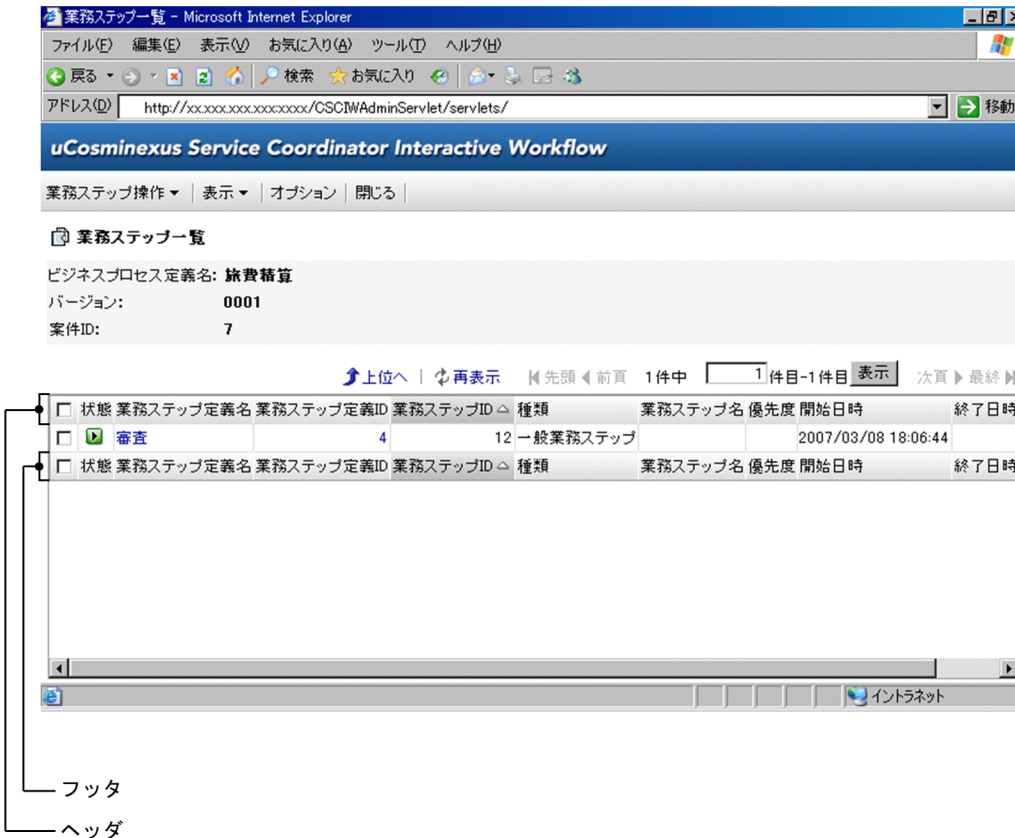
【表示列オプション】 の設定は反映されないで、【案件表示オプション設定】 画面が閉じます。

[業務ステップ一覧] 画面

[業務ステップ一覧] 画面には、業務ステップ一覧が表示されます。

[業務ステップ一覧] 画面を次に示します。

図 9-21 [業務ステップ一覧] 画面



画面のメニュー、情報および項目について次に説明します。

メニュー

[業務ステップ操作▼]

業務ステップ操作のサブメニューが表示されます。

なお、業務ステップの各操作については、「6.2 業務ステップを操作する」を参照してください。

- [活性化]

業務ステップ一覧で選択した業務ステップを活性化します。

業務ステップを選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[活性化] を選択すると、選択した業務ステップに対して

CIWActivityInstance#changeState(CIWActivityInstance.State.READY)API が発行されます。

- [中断]

業務ステップ一覧で選択した業務ステップを中断します。

業務ステップを選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[中断] を選択すると、選択した業務ステップに対して

CIWActivityInstance#changeState(CIWActivityInstance.State.NTERMITTED)API が発行されます。

- **[再開]**

業務ステップ一覧で選択した業務ステップを再開します。

業務ステップを選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[再開] を選択すると、選択した業務ステップに対して

CIWActivityInstance#changeState(CIWActivityInstance.State.RUNNING)API が発行されます。

- **[完了]**

業務ステップ一覧で選択した業務ステップを完了します。

業務ステップを選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[完了] を選択すると、選択した業務ステップに対して

CIWActivityInstance#changeState(CIWActivityInstance.State.READY_FOR_TRANSITION)API が発行されます。

- **[強制終了]**

業務ステップ一覧で選択した業務ステップを強制的に終了します。

業務ステップを選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[強制終了] を選択すると、選択した業務ステップに対して

CIWActivityInstance#changeState(CIWActivityInstance.State.TERMINATED)API が発行されます。

選択したすべての業務ステップの操作が成功した場合は、[業務ステップ一覧] 画面が最新の情報に更新されます。なお、エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [業務ステップ一覧] 画面に表示されます。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- **[案件一覧]**

[案件一覧] 画面が表示されます。

[案件一覧] 画面については、[「\[案件一覧\] 画面」](#)を参照してください。

- **[作業一覧]**

業務ステップ一覧で選択した業務ステップに含まれる作業が、[作業一覧] 画面に表示されます。

業務ステップを選択していない場合、または複数の業務ステップを選択している場合は非活性です。

[作業一覧] 画面については、[「\[作業一覧\] 画面」](#)を参照してください。

- **[最新情報の表示]**

[業務ステップ一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示を次に示します。

- ・ ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- ・ 表示列は [業務ステップ表示オプション設定] 画面で設定した項目で表示されます。
- ・ 選択は解除されます。
- ・ 画面には最初のページが表示されます。

[オプション]

[業務ステップ表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示され、[業務ステップ一覧] 画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[業務ステップ表示オプション設定] 画面については、[「\[業務ステップ表示オプション設定\] 画面」](#)を参照してください。

[閉じる]

[業務ステップ一覧] 画面が閉じます。なお、この画面から開いたすべての子画面も閉じます。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[案件 ID]

業務ステップが所属する案件の案件 ID が表示されます。

[上位へ]

[案件一覧] 画面が表示されます。

[再表示]

[業務ステップ一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示については、[\[表示▼\]](#) - [\[最新情報の表示\]](#) を参照してください。

[先頭]

業務ステップ一覧の先頭ページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[前頁]

表示されている業務ステップ一覧の 1 つ前のページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[n 件中 [l] 件目 - m 件目]

表示内容を次に示します。

- ・ n
全体の件数が表示されます。

- [l]
表示ページの先頭の業務ステップが何件目かが表示されます。
指定したい件数を直接指定できます。指定できる値は、1～2147483647の整数値です。
- m
表示ページの最後の業務ステップが何件目かが表示されます。

[表示]

[l] で指定した件数をオフセットとし、業務ステップ一覧が再表示されます。
[l] に全体件数より大きな値を指定した場合は、mに「x」が表示されます。

[次頁]

表示されている業務ステップ一覧の次のページが表示されます。
最終ページが表示されている場合は非活性です。

[最終]

業務ステップ一覧の最終ページが表示されます。
最終ページが表示されている場合は非活性です。

項目

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。

[] (チェックボックス)

業務ステップを選択するか、または選択を解除します。
チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。
なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべての業務ステップを一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

[状態]

業務ステップの状態を示すアイコンが表示されます。
業務ステップの状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-5 業務ステップの状態を示すアイコン

| アイコン | 状態 |
|---|------------|
|  | 「初期」状態 |
|  | 「実行開始可能」状態 |
|  | 「実行中」状態 |
|  | 「実行開始不可」状態 |
|  | 「実行停止」状態 |

| アイコン | 状態 |
|---|----------|
|  | 「実行省略」状態 |
|  | 「遷移可」状態 |
|  | 「遷移済」状態 |
|  | 「強制終了」状態 |

[業務ステップ定義名]

業務ステップ定義名が表示されます。

クリックすると [作業一覧] 画面が表示されます。

[業務ステップ定義 ID]

業務ステップ定義 ID が表示されます。

クリックすると [作業一覧] 画面が表示されます。

[業務ステップ ID]

業務ステップ ID が表示されます。

[種類]

業務ステップの種類が表示されます。

[業務ステップ名]

業務ステップ名が表示されます。

[優先度]

業務ステップの優先度が表示されます。

[開始日時]

業務ステップの開始日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[終了日時]

業務ステップの終了日時が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[処理期限]

業務ステップの処理期限が表示されます。

表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss
- 無限未来の場合
BEYOND

メモ

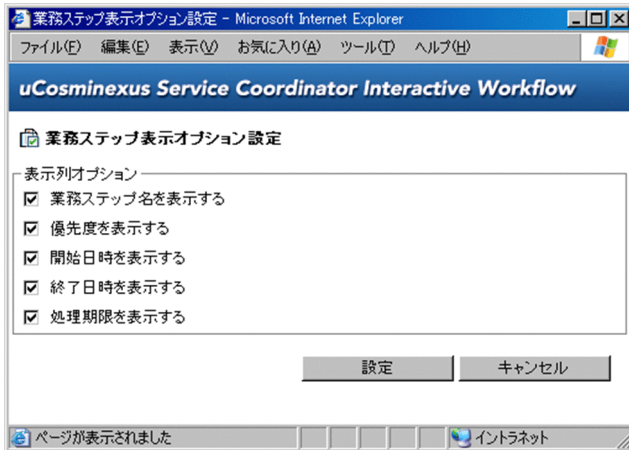
- [業務ステップ一覧] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmAIDispMaxCount」で設定した値です。
- [前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンの制御は、業務ステップ取得 API (CIWServer#getActivityInstancesList) のオフセットと最大取得件数を使用します。[前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンをクリックするたびに該当する API を発行します。また、全件数表示には件数取得 API (CIWServer#getListCount) を使用します。したがって、タイミングによっては表示情報の重複や漏れなどのずれが生じる場合があります。
- 各項目をソートして表示される順序は、CSCIW の API (getActivityInstancesList) にソート条件 (属性と昇順または降順) を指定して取得した順序と同じです。また、空文字 (null) のデータの表示順も API で取得した順序になります。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - YYYY：西暦を示します。
 - MM：月を示します。
 - DD：日を示します。
 - hh：時を示します。
 - mm：分を示します。
 - ss：秒を示します。

[業務ステップ表示オプション設定] 画面

[業務ステップ表示オプション設定] 画面では、[業務ステップ一覧] 画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[業務ステップ表示オプション設定] 画面を次に示します。

図 9-22 [業務ステップ表示オプション設定] 画面



画面の各項目について次に説明します。

[表示列オプション]

デフォルトでは、すべての項目が選択されています。

- [業務ステップ名を表示する]
[業務ステップ一覧] 画面に [業務ステップ名] を表示する場合に選択します。
- [優先度を表示する]
[業務ステップ一覧] 画面に [優先度] を表示する場合に選択します。
- [開始日時を表示する]
[業務ステップ一覧] 画面に [開始日時] を表示する場合に選択します。
- [終了日時を表示する]
[業務ステップ一覧] 画面に [終了日時] を表示する場合に選択します。
- [処理期限を表示する]
[業務ステップ一覧] 画面に [処理期限] を表示する場合に選択します。

[設定] ボタン

[表示列オプション] の設定が [業務ステップ一覧] 画面に反映され、[業務ステップ表示オプション設定] 画面が閉じます。

[キャンセル] ボタン

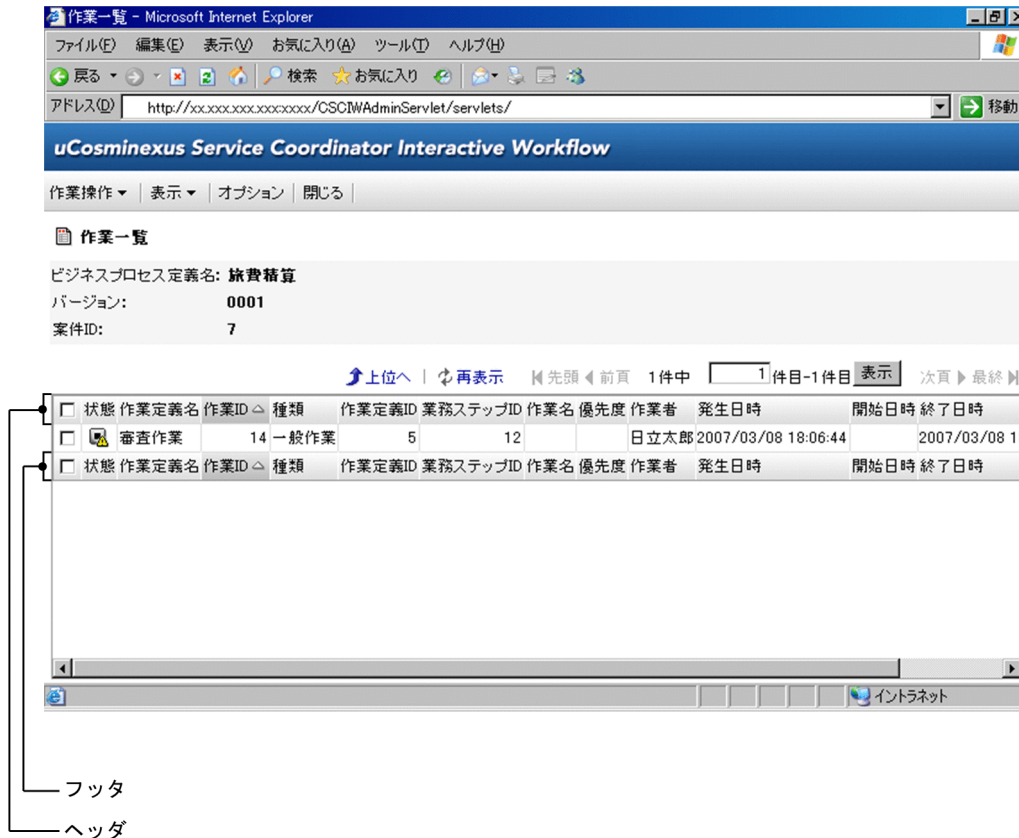
[表示列オプション] の設定は反映されないで、[業務ステップ表示オプション設定] 画面が閉じます。

[作業一覧] 画面

[作業一覧] 画面には、作業一覧が表示されます。

[作業一覧] 画面を次に示します。

図 9-23 [作業一覧] 画面



画面のメニュー、情報および項目について次に説明します。

メニュー

[作業操作▼]

作業操作のサブメニューが表示されます。

なお、作業の各操作については、「6.3 作業を操作する」を参照してください。

- [着手]

作業一覧で選択した作業に着手します。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[着手] を選択すると、選択した作業に対して CIWWorkItem#perform()API が発行されます。

- [中断]

作業一覧で選択した作業を中断します。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[中断] を選択すると、選択した作業に対して
CIWorkItem#changeState(CIWorkItem.State.INTERMITTED)API が発行されます。

- **[再開]**

作業一覧で選択した作業を再開します。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[再開] を選択すると、選択した作業に対して

CIWorkItem#changeState(CIWorkItem.State.RUNNING)API が発行されます。

- **[完了]**

作業一覧で選択した作業を完了します。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[完了] を選択すると、選択した作業に対して CIWorkItem#complete()API が発行されます。

- **[返却または準備済み]**

作業一覧で選択した作業を返却または準備済みにします。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[返却または準備済み] を選択すると、選択した作業に対して

CIWorkItem#changeState(CIWorkItem.State.READY)API が発行されます。

- **[強制終了]**

作業一覧で選択した作業を強制的に終了します。

作業を選択していない、または CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[強制終了] を選択すると、選択した作業に対して

CIWorkItem#changeState(CIWorkItem.State.TERMINATED)API が発行されます。

なお、強制終了された作業が含まれる業務ステップは、完了条件が評価されません。この場合は、業務ステップを直接完了させるか、または CIActivityInstance#evaluate()を使用して業務ステップの完了条件を評価し、業務ステップの完了または作業の再作成をしてください。作業を再作成する場合は、作業の発生条件および完了条件を適切に定義してください。

- **[作業再割り当て]**

[作業再割り当て] 画面が別ウィンドウに表示され、選択した作業に割り当てられている作業者を変更できます。

作業を 1 つだけ選択している場合に実行できます。

CSCIW の BPMN 連携機能使用時は非活性です。

[作業再割り当て] 画面については、「[\[作業再割り当て\] 画面](#)」を参照してください。

選択したすべての作業の操作が成功した場合は、[作業一覧] 画面が最新の情報に更新されます。なお、エラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業一覧] 画面に表示されます。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- **[案件一覧]**

[案件一覧] 画面が表示されます。

[案件一覧] 画面については、「[[案件一覧](#)] 画面」を参照してください。

- **[業務ステップ一覧]**

[業務ステップ一覧] 画面が表示されます。

[業務ステップ一覧] 画面については、「[[業務ステップ一覧](#)] 画面」を参照してください。

- **[最新情報の表示]**

[作業一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示を次に示します。

- ・ ソート条件はこの画面に保存しているソート条件で表示されます。
- ・ 表示列は [作業表示オプション設定] 画面で設定した項目で表示されます。
- ・ 選択は解除されます。
- ・ 画面には最初のページが表示されます。

[オプション]

[作業表示オプション設定] 画面が別ウィンドウに表示され、「作業一覧」画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[作業表示オプション設定] 画面については、「[[作業表示オプション設定](#)] 画面」を参照してください。

[閉じる]

[作業一覧] 画面が閉じます。なお、この画面から開いたすべての子画面も閉じます。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[案件 ID]

作業が所属する案件 ID が表示されます。

[上位へ]

[業務ステップ一覧] 画面が表示されます。

[再表示]

[作業一覧] 画面が最新の情報に更新されます。

更新後の画面の表示については、[最新情報の表示] を参照してください。

[先頭]

作業一覧の先頭ページが表示されます。

先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[前頁]

表示されている作業一覧の1つ前のページが表示されます。
先頭ページが表示されている場合は非活性です。

[n 件中 [l] 件目 - m 件目]

表示内容を次に示します。

- n
全体の件数が表示されます。
- [l]
表示ページの先頭の作業が何件目かが表示されます。
指定したい件数を直接指定できます。指定できる値は、1 ~ 2147483647 の整数値です。
- m
表示ページの最後の作業が何件目かが表示されます。

[表示]

[l] で指定した件数をオフセットとし、作業一覧が再表示されます。
[l] に全体件数より大きな値を指定した場合は、m に「x」が表示されます。

[次頁]

表示されている作業一覧の次のページが表示されます。
最終ページが表示されている場合は非活性です。

[最終]

作業一覧の最終ページが表示されます。
最終ページが表示されている場合は非活性です。

項目

ヘッダまたはフッタの各項目のアンカーをクリックすると、その項目で一覧をソートできます。クリックするごとに順序の昇順、降順が切り替わります。

[] (チェックボックス)

作業を選択するか、または選択を解除します。
チェックボックスをチェックすると、行が選択色に変わります。
なお、ヘッダまたはフッタのチェックボックスでは、すべての作業を一括で選択するか、または一括で選択を解除できます。クリックするごとに、すべて選択、選択をすべて解除が切り替わります。

[状態]

作業の状態を示すアイコンが表示されます。
作業の状態を示すアイコンを次に示します。

表 9-6 作業の状態を示すアイコン

| アイコン | 状態 |
|---|------------|
|  | 「初期」状態 |
|  | 「実行開始可能」状態 |
|  | 「自動実行」状態 |
|  | 「作業実行中」状態 |
|  | 「実行開始不可」状態 |
|  | 「実行停止」状態 |
|  | 「実行省略」状態 |
|  | 「実行取消」状態 |
|  | 「実行済」状態 |
|  | 「強制終了」状態 |

【作業定義名】

作業の定義名が表示されます。

【作業 ID】

作業 ID が表示されます。

【種類】

作業の種類が表示されます。

【作業定義 ID】

作業の定義 ID が表示されます。

【業務ステップ ID】

業務ステップの ID が表示されます。

【作業名】

作業名が表示されます。

【優先度】

作業の優先度が表示されます。

【作業員】

作業の作業員が表示されます。

【発生日時】

作業の発生日時が表示されます。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[開始日時]

作業の開始日時が表示されます。
表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[終了日時]

作業の終了日時が表示されます。
表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss

[処理期限]

作業の処理期限が表示されます。
表示形式を次に示します。

- 日本語表示の場合
YYYY/MM/DD hh:mm:ss
- 日本語表示以外の場合
MM/DD/YYYY hh:mm:ss
- 無限未来の場合
BEYOND

メモ

- [作業一覧] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmWIDispMaxCount」で設定した値です。
- [前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンの制御は、作業取得 API (CIWServer#getWorkItemsList) のオフセットと最大取得件数を使用します。[前頁] ボタンまたは [次頁] ボタンをクリックするたびに該当する API を発行します。また、全件

数表示には件数取得 API (CIWServer#getListCount) を使用します。したがって、タイミングによっては表示情報の重複や漏れなどのずれが生じる場合があります。

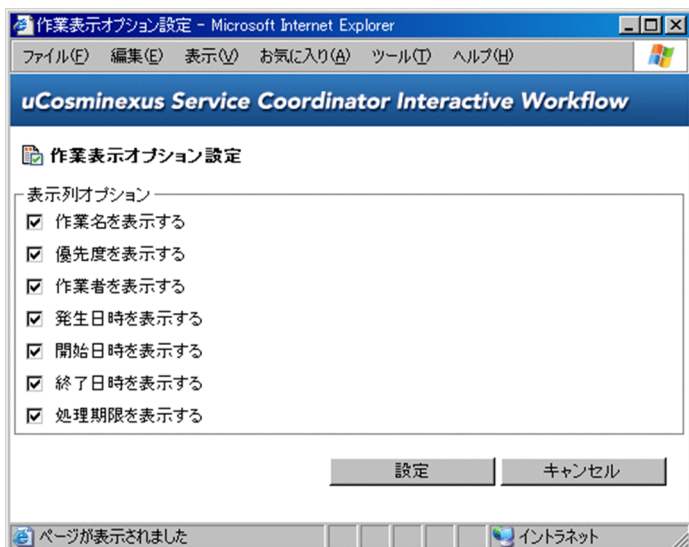
- 各項目をソートして表示される順序は、CSCIW の API (getWorkItemsList) にソート条件 (属性と昇順または降順) を指定して取得した順序と同じです。また、空文字 (null) のデータの表示順も API で取得した順序になります。
- 日時を表す「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」などの表記について、英字の意味を次に示します。
 - YYYY : 西暦を示します。
 - MM : 月を示します。
 - DD : 日を示します。
 - hh : 時を示します。
 - mm : 分を示します。
 - ss : 秒を示します。

[作業表示オプション設定] 画面

[作業表示オプション設定] 画面では、[作業一覧] 画面に表示される項目の表示または非表示を切り替えられます。

[作業表示オプション設定] 画面を次に示します。

図 9-24 [作業表示オプション設定] 画面



画面の各項目について次に説明します。

[表示列オプション]

デフォルトでは、すべての項目が選択されています。

- [作業名を表示する]
[作業一覧] 画面に [作業名] を表示する場合に選択します。
- [優先度を表示する]
[作業一覧] 画面に [優先度] を表示する場合に選択します。
- [作業者を表示する]
[作業一覧] 画面に [作業者] を表示する場合に選択します。
- [発生日時を表示する]
[作業一覧] 画面に [発生日時] を表示する場合に選択します。
- [開始日時を表示する]
[作業一覧] 画面に [開始日時] を表示する場合に選択します。
- [終了日時を表示する]
[作業一覧] 画面に [終了日時] を表示する場合に選択します。
- [処理期限を表示する]
[作業一覧] 画面に [処理期限] を表示する場合に選択します。

【設定】 ボタン

【表示列オプション】 の設定が【作業一覧】 画面に反映され、【作業表示オプション設定】 画面が閉じます。

【キャンセル】 ボタン

【表示列オプション】 の設定は反映されないで、【作業表示オプション設定】 画面が閉じます。

[作業再割り当て] 画面

[作業再割り当て] 画面では、作業の再割り当てができます。

[作業再割り当て] 画面を次に示します。

図 9-25 [作業再割り当て] 画面



画面の情報および項目について次に説明します。

情報

[ビジネスプロセス定義名]

選択したビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

選択したビジネスプロセス定義のバージョンを示す 4 けたの数字が表示されます。

バージョンが 4 けた未満の場合は、前に 0 が補完されて表示されます。

[案件 ID]

選択した作業が含まれる案件の案件 ID が表示されます。

[案件名]

選択した作業が含まれる案件の案件名が表示されます。

案件名が設定されていない場合は何も表示されません。

[作業定義名]

選択した作業の作業定義名が表示されます。

[作業 ID]

選択した作業の作業 ID が表示されます。

[変更前の作業者]

選択した作業の現在設定されている作業者が表示されます。

作業者が設定されていない場合は何も表示されません。

なお、[変更前の作業者] に改行が含まれていた場合は、作業者の再割り当ては実行できません。

項目

[変更後の作業者]

再割り当てしたい作業者をテキストボックスに指定します。

指定しなかった場合、作業者はなしとして変更されます。

なお、この画面では改行を含む作業者は指定できません。

[再割り当て] ボタン

作業者の再割り当てが実行されます。

再割り当ての実行後、[作業者再割り当て] 画面は閉じます。

[キャンセル] ボタン

作業者の再割り当ては実行されず、[作業者再割り当て] 画面が閉じます。

重要

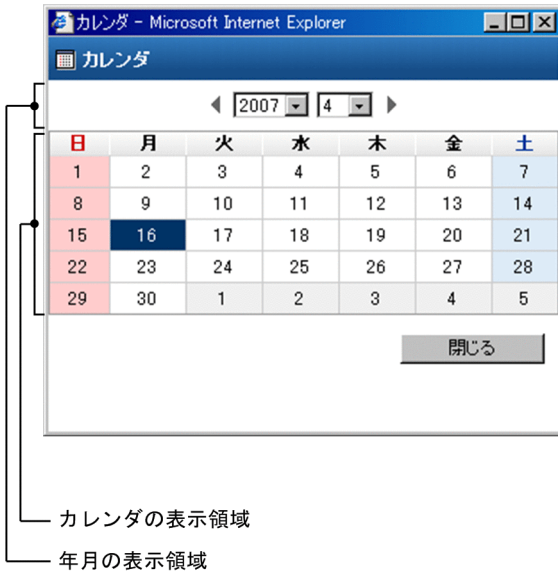
作業の再割り当てでエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [作業者再割り当て] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

[カレンダー] 画面

[カレンダー] 画面では、カレンダーの表示領域から日付を選択できます。

[カレンダー] 画面を次に示します。

図 9-26 [カレンダー] 画面



画面の各項目について次に説明します。

年月の表示領域

特定の年月を選択し、カレンダーの表示領域に表示できます。

- 前月アイコン (◀)

カレンダーに表示されている月の1つ前の月が表示されます。
表示できる月がない場合は非活性です。

- 年のリストボックス

特定の年を表示したい場合に選択します。
リストボックスで選択した年のカレンダーが、カレンダーの表示領域に表示されます。
リストボックスの表示範囲は、カレンダーの表示領域に表示されている年の前後5年です。

- 月のリストボックス

特定の月を表示したい場合に選択します。
リストボックスで選択した月のカレンダーが、カレンダーの表示領域に表示されます。
リストボックスの表示範囲は、1~12です。

- 次月アイコン (▶)

カレンダーに表示されている月の次の月が表示されます。
表示できる月がない場合は非活性です。

カレンダーの表示領域

日付を選択できます。

- **日付表示**

日付をクリックすると、親画面の日付欄に年月日が反映されます。

日付はどれでも選択できます。なお、操作している日の日付は反転表示されます。

また、年月日が反映されたあと、[カレンダー] 画面は閉じます。

[閉じる] ボタン

[カレンダー] 画面が閉じます。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面には、アプリケーション呼び出し制御情報の一覧が表示されます。また、この画面ではアプリケーション呼び出し制御情報の登録、更新、および削除ができます。

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面を次に示します。

図 9-27 [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面

| 削除 種別 | ref識別子・グループ名 | 実行間隔(秒) | リトライ間隔(秒) | リトライ回数(回) | 最大作業件数(件) | 障害復旧間隔(秒) | |
|-------------------------------------|------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| <input type="checkbox"/> | オペレーション | 共通設定 | 300 | 300 | 0 | 10000 | 1500 |
| <input type="checkbox"/> | メッセージ | 共通設定 | 300 | 100 | 3 | 10000 | 1500 |
| <input type="checkbox"/> | メッセージ | test | 300 | 300 | 0 | 10000 | 1500 |
| <input type="checkbox"/> | メッセージ | test31 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | エラー | 共通設定 | 300 | 300 | 0 | 10000 | 1500 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | エラー | test1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | エラー | test2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| <input type="checkbox"/> | タイマー | 共通設定(開始) | 300 | 0 | 0 | 10000 | 1500 |
| <input type="checkbox"/> | タイマー | 共通設定(開始以外) | 300 | 0 | 0 | 10000 | 1500 |
| <input type="checkbox"/> | アプリケーション呼び出しグループ | grp1 | 1111 | 1111 | 1000 | 1111 | 1111 |

画面のメニュー、情報、および項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [アプリケーション呼び出し制御情報検索]

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面が別ウィンドウに表示され、特定の条件でアプリケーション呼び出し制御情報を検索できます。

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面については、「[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面」を参照してください。

- [アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存]

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面で編集したアプリケーション呼び出し制御情報を登録、更新、および削除します。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- [最新情報の表示]

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面が最新の情報に更新されます。現在表示中の検索条件で再度検索した結果が表示されます。

[アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存] メニューで上書き保存する前の変更内容は破棄されます。

[閉じる]

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面が閉じます。なお、この画面から開いたすべての子画面も閉じます。

情報

[再表示]

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面が最新の情報に更新されます。
更新後の画面の表示については、[最新情報の表示] を参照してください。

項目 (表示データ)

[削除] (チェックボックス)

アプリケーション呼び出し制御情報を削除する場合にチェックします。
チェックボックスをチェックすると、テキストボックスの値が表示時の値に戻り、行の背景色がオレンジ色に変わります。
[ref 識別子・グループ名] が共通設定の場合は、削除できないので、チェックできません。

[種別]

「オペレーション」、「メッセージ」、「エラー」、「タイマー」、「アプリケーション呼び出しグループ」のどれかの種別が表示されます。

[ref 識別子・グループ名]

ref 識別子、またはグループ名が表示されます。

[実行間隔 (秒)]

実行間隔が表示されます。
値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。
[削除] チェックボックスをチェックしている場合は、変更できません。

[リトライ間隔 (秒)]

リトライ間隔が表示されます。
値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。
[削除] チェックボックスをチェックしている場合、または [種別] が「タイマー」の場合は、変更できません。

[リトライ回数 (回)]

リトライ回数が表示されます。
値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。
[削除] チェックボックスをチェックしている場合、または [種別] が「タイマー」の場合は、変更できません。

[最大作業件数 (件)]

最大作業件数が表示されます。

値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。

[削除] チェックボックスをチェックしている場合は、変更できません。

[障害復旧間隔 (秒)]

障害復旧間隔が表示されます。

値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。

[削除] チェックボックスをチェックしている場合は、変更できません。

項目 (登録情報)

行の背景色はオレンジ色です。

[種別]

次の種別をリストボックスから選択します。

- オペレーション
- メッセージ
- エラー
- アプリケーション呼び出しグループ

空欄の場合は登録できません。

[ref 識別子・グループ名]

ref 識別子、またはグループ名をテキストボックスに指定します。

空欄の場合は登録できません。

すでに [種別] と [ref 識別子・グループ名] の組み合わせが同じアプリケーション呼び出し制御情報、またはアプリケーション呼び出しグループ定義が登録されている場合は、登録できません。

[実行間隔 (秒)]

実行間隔をテキストボックスに指定します。

指定できる値は、0~86400 の整数値です。

[リトライ間隔 (秒)]

リトライ間隔をテキストボックスに指定します。

指定できる値は、1~86400 の整数値です。

[種別] がタイマーの場合、入力できません。

[リトライ回数 (回)]

リトライ回数をテキストボックスに指定します。

指定できる値は、0~1000 の整数値です。

[種別] がタイマーの場合、入力できません。

[最大作業件数 (件)]

最大作業件数をテキストボックスに指定します。

指定できる値は、0~2147483647 の整数値です。無制限の場合は「-1」を指定してください。

[障害復旧間隔 (秒)]

障害復旧間隔をテキストボックスに指定します。

指定できる値は、1~86400 の整数値です。

項目 (ボタン)

[登録行追加] ボタン

アプリケーション呼び出し制御情報を登録する行を、末尾に 1 行追加します。

❗ 重要

- アプリケーション呼び出しサービスが使用できない設定※になっている場合は、画面表示時にエラーとなります。

注※ BPMN 連携機能を使用しない場合で、かつセットアッププロパティファイル (csciwsetup.properties) の「UseApplicationCallService」で設定した値が「false」のとき。

- [種別] が「タイマー」の共通設定は、一覧には「共通設定 (開始)」, または「共通設定 (開始以外)」と表示されます。
- [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの「AdmAcDispMaxCount」で設定した値です。
- アプリケーション呼び出しサービスの起動中に、アプリケーション呼び出し制御情報の変更、登録、および削除ができます。ただし、ref 識別子やグループを登録または削除するときに、ref 識別子またはグループに含まれる作業が存在してはいけません。

＜アプリケーション呼び出し制御情報の登録または削除が可能な例＞

例 1：登録対象の ref 識別子を使用しているビジネスプロセス定義が未登録の場合、ref 識別子は登録できます。

例 2：削除対象の ref 識別子を使用していたすべてのビジネスプロセス定義を削除したあとの場合、ref 識別子を削除できます。

- 登録行内で [種別] と [ref 識別子・グループ名] の組み合わせが重複している場合、最後の行が有効となります。

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面では、アプリケーション呼び出し制御情報を特定の条件で検索できます。

なお、検索条件は複数の項目を組み合わせて指定できます。

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面を次に示します。

図 9-28 [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面

画面の各項目について次に説明します。

[種別]

- [オペレーション]

種別が「サービスタスクまたはビジネスルールタスク (ope)」のアプリケーション呼び出し制御情報を検索対象とする場合に選択します。

- [メッセージ]

種別が「メッセージイベント (msg)」のアプリケーション呼び出し制御情報を検索対象とする場合に選択します。

- [エラー]

種別が「エラーイベント (err)」のアプリケーション呼び出し制御情報を検索対象とする場合に選択します。

- [タイマー]

種別が「タイマーイベント (tim)」のアプリケーション呼び出し制御情報を検索対象とする場合に選択します。

- [アプリケーション呼び出しグループ]

種別が「アプリケーション呼び出しグループ (grp)」のアプリケーション呼び出し制御情報を検索対象とする場合に選択します。

- [全て選択] ボタン
[種別] のチェックボックスをすべてチェックします。
- [全て解除] ボタン
[種別] のチェックボックスのチェックをすべて解除します。

[ref 識別子・グループ名]

- [全て表示]
ref 識別子, またはグループ名を検索条件に指定しない場合に選択します。
- [共通設定のみ表示]
共通設定を検索条件に指定する場合に選択します。
- [条件を指定]
ref 識別子, またはグループ名を検索条件に指定する場合に選択します。
テキストボックスに ref 識別子, またはグループ名を指定します。ref 識別子, またはグループ名には, ワイルドカードとして「*」を指定できます。
テキストボックスに ref 識別子, またはグループ名を指定しなかった場合, ref 識別子, またはグループ名が設定されていないアプリケーション呼び出し制御情報が検索条件に指定されます。

[検索] ボタン

検索が実行され, 検索結果が [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面に表示されます。
なお, 検索の実行後は, [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面は閉じます。

[キャンセル] ボタン

検索は実行されずに, [アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面が閉じます。

❗ 重要

- アプリケーション呼び出し制御情報の検索でエラーが発生した場合は, [アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は, エラーメッセージに従って対処してください。

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面には、アプリケーション呼び出しグループ定義の一覧が表示されます。また、この画面ではアプリケーション呼び出しグループ定義の登録、更新、および削除ができます。

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面を次に示します。

図 9-29 [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面

| 削除 | グループ名 | 種別 | ref識別子 |
|-------------------------------------|--------|-------|------------|
| <input type="checkbox"/> | grp001 | メッセージ | grptest12 |
| <input type="checkbox"/> | grp001 | メッセージ | grptest2 |
| <input type="checkbox"/> | grp001 | エラー | grptest001 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | grp002 | メッセージ | grptest1 |
| <input type="checkbox"/> | grp002 | メッセージ | grptest11 |
| <input type="checkbox"/> | grp002 | メッセージ | grptest21 |
| <input type="checkbox"/> | grp002 | メッセージ | grptest4 |
| <input type="checkbox"/> | grp003 | エラー | grptest13 |
| <input type="checkbox"/> | grp003 | エラー | grptest14 |
| <input type="checkbox"/> | grp003 | エラー | grptest3 |

画面のメニュー、情報、および項目について次に説明します。

メニュー

[アクション▼]

アクションのサブメニューが表示されます。

- [アプリケーション呼び出しグループ定義検索]
[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面が別ウィンドウに表示され、特定の条件でアプリケーション呼び出しグループ定義を検索できます。
[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面については、[「\[アプリケーション呼び出しグループ定義検索\] 画面」](#)を参照してください。
- [アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存]
[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面で編集したアプリケーション呼び出しグループ定義を登録、更新、および削除します。

[表示▼]

表示のサブメニューが表示されます。

- [最新情報の表示]

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。現在表示中の検索条件で再度検索した結果が表示されます。

[アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存] メニューで上書き保存する前の編集内容は破棄されます。

[閉じる]

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面が閉じます。なお、この画面から開いたすべての子画面も閉じます。

情報

[再表示]

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面が最新の情報に更新されます。更新後の画面の表示については、[最新情報の表示] を参照してください。

項目（表示データ）

[削除]（チェックボックス）

アプリケーション呼び出しグループ定義を削除する場合にチェックします。

チェックボックスをチェックすると、テキストボックスの値が表示時の値に戻り、行の背景色がオレンジ色に変わります。

[グループ名]

グループ名が表示されます。

値を変更すると、変更した項目の背景色がオレンジ色に変わります。

[削除] を選択している場合は、変更できません。

[種別]

「オペレーション」、「メッセージ」、「エラー」のどれかの種別が表示されます。

[ref 識別子]

ref 識別子が表示されます。

項目（登録情報）

行の背景色はオレンジ色です。

[グループ名]

グループ名をテキストボックスに指定します。

空欄の場合は登録できません。

[種別]

次の種別をリストボックスから選択します。

- オペレーション

- メッセージ
- エラー

空欄の場合は登録できません。

[ref 識別子]

ref 識別子をテキストボックスに指定します。

空欄の場合は登録できません。

すでに [種別] と [ref 識別子] の組み合わせが同じアプリケーション呼び出しグループ定義、またはアプリケーション呼び出し制御情報が登録されている場合は、登録できません。

項目 (ボタン)

[登録行追加] ボタン

アプリケーション呼び出しグループ定義を登録する行を、末尾に 1 行追加します。

❗ 重要

- アプリケーション呼び出しサービスが使用できない設定※になっている場合は、画面表示時にエラーとなります。

注※ BPMN 連携機能を使用しない場合で、かつセットアッププロパティファイル (csciwsetup.properties) の [UseApplicationCallService] で設定した値が [false] のとき。

- [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面の一画面に表示される最大件数は、セットアッププロパティファイルの [AdmAgDispMaxCount] で設定した値です。
- アプリケーション呼び出しグループ定義に登録したグループはアプリケーション呼び出し制御情報に登録してください。登録しない場合、アプリケーション呼び出しグループ定義に登録した ref 識別子の呼び出しが行われません。
- アプリケーション呼び出しサービスの起動中に、アプリケーション呼び出しグループ定義の変更、登録、および削除ができます。ただし、グループを登録、変更、または削除するときに、グループに含まれる作業が存在してはいけません。

<アプリケーション呼び出しグループ定義の登録、変更、または削除が可能な例>

例 1：登録または変更対象のグループに含まれる ref 識別子を使用しているビジネスプロセス定義が未登録の場合、グループを登録、または変更できます。

例 2：削除対象のグループに含まれる ref 識別子を使用していたすべてのビジネスプロセス定義を削除したあとの場合、グループを削除できます。

- 登録行内で [種別] と [ref 識別子] の組み合わせが重複している場合、最後の行が有効となります。

[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面

[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面では、アプリケーション呼び出しグループ定義を特定の条件で検索できます。

なお、検索条件は複数の項目を組み合わせ指定できます。

[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面を次に示します。

図 9-30 [アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面

The screenshot shows a web interface titled "uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow". Below the title is a sub-header "アプリケーション呼び出しグループ定義検索". The main content area is divided into two sections. The first section, labeled "グループ名 または ref 識別子", contains three radio button options: "全て表示(条件指定なしで表示)" (selected), "グループ名を指定して検索" (with a text input field and "(ワイルドカード(*)可)" note), and "ref 識別子を指定して検索" (with a text input field and "(ワイルドカード(*)可)" note). The second section, labeled "種別", contains three checked checkboxes: "オペレーション", "メッセージ", and "エラー". Below these checkboxes are two buttons: "全て選択" and "全て解除". At the bottom of the form are two buttons: "検索" and "キャンセル".

画面の各項目について次に説明します。

[グループ名または ref 識別子]

- [全て表示 (条件指定なしで検索)]

グループ名および ref 識別子を検索条件に指定しない場合に選択します。

- [グループ名を指定して検索]

グループ名を検索条件に指定する場合に選択します。

テキストボックスにグループ名を指定します。グループ名には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

テキストボックスにグループ名を指定しなかった場合、グループ名が設定されていないアプリケーション呼び出しグループ定義が検索条件に指定されます。

- [ref 識別子を指定して検索]

ref 識別子を検索条件に指定する場合に選択します。

テキストボックスに ref 識別子を指定します。ref 識別子には、ワイルドカードとして「*」を指定できます。

テキストボックスに ref 識別子を指定しなかった場合、ref 識別子が設定されていないアプリケーション呼び出しグループ定義が検索条件に指定されます。

【種別】

- **【オペレーション】**

種別が「サービスタスクまたはビジネスルールタスク (ope)」のアプリケーション呼び出しグループ定義を検索対象とする場合に選択します。

- **【メッセージ】**

種別が「メッセージイベント (msg)」のアプリケーション呼び出しグループ定義を検索対象とする場合に選択します。

- **【エラー】**

種別が「エラーイベント (err)」のアプリケーション呼び出しグループ定義を検索対象とする場合に選択します。

- **【全て選択】 ボタン**

【種別】 のチェックボックスをすべてチェックします。

- **【全て解除】 ボタン**

【種別】 のチェックボックスのチェックをすべて解除します。

【検索】 ボタン

検索が実行され、検索結果が [アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面に表示されます。
なお、検索の実行後は、[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面は閉じます。

【キャンセル】 ボタン

検索は実行されないで、[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面が閉じます。

重要

- アプリケーション呼び出しグループ定義の検索でエラーが発生した場合は、[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面にエラーメッセージが表示されます。その場合は、エラーメッセージに従って対処してください。

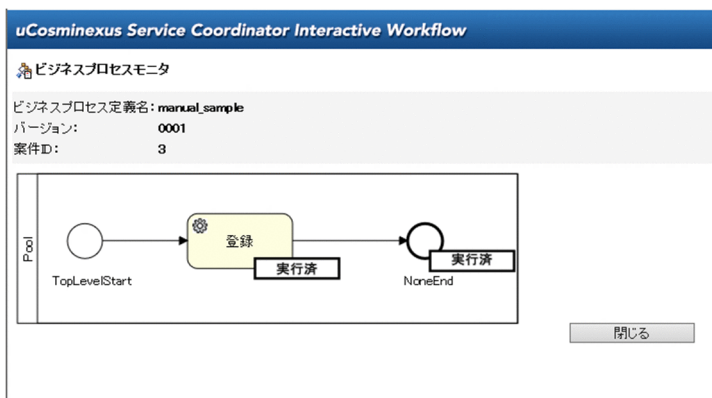
[ビジネスプロセスモニタ] 画面

[ビジネスプロセスモニタ] 画面では、ビジネスプロセス定義から生成した BPMN プロセス図と案件のステータス情報が表示できます。

なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこの画面が表示できます。

[ビジネスプロセスモニタ] 画面を次に示します。

図 9-31 [ビジネスプロセスモニタ] 画面



画面の各項目について次に説明します。

[ビジネスプロセス定義名]

ビジネスプロセスモニタの表示対象となるビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

ビジネスプロセス定義バージョンが表示されます。

[案件 ID]

ビジネスプロセスモニタの表示対象となる案件の案件 ID が表示されます。

[プロセス図]

BPMN プロセス図と案件のステータス情報が表示されます。

[閉じる] ボタン

[ビジネスプロセスモニタ] 画面が閉じます。

メモ

ビジネスプロセスモニタでエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [ビジネスプロセスモニタ] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。

[プロセスデータ編集] 画面

[プロセスデータ編集] 画面では、案件のプロセスデータの確認、および更新ができます。

なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこの画面が表示できます。

[プロセスデータ編集] 画面を次に示します。

図 9-32 [プロセスデータ編集] 画面

| プロセスデータ | キー | 値 |
|---------|----|---|
| 追加 | | |
| | | |
| | | |

画面の各項目について次に説明します。

[ビジネスプロセス定義名]

ビジネスプロセス定義名が表示されます。

[バージョン]

ビジネスプロセス定義バージョンが表示されます。

[案件 ID]

プロセスデータ編集の対象となる案件の案件 ID が表示されます。

[プロセスデータ]

• [キー]

設定済みのプロセスデータがある場合は、そのプロセスデータのキー名が表示されます。設定済みのプロセスデータのキー名は編集できません。

[編集] ボタンをクリックするとキー名を追加できます。

指定したキー名の前後に空白がある場合は、[更新] ボタンのクリック時に空白が削除されます。

キー名を設定しない場合は空欄にします。

• [値]

設定済みのプロセスデータがある場合は、そのプロセスデータの値が表示されます。

[編集] ボタンをクリックすると、値を追加、および設定済みのプロセスデータの値を編集できます。

指定したプロセスデータ値の前後に空白がある場合は、[更新] ボタンのクリック時に空白が削除されます。

空欄にすると null が登録されます。

- **[追加] ボタン**

[キー] と [値] を指定する行を、末尾に 1 行追加します。

[編集] ボタン


[プロセスデータ] 入力欄が編集できるようになります。

[更新] ボタン

プロセスデータが更新されます。

[キャンセル] ボタン

更新は実行されないで、[プロセスデータ編集] 画面が閉じます。

 **メモ**

プロセスデータ編集でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [プロセスデータ編集] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、直前の [プロセスデータ編集] 画面に戻ります。

【メッセージ送信】画面

【メッセージ送信】画面では、メッセージイベントにメッセージを送信できます。【メッセージ送信】画面からメッセージを送信すると、BPMN 連携ライブラリの Java API の CIWBPMNLib.sendMessage インタフェースが呼び出されます。

なお、CSCIW の BPMN 連携機能使用時だけこの画面が表示できます。

【メッセージ送信】画面を次に示します。

図 9-33 【メッセージ送信】画面

The screenshot shows the 'Message Send' screen with the following elements:

- Header: uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow
- Section: メッセージ送信
- Business Process Definition Name: process_pool1 (with a 'モニタ表示' button)
- Version: 0001
- Case ID: 3
- ref識別子: [Input field]
- Process Data Table:

| プロセスデータ | キー | 値 |
|---------|---------------|---------------|
| 追加 | [Input field] | [Input field] |
| | [Input field] | [Input field] |
| | [Input field] | [Input field] |
- Buttons: 編集, メッセージ送信, キャンセル

画面の各項目について次に説明します。

【ビジネスプロセス定義名】

ビジネスプロセス定義名が表示されます。

【バージョン】

ビジネスプロセス定義バージョンが表示されます。

【案件 ID】

プロセスデータ編集の対象となる案件の案件 ID が表示されます。

【モニタ表示】 ボタン

【ビジネスプロセスモニタ】画面が別ウィンドウに表示されます。

【ビジネスプロセスモニタ】画面については、[「【ビジネスプロセスモニタ】画面」](#)を参照してください。

【ref 識別子】

ref 識別子を指定します。

【プロセスデータ】

- 【キー】

設定済みのプロセスデータがある場合は、そのプロセスデータのキー名が表示されます。設定済みのプロセスデータのキー名は編集できません。

[編集] ボタンをクリックするとキー名を追加できます。

指定したキー名の前後に空白がある場合は、[メッセージ送信] ボタンのクリック時に空白が削除されます。

キー名を設定しない場合は空欄にします。

- **[値]**

設定済みのプロセスデータがある場合は、そのプロセスデータの値が表示されます。

[編集] ボタンをクリックすると、値を追加、および設定済みのプロセスデータの値を編集できます。

指定したプロセスデータ値の前後に空白がある場合は、[メッセージ送信] ボタンのクリック時に空白が削除されます。

空欄にすると null が登録されます。

- **[追加] ボタン**

[キー] と [値] を指定する行を、末尾に 1 行追加します。

[編集] ボタン

[ref 識別子]、および [プロセスデータ] 入力欄が編集できるようになります。

[メッセージ送信] ボタン

メッセージイベントにメッセージが送信されます。

[キャンセル] ボタン

メッセージは送信されずに、[メッセージ送信] 画面が閉じます。

 **メモ**

メッセージ送信でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが [メッセージ送信] 画面に表示されます。エラーメッセージに従って対処してください。また、エラーが表示された画面で [戻る] ボタンをクリックした場合は、直前の [メッセージ送信] 画面に戻ります。

付録

付録 A.1 03-00 の変更内容

- Cosminexus V11 に対応しました。
- ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の登録と削除をできるようにしました。
それに伴い、次の画面を追加しました。
 - [ビジネスプロセス定義登録] 画面
 - [振り分けルール定義登録] 画面また、次の画面を変更しました。
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
 - [振り分けルール定義一覧] 画面
- ジョブを操作できるようにしました。
また、案件の一括削除の操作をジョブでできるようにしました。
それに伴い、次の画面を追加しました。
 - [案件一括削除] 画面
 - [案件一括削除実行結果] 画面また、次の画面を変更しました。
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
 - [振り分けルール定義一覧] 画面
- BPMN 連携機能使用時に、更新系の操作を使用できるようにしました。
それに伴い、次の画面の更新系メニューが表示される条件の説明を変更しました。
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
 - [振り分けルール定義一覧] 画面
 - [案件一覧] 画面
 - [案件投入] 画面
- BPMN 連携機能使用時に、[ビジネスプロセスオペレータ] 画面を表示できるようにしました。
それに伴い、次の画面を変更しました。
 - [ビジネスプロセス定義一覧] 画面
- BPMN 連携機能使用時に、IE のお気に入り追加される URL の説明を追加しました。

付録 A.2 02-30 の変更内容

- Cosminexus V9 に対応しました。
- BPMN 連携機能使用時に運用状況の参照ができるようにしました。それに伴い、BPMN 連携機能使用時には、参照系以外のメニューについては非活性となる旨の記述を追加しました。
- ログインおよびログアウト画面の [閉じる] ボタンを削除しました。
- 案件件数情報の表示領域は上下に移動できるという説明を削除しました。また、上下に移動できないという説明を追加しました。

付録 A.3 01-95 の変更内容

なし。

付録 A.4 01-70 の変更内容

- Cosminexus V8 に対応しました。
- [ログイン] 画面の URL をお気に入りに追加する場合の注意事項を追加しました。

付録 A.5 01-60 の変更内容

- Microsoft^(R) SQL Server に対応しました。
- ビジネスプロセスを管理するツールを、WorkCoordinator Definer から CSCIW-Definer へ変更しました。

付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 B.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

(1) CSCIW 関連

- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド (3020-3-M80)
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド (3020-3-M81)
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow メッセージ (3020-3-M83)
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド (3020-3-M84)
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ビジネスプロセス開発ガイド (3020-3-M85)
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携機能 使用の手引 (3020-3-M86)

(2) Cosminexus 関連

- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド (3021-3-J02)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編 (Web コンテナ) (3021-3-J05)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編 (EJB コンテナ) (3021-3-J06)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編 (コンテナ共通機能) (3021-3-J07)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編 (3021-3-J08)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 運用／監視／連携編 (3021-3-J10)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編 (3021-3-J11)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 互換編 (3021-3-J12)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ アプリケーション設定操作ガイド (3021-3-J13)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編 (3021-3-J15)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス 定義編 (サーバ定義) (3021-3-J16)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス 定義編 (アプリケーション／リソース定義) (3021-3-J17)
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド (3021-3-J20)

- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ メッセージ (構築/運用/開発用) (3021-3-J27)
- Cosminexus V11 BPM/ESB 基盤 サービスプラットフォーム システム構築・運用ガイド (3021-3-J45)

なお、このマニュアルでは、Cosminexus 関連のマニュアルについて、バージョン番号を省略して表記しています。

(3) HiRDB 関連

- HiRDB Version 10 解説 (3020-6-551)
- HiRDB Version 10 システム導入・設計ガイド (UNIX(R)用) (3020-6-552)
- HiRDB Version 10 システム定義 (UNIX(R)用) (3020-6-554)
- HiRDB Version 10 システム運用ガイド (UNIX(R)用) (3020-6-556)
- HiRDB Version 10 コマンドリファレンス (UNIX(R)用) (3020-6-558)
- HiRDB Version 10 システム導入・設計ガイド (Windows(R)用) (3020-6-553)
- HiRDB Version 10 システム定義 (Windows(R)用) (3020-6-555)
- HiRDB Version 10 システム運用ガイド (Windows(R)用) (3020-6-557)
- HiRDB Version 10 コマンドリファレンス (Windows(R)用) (3020-6-559)
- HiRDB Version 10 UAP 開発ガイド (3020-6-560)
- HiRDB Version 10 SQL リファレンス (3020-6-561)
- HiRDB Version 10 メッセージ (3020-6-562)

なお、このマニュアルでは、HiRDB 関連のマニュアルについて、バージョン番号を省略して表記しています。

付録 B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルで使用している表記と、対応する製品名を次に示します。

| 表記 | 製品名 |
|--------------------|--|
| AIX [*] | IBM AIX V7.1 |
| Chrome | Google Chrome |
| Cosminexus | uCosminexus Application Server |
| CSCIW | uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow |
| Firefox | Mozilla Firefox |
| HiRDB | HiRDB Server Version 10 |
| Linux [*] | Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 7.1 (64-bit x86_64) 以降 |

| 表記 | | 製品名 |
|-------------------------|------------|--|
| Linux* | | Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 8.1 (64-bit x86_64) 以降 |
| ORACLE | Oracle 18c | Oracle(R) Database 18c |
| | Oracle 19c | Oracle(R) Database 19c |
| WorkCoordinator Definer | | WorkCoordinator Definer Version 6 |

注※

AIX および Linux の製品名称を特に区別する必要がない場合、UNIX と表記しています。

付録 B.3 マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

| 表記 | | 製品名 |
|---------------------------|---------------------|---|
| Internet Explorer, または IE | | Internet Explorer 11 |
| SQL Server | SQL Server 2005 | Microsoft SQL Server 2005 |
| | SQL Server 2008 | Microsoft SQL Server 2008 |
| | | Microsoft SQL Server 2008 R2 |
| SQL Server の JDBC ドライバ | | Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver 1.1 |
| | | Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver 1.2 |
| | | Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0 |
| | | Microsoft SQL Server JDBC Driver 3.0 |
| Windows Server | Windows Server 2016 | Microsoft Windows Server 2016 Standard 日本語版 |
| | | Microsoft Windows Server 2016 Datacenter 日本語版 |
| | Windows Server 2019 | Microsoft Windows Server 2019 Standard 日本語版 |
| | | Microsoft Windows Server 2019 Datacenter 日本語版 |
| Windows | Windows 10 | Windows 10 Pro 日本語版(64 ビット版) |
| | | Windows 10 Enterprise 日本語版(64 ビット版) |

Windows Server 2016, Windows Server 2019, および Windows 10 を特に区別する必要がない場合、Windows と表記しています。

付録 B.4 このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用している英略語を次に示します。

| 英略語 | 英字での表記 |
|------|---|
| BPMN | Business Process Modeling and Notation |
| EJB | Enterprise JavaBeans |
| J2EE | Java 2 Platform, Enterprise Edition, および J2EE |

付録 B.5 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

(英字)

CSCIW-Definer

ビジネスプロセスを定義、管理および運用するビジネスプロセス管理ツールのことです。

CSCIWManagementServer

アプリケーションサーバでの CSCIW の初期化・終了処理を提供している J2EE アプリケーションです。

(ア行)

案件

ビジネスプロセスの開始から終了までを 1 つの単位とする、業務の実例（ビジネスプロセスインスタンス）のことです。

案件 ID

同一ビジネスプロセスの案件を識別するための識別子です。ワーク管理および CSCIW が付与します。

案件名

同一ビジネスプロセスの案件を識別するための識別子です。ユーザが設定することができます。案件キーともいいます。

(カ行)

開始日時

開始日時は、案件、業務ステップ、および作業の属性です。案件、業務ステップ、および作業が、「running（実行中）」状態へ遷移したときの日時を指します（作業の場合、「running（実行中）」状態に含まれる「performing（作業者実行）」状態、または「executing（自動実行）」状態に遷移したときの日時を指します）。

CSCIW の API を利用することで「running（実行中）」状態へ遷移できます。

完了条件

作業または業務ステップを「完了」状態にする条件です。作業または業務ステップの評価時（作業の発生時を含む）にこの条件を満足していた場合、作業または業務ステップを「完了」状態にします。

業務ステップ

ビジネスプロセス定義の構成要素の一つです。業務ステップは、業務の状態を表し、ある状態での作業の集合として定義されます。

組み込み作業

CSCIW の基本的な機能を組み合わせることで実現するような複雑な処理を 1 つの作業としてまとめたものです。CSCIW の組み込み作業には並列作業があります。

(サ行)

作業

ビジネスプロセス定義の構成要素の一つです。作業は、ある業務ステップで実行する具体的な処理です。作業では、処理を実行する作業者の情報を振り分けルール名として持ちます。

作業者

作業の処理を担当するユーザまたはユーザグループのことです。作業者は、ワーク管理データベースの外部の業務データベースで管理、運用する必要があります。

終了日時

終了日時は、案件、業務ステップ、および作業の属性です。案件、業務ステップ、および作業が、「closed (終了)」状態へ遷移したときの日時を指します。CSCIW の API を利用することで「closed (終了)」状態へ遷移できます。

処理期限

案件に対して処理期限を日数単位で指定できます。

シンクノード

案件の終了を意味します。推進された案件は、シンクノードに状態が遷移することで完了します。

ソースノード

案件の開始を意味します。案件が開始されると、ソースノードから次の業務ステップまたは制御ノードに状態が遷移します。

(ハ行)

発生日時

発生日時は作業の属性です。作業が、「ready (実行開始可能)」状態へ遷移したときの日時を指します。通常、作業の「ready (実行開始可能)」状態への遷移は、案件投入時、または前の業務ステップの完了時に自動的に実行されます。

ビジネスプロセス

業務を実行するための作業の流れです。

ビジネスプロセス管理

業務の流れをワーク管理システムで使用できるように、ビジネスプロセスを定義したり、それらの運用状態を管理することです。CSCIW では、ビジネスプロセス管理に CSCIW-Definer を使用します。

ビジネスプロセス管理ツール

業務の流れをワーク管理システムで使用できるように、ビジネスプロセスを定義したり、それらの運用状態を操作したりするツールのことです。

ビジネスプロセス定義

業務の流れ（ビジネスプロセス）をビジネスプロセス管理ツール（CSCIW-Definer）で定義したものです。

振り分けルール定義

作業の作業者を決定するためのルールです。ビジネスプロセス定義で各作業に指定した振り分けルール定義を適用することで、作業者を決定します。

並列作業

組み込み作業の一つで、並列作業をビジネスプロセスに定義しておくことで、案件の実行時に複数の作業が自動的に生成されます。生成される作業数は、案件の実行時に決まります。

(マ行)

待合ノード

制御ノードの一つです。直前の業務ステップとしてあらかじめ定義された複数の業務ステップのうち、すべてが完了した時点で次の業務ステップを開始します。

(ヤ行)

ユーザ

ワーク管理の利用者のことです。

ユーザグループ

ユーザが所属するグループのことです。ユーザの集合がユーザグループとなります。

優先度

案件、業務ステップ、および作業に設定できる優先度を示す整数値です。案件、業務ステップ、および作業の属性なので、検索の条件として利用できます。優先度の値を基に案件の流れは制御されません。入力指定範囲は、-2,147,483,648~2,147,483,647 です。

索引

C

CSCIWManagementServer [用語解説] 190

CSCIW-Definer [用語解説] 190

あ

[アプリケーション呼び出しグループ定義一覧] 画面 173

[アプリケーション呼び出しグループ定義検索] 画面 176

アプリケーション呼び出しグループ定義を管理する 89

アプリケーション呼び出しグループ定義を検索する 89

アプリケーション呼び出しグループ定義を表示する 89

アプリケーション呼び出しグループ定義を編集する 90

アプリケーション呼び出しサービスの設定を管理する 84

[アプリケーション呼び出し制御情報一覧] 画面 167

[アプリケーション呼び出し制御情報検索] 画面 171

アプリケーション呼び出し制御情報を管理する 85

アプリケーション呼び出し制御情報を検索する 85

アプリケーション呼び出し制御情報を表示する 85

アプリケーション呼び出し制御情報を編集する 86

案件 ID [用語解説] 190

[案件一覧] 画面 121

案件一覧の表示項目を編集する 43

[案件一括削除] 画面 137

[案件一括削除実行結果] 画面 140

案件運用操作でできること 15

案件運用操作とは 14

案件運用操作の概要 13

案件運用操作の画面 92

案件運用操作のログインとログアウト 19

[案件検索] 画面 127

[案件投入] 画面 132

案件の一括削除の実行結果を削除する 83

案件の一括削除の実行結果を表示する 82

案件の一括削除を実行する 80

案件の運用状況を確認する 39, 41

案件の運用状況を確認する操作の流れ 40

案件の状態 51

案件の状態を操作する 16

[案件表示オプション設定] 画面 145

案件名 [用語解説] 190

案件 [用語解説] 190

案件を一括削除する 79

案件を開始する 54

案件を管理する 50

案件を強制終了する 57

案件を検索する 42

案件を再開する 56

案件を削除する 58

案件を操作する 51

案件を中断する 55

案件を投入する 53

案件を表示する 41

う

運用状況を確認する 15

か

開始日時 [用語解説] 190

[カレンダー] 画面 165

環境設定 17

完了 [案件] 52

完了条件 [用語解説] 190

き

強制終了 [案件] 53

強制終了 [業務ステップ] 63

強制終了 [作業] 71

[業務ステップ一覧] 画面 147

業務ステップ一覧の表示項目を編集する 45

業務ステップの運用状況を確認する 44

業務ステップの状態 61

[業務ステップ表示オプション設定] 画面 153

業務ステップ〔用語解説〕 191
業務ステップを活性化する 63
業務ステップを完了する 66
業務ステップを強制終了する 67
業務ステップを再開する 65
業務ステップを操作する 61
業務ステップを中断する 64
業務ステップを表示する 44

く

組み込み作業〔用語解説〕 191

さ

〔作業一覧〕画面 154
作業一覧の表示項目を編集する 47
〔作業再割り当て〕画面 163
作業実行〔作業〕 71
作業者の再割り当てをする 77
作業者〔用語解説〕 191
作業に着手する 72
作業の運用状況を確認する 46
作業の状態 69
〔作業表示オプション設定〕画面 161
作業〔用語解説〕 191
作業を完了する 75
作業を強制終了する 76
作業を再開する 74
作業を準備済みにする 72
作業を操作する 69
作業を中断する 73
作業を表示する 46
作業を返却する 76

し

実行開始可能〔業務ステップ〕 62
実行開始可能〔作業〕 70
実行開始不可〔業務ステップ〕 62
実行開始不可〔作業〕 71
実行省略〔業務ステップ〕 63

実行省略〔作業〕 71
実行済〔作業〕 71
実行中〔案件〕 52
実行中〔業務ステップ〕 62
実行中〔作業〕 70
実行停止〔案件〕 52
実行停止〔業務ステップ〕 62
実行停止〔作業〕 71
実行取消〔作業〕 71
自動実行〔作業〕 70
終了日時〔用語解説〕 191
使用上の注意事項 17
初期〔業務ステップ〕 62
初期〔作業〕 70
処理期限〔用語解説〕 191
シンクノード〔用語解説〕 191

せ

遷移可〔業務ステップ〕 63
遷移済〔業務ステップ〕 63

そ

操作するときの注意事項 17
ソースノード〔用語解説〕 191

て

定義を登録または削除する 15

は

発生日時〔用語解説〕 191

ひ

ビジネスプロセス管理ツール〔用語解説〕 192
ビジネスプロセス管理〔用語解説〕 192
〔ビジネスプロセス定義一覧〕画面 95
ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義の運用状況を確認する 23
ビジネスプロセス定義および振り分けルール定義を登録または削除する 29
〔ビジネスプロセス定義検索〕画面 103

[ビジネスプロセス定義登録] 画面 107
ビジネスプロセス定義の運用状況を確認する 24
ビジネスプロセス定義 [用語解説] 192
ビジネスプロセス定義を活性化または非活性化する 34
ビジネスプロセス定義を検索する 25
ビジネスプロセス定義を削除する 32
ビジネスプロセス定義を登録する 30
ビジネスプロセス定義を表示する 24
[ビジネスプロセスモニタ] 画面 178
ビジネスプロセスモニタを確認する 49
ビジネスプロセスモニタを表示する 49
ビジネスプロセス [用語解説] 192

ふ

[振り分けルール定義一覧] 画面 110
[振り分けルール定義検索] 画面 115
[振り分けルール定義登録] 画面 119
振り分けルール定義の運用状況を確認する 27
振り分けルール定義 [用語解説] 192
振り分けルール定義を検索する 27
振り分けルール定義を削除する 37
振り分けルール定義を登録する 35
振り分けルール定義を表示する 27
[プロセスデータ編集] 画面 179
プロセスデータを編集する 58

へ

並列作業 [用語解説] 192

ま

待合ノード [用語解説] 192

み

未実行 [案件] 52

め

[メッセージ送信] 画面 181
メッセージを送信する 59

ゆ

ユーザグループ [用語解説] 192
ユーザ [用語解説] 192
優先度 [用語解説] 193

よ

用語解説 190

り

利用できる Web ブラウザ 17

ろ

ログアウト 22
ログイン 20
[ログイン] 画面 93

 株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号
